

# おこ助 Pro 3

使い方ガイド





## こんな方をお助けするためのソフトウェアです

### ・いろいろなメディアの音声を見える化したい

音声の書き起こしをしたい、字幕を作成したい、時間軸に合わせて原稿を書きたいなど、音声と文字を関連づけたお仕事をあなたの時間を効率よく使えます。映像や音声のタイミングに合わせて文字を表示させる、あるいはテキスト内容がどの時間に出現するかを調べることも簡単に行えます。

### ・映像や音声ファイルを細かく操作したい

指定秒数だけ進める・戻す、指定した時間にジャンプする、再生速度を変えて確認する。また、音があるかないかを音声波形で判断しながら話の内容を聞き取る、音の出る場所を細かく探るなど、映像や音声ファイルを使った繰り返し作業で求められる機能を、数多く備えています。

### ・規格に合わせて効率よく字幕をつくりたい

行数や1行あたりの字数はもちろん、最低表示秒数や秒あたりの字数確認、不要改行、不用スペースの存在など、設定した基準から外れた場合にアラート表示。また、テレビ放送用クローズドキャプションデータのように秒以下の単位を規定値で揃える必要がある場合は、その基準でタイミング調整が動作するように設定を変更することができます。イン点の前倒し入力と併用してタイミング入れの高速化をはかれます。

### ・スポットティング作業を楽しみたい

音の存在が分かりやすい音声波形表示機能が、タイミング取りがニガテだったあなたをサポートします。聴きながらキーをポンと押すだけの簡単タイミング指定を基本にしながらも、波形表示とショートカットキーを連動させた微調整機能を活用できますので、プロの現場でも細かな作業をより直感的に行えます。

## おこ助 Pro 3 の特徴

- ★ 音声波形表示機能を使って予測がつかない音声の状況を目で判断。タイミング作成が容易です。
- ★ 映像タイムコードに一致させたテープ起こしやテキスト化、字幕制作、翻訳原稿制作が行えます。
- ★ 字幕や原稿内容と映像・音声を連携させたサーチと再生速度をはじめとした豊富な調整機能で作業効率をアップ！
- ★ 簡単スポットティング機能
- ★ 最低作業単位をカスタマイズでき、テレビ放送用クローズドキャプション制作に便利。
- ★ 作成するフォーマットに合わせて調整できるアラート機能。
- ★ 書き起こしや字幕の作成時に便利な字数カウント機能。
- ★ 字幕の挿入、削除・コピー・移動（各複数一括可）、分割、結合機能。
- ★ 文字内容を原文欄へ一括移動。スポットティングはそのまま、翻訳作業へ。
- ★ 字幕1枚ごとの作業メモ欄と翻訳などの比較検討に使える原文表示欄。
- ★ 映像外に字幕を表示させる設定にすれば、映像内の情報との比較に便利。
- ★ 文字色やルビ、斜体設定、縦書き、揃えの変更など、多くの字幕ライティング用途に対応可能。
- ★ 定型の文字列を複数記録して使用できる便利なメモリー機能。
- ★ タイムコードの一括補正や字幕の一括位置移動に対応。
- ★ ユニコード対応で、さまざまな言語を扱う制作にも利用可能。
- ★ 豊富なインポート&エクスポート機能。別売りコンバーターとの連携でNAB互換ファイルに対応。



# もくじ

第1章 各部の名称	P1	5-2 書き起こし編集から送ったテキストに タイミングをつける	P35~37
第2章 各部機能の概略	P2	5-3 タイミング設定のための補助機能	P38~40
①メニューバー	P2~10	5-4 タイミングの微調整	P41~44
①-1 「ファイル」	P2~3	6. 字幕内容（テキスト）の編集	P45~53
①-2 「編集」	P4~6	6-1 字幕内容（テキスト）の編集と確定・ キャンセル方法	P45~46
①-3 「メディア」	P7~8	6-2 字幕表示位置の指定	P47~48
①-4 「ツール」	P9	6-3 字幕内容（テキスト）の文字装飾	P48~51
①-5 「設定」	P9~10	6-4 複数字幕の一括編集	P52
①-6 「ヘルプ」	P10	6-5 原文テキスト欄とメモ欄	P53
②ビューエリア	P11	7. 全体調整と整理	P54~59
③比較原文表示エリア	P11	7-1 字幕を挿入・削除・移動・コピーするには	P54~55
④再生時間表示エリア	P11	7-2 字幕の結合と分割	P56~59
⑤シークバー	P11	7-3 字幕順序と番号の調整	P59
⑥再生コントロールパネル	P12	第4章 便利機能を使いこなす	P60~68
⑦調整パネル	P12~13	1. 編集ロック	P60
⑧音声波形エリア	P14	2. 文字列メモリー	P61~62
⑨編集・調整エリア	P15~17	3. 検索と置換	P63~65
⑩テキスト編集エリア	P18	テキストの検索と置換	P63
第3章 基本的な使い方	P19~59	文字色の検索と置換	P64
1. 新規プロジェクトの作成とおこ助ファイル	P19	スタイル検索	P64
1-1 新規作成	P19	エラー検索	P65
1-2 ファイル情報	P20	4. しおり機能	P66
1-3 おこ助ファイルを開く	P20~21	5. タイムシフト	P67
1-4 バックアップファイルを開く	P21	6. 字幕番号の再ナンバリング	P68
2. 映像や音声の読み込みと再生・操作方法	P22~24	7. 自動ルビ振り	P68
2-1 メディアを開く	P22	第5章 設定	P69~74
2-2 メディアの表示調整	P22	1. 環境設定	P69~72
2-3 メディアの再生と停止	P23	動作	P69
2-4 コマ送り/戻し	P23	表示	P70
2-5 指定秒送り/戻し	P24	ルール	P71
3. 書き起こし編集	P25~28	その他	P72
3-1 テキストの作成	P25	2. 個別ファイル設定	P73~74
3-2 タイムスタンプ機能	P26	2-1 タイムコードと再生フレームレートの設定	P73
3-3 文字列メモリー	P26	2-2 字幕フォント設定	P74
3-4 UDトーク連携ボタン	P27	2-3 その他の設定	P24
3-5 作成テキストを字幕編集に送る	P28	第6章 インポートとエクスポート	P75~81
4. 字幕編集モードの基本動作と表示	P29~31	1. インポート	P75~77
4-1 セルの選択	P29	2. エクスポート	P78~81
4-2 基本動作とプレビュー表示	P30~31		
4-3 エラー（お知らせ）表示機能について	P31		
5. 字幕タイミングの設定と編集	P32~44		
5-1 タイミング設定の基本操作	P32~34		

# もくじ

第7章 PCへのインストール .....P82~83

付録 ◇字幕制作に登場する用語紹介 .....P84

◇映像の世界の用語紹介 .....P85

# 第1章 各部の名称

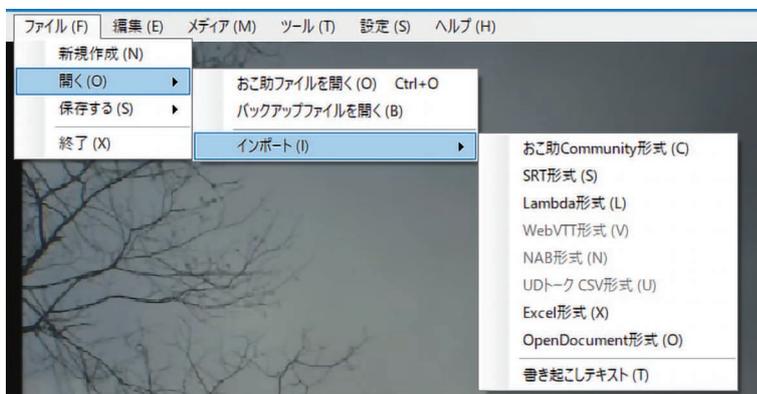


- ①メニューバー：おこ助 Pro3 の主な操作や設定を行えます。……………P2~10
- ②ビューエリア：読み込んだメディア内容と作成字幕のプレビューが表示されます。……………P11
- ③比較原文表示エリア：原文テキストをタイミングどおりに表示させることができます。  
翻訳字幕などで使用します。……………P11
- ④再生時間表示エリア：映像や音声の現在位置が時間表示されます。……………P11
- ⑤シークバー：メディアの再生位置を相対的に示します。移動にも使えます。……………P11
- ⑥再生コントロールパネル：映像や音声の再生・一時停止やコマ送り、  
再生速度の調整といった操作を行います。……………P12
- ⑦調整パネル：字幕や映像のサイズ、音質などを操作できます。……………P12~13
- ⑧音声波形エリア：映像や音声データに同期して音声の状態を波形で表示します。……………P14
- ⑨編集・調整エリア：編集モードを切り替えることで書き起こしや字幕セルのエリアになります。  
文字内容と字幕ひとつひとつの情報を管理します。……………P15~17
- ⑩テキスト編集エリア：個々の字幕に対してテキスト入力と修正、文字装飾、  
表示位置の設定などを行うエリアです。……………P18

## 第2章 各部機能の概略

### ① メニューバー

①-1 「ファイル」 字幕の内容に関わるファイルの新規作成、読み込み、保存、書き出し操作を行います。



インポートを使用する場合、おこ助 Pro 3 の動作やタイムコード設定の状態によって読み込める形式が制限されます。  
(→詳細は 76 ページ)



「新規作成」 プロジェクト（おこ助ファイル）を新しく作成します。

「開く」

「おこ助ファイルを開く」 保存したおこ助ファイルを開きます。

※複数のおこ助ファイルを、1つにまとめることもできます。

「バックアップファイルを開く」 エラーなどで万が一保存できずに終了してしまった場合、自動保存されているバックアップから直近の内容を復元します。

「インポート」 以下のフォーマットで作成されたファイルを読み込むことができます。

「おこ助 Community 形式」 無料字幕ソフトウェア「おこ助 Community」のファイル形式(.oxc)です。

「SRT 形式」 いくつかのフリーソフトや YouTube で使用されている簡易字幕フォーマットです。

「Lambda 形式」 業務用途で使用されているテキストベースの字幕ファイルフォーマットです。

「WebVTT 形式」 動画の時間に合わせたテキスト表示に使う html5 規格に基づいたフォーマット。

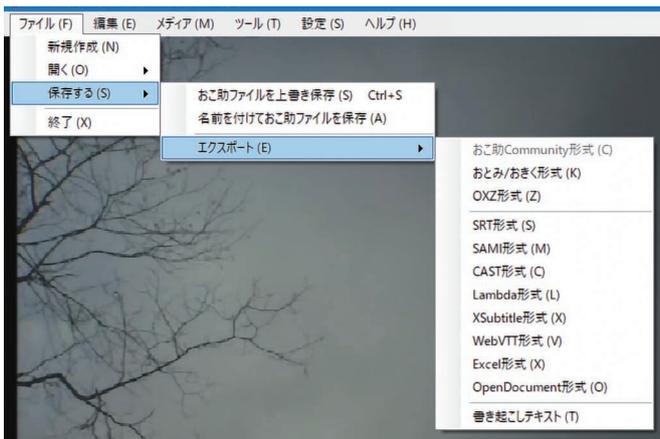
「NAB 形式」 テレビ放送でクロズドキャプションの送用に使われているデータ形式です。

「UD トーク CSV 形式」 UD トークで生成された認識時間情報が付いたテキストの保存データです。

「Excel 形式」 Microsoft 社 Excel でまとめられたタイミングデータとテキスト情報を読み込みます。

「OpenDocument 形式」 オープンソースの表計算ソフトで使用されているファイル形式です。

「書き起こしテキスト」 テキストデータを書き起こし編集モードで開くことができます。



各形式へのエクスポートの方法や制限事項については 78 ページ以降で詳しく解説しています。



「保存する」

- 「おこ助ファイルを上書き保存」 作業中のおこ助ファイルを更新して保存します。
- 「名前をつけておこ助ファイルを保存」 新規でおこ助ファイルを作成します。
- 「エクスポート」 作成した字幕をさまざまなファイル形式に変換して書き出します。
  - 「おこ助 Community 形式」 無料字幕ソフトウェア「おこ助 Community」のファイル形式 (.oxc) です。
  - 「おとみ、おきく形式」 メディア・アクセス・サポートセンターが配布している動画プレーヤーで使用するファイル形式です。OXZ 形式は動画や音声同期に使用します。
  - 「SRT 形式」 動画関連フリーソフトや YouTube で使用されているシンプルな字幕形式です。
  - 「SAMI 形式」 Microsoft 社が推奨する字幕ファイル形式です。
  - 「CAST 形式」 テレビの CC 用データ制作に使用されていたファイル形式です（簡易出力のみ）。
  - 「Lambda 形式」 業務用途で使用されているテキストベースの字幕ファイルフォーマットです。
  - 「Xsubtitle」 ペガシス社の「TMPGEnc VideoMastering Works 6」の字幕フィルタ機能に読み込むことができるファイル形式です。これを使用して動画上に字幕を合成することができます。
  - 「WebVTT 形式」 動画の時間に合わせてテキスト表示するための html5 規格に基づくデータ形式。
  - 「Excel 形式」 タイミングデータや字幕テキスト、メモなどを確認用リストとして出力できます。
  - 「OpenDocument 形式」 オープンソース表計算ソフトのファイル形式 (.ods) で出力します。
  - 「書き起こしテキスト」 書き起こし編集モード内の内容を、テキストデータとして出力します。

「終了」 ファイル閉じてソフトウェアを終了します。 右上の で閉じるのと同じ動作です。

①-2 「編集」



テキストやタイミングの編集作業に使用するメニューです。それぞれの操作に対してショートカットキーが割り当てられています。

「セルの編集」編集・調整エリアで、選択したセルの内容を編集する際に使用します。

**F2**



「元に戻す」今行った動作をやめて、1つ前の状態に戻ります。

**Ctrl+Z**



「やり直し」元の状態に戻したあとの状態から、再度適用させます。

**Ctrl+Y**



「切り取り」選択したテキストを切り取ります。

## Ctrl+X



「コピー」選択したテキスト内容を保持します。

## Ctrl+C



「貼り付け」切り取り・コピーしたテキストを別の場所に貼付けます。

## Ctrl+V



「削除」選択したセル内のデータやテキストを削除します。

## Delete



(Delete キーはキーボードの規格によって位置が異なります。)

「すべて選択」 ウィンドウ内のテキストすべてを選択します。

**Ctrl+A**



「文字列メモリー」 文字列を登録し、必要な場所に挿入できます。(5つまで可 →詳細解説は 61 ページ)

「検索と置換」 作成したテキストや字幕の内容について検索や置換ができます。

**Ctrl+F**



字幕本文やメモ欄といったテキスト内容だけでなく、ルビや色、文字装飾、エラー表示の内容など、さまざまな条件に対する検索ができます。(→詳細解説は 63 ページで)

## ①-3

## 「メディア」

使用する映像・音声ファイルやディスクの、操作と表示に関するメニューです。



## 「開く」

「映像 / 音声ファイルを開く」 > 「波形あり / 波形なし」で音声波形表示の有無が選択できます。

※ 音声波形の有無と音声自体を再生する・しないは連動しません。

mpeg1・WMV・AVI・mp4などの動画ファイルと、mp3・WAVといった音声ファイルを開くことができます。

「DVD を開く」 ドライブにDVD Video ディスクを挿入し、このメニューを選択します。

ただし、ご使用PCにインストールされているDVD関連ソフトウェアなどの条件やディスク自体の記録形式によってはご使用いただけない場合があります。

※ DVD Video ディスク再生の場合は音声波形は表示されません。

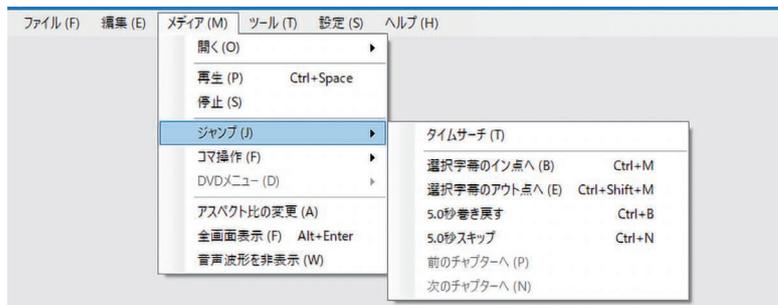
「オーディオ CD を開く」 ドライブに使用するCD-DAを挿入してから、このメニューを選択します。

※ CD-DA ディスク再生の場合は音声波形は表示されません。

「再生」 メディアを再生します。再生中は「一時停止」ボタンに切り替わります。

「停止」 再生しているメディアを完全に停止します。

「ジャンプ」 さまざまな方法で再生したい位置に移動することができます。

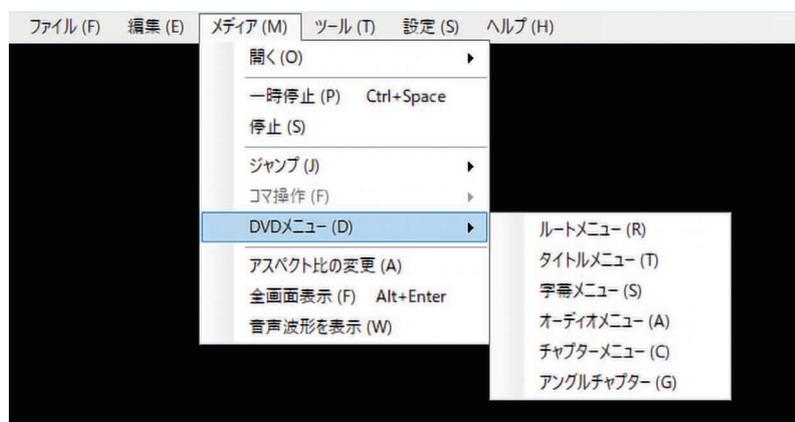


操作方法は「第3章 基本的な使い方」の23ページ以降をご覧ください。

「コマ操作」 映像・音声ファイルを1コマ（1フレーム）ずつ再生します。ショートカットキーで同じ操作を行うことも可能です。

「DVD メニュー」 DVD-Video を再生している際に選択できます。

再生する DVD の記録内容によっては使用できないメニューがあります。



「アスペクト比の変更」 映像の画角（縦横比）を設定します。

「全画面表示」 PC の画面全体を使って、メディアの再生を行います。 Alt+Enter

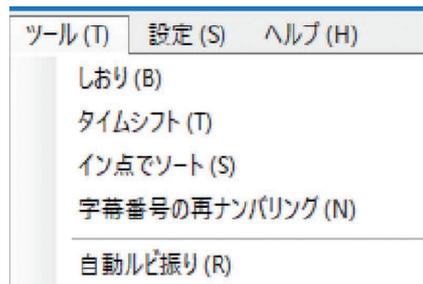
全画面再生時は、マウスポインターを画面最下部に移動したときのみ操作パネルが表示されます。全画面表示切替ボタン



「音声波形を非表示」 音声波形表示中に選択でき、音声波形エリアを非表示に切り替えます。

「音声波形を表示」 いったん非表示にした音声波形エリアを再度表示する場合に選択します。

#### ①-4 「ツール」



おこ助自体の動作設定や個々の作業ファイルごとの設定、あるいは字幕内容全体に対する処理を行うためのメニューです。

「しおり」 メディア上の呼び出したいポイントを、しおりをはさむように記録しておくことができます。

(⇒詳細は 66 ページ)

「タイムシフト」 指定範囲や全体の字幕表示タイミングを一括で変更できます。

(⇒詳細は 67 ページ)

「イン点でソート」 ファイル内にある字幕を、イン点のタイム順で並び替える機能です。

(⇒使用例は 59 ページ)

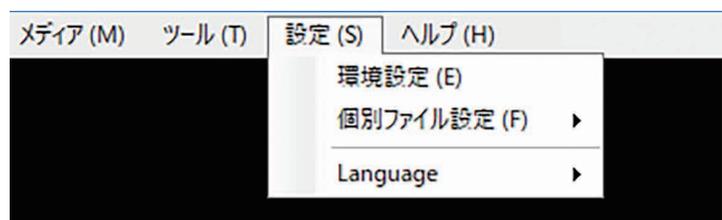
「字幕番号の再ナンバリング」 データ内の字幕番号を昇順にふり直す機能です。

(⇒詳細は 68 ページ)

「自動ルビ振り」 字幕データ内で使用されている漢字に自動でふりがなをつける機能です。

(⇒詳細は 68 ページ)

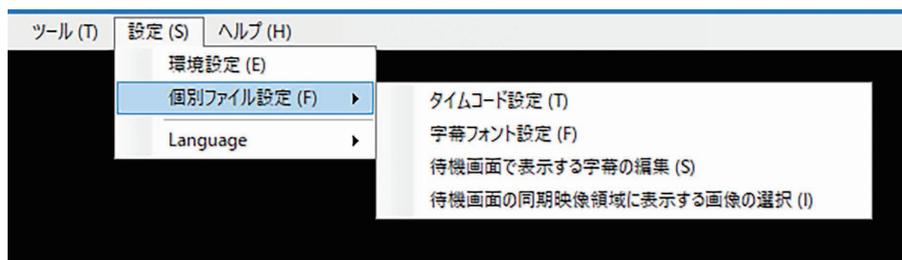
#### ①-5 「設定」



「環境設定」 ここから、おこ助 Pro3 自体の動作や表示に関するさまざまな設定を行えます。

作成する字幕の内容に合わせて、きっちりと設定することで、作成を効率よく進めることができます。作業ごとの設定保存や読み込みも行えます。(⇒詳細は 69 ページ)

## 「個別ファイル設定」



「タイムコード設定」使用するメディアにおこ助の動作を合わせるための設定です。  
業務用途で使用されるほとんどのフレームレートに対応しています。

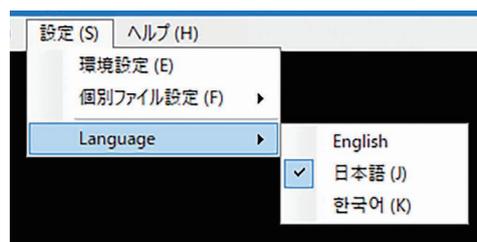
(⇒詳細は 73 ページ)

「字幕のフォントの設定」 作成時に使用したフォントの種類やサイズを、ほかのおこ助やおとみなどで再現したい場合に使用します。

「待機画面で表示する字幕の編集」 DVD ビデオ再生時にメニュー画面内に表示する文字列を設定できます。また、UD キャストなどの配信待ち受け画面での表示内容を指定できます。  
一般的な制作では使用しません。

「待機画面の同期映像領域に表示する画像の選択」 UD キャストなどの配信待ち受け画面に表示する画像を指定できます。  
一般的な制作では使用しません。

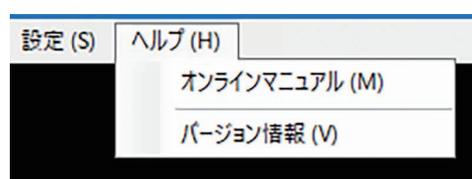
「Language」 通常は WindowsOS の言語設定に基づきインストール時に設定されます。  
ここで言語を切り替えると、メニューバーや環境設定のほか、インターフェイス内の文字が、指定した言語での表記に変更されます。  
作成している字幕データの内容には直接影響はありません。



## ①-6 「ヘルプ」

「オンラインマニュアル」 操作解説などの Web ページを PC のブラウザで開きます。

「バージョン情報」 使用中のおこ助 Pro 3 のバージョンを確認できます。



## ② ビューエリア

- ◎動画ファイルや DVD ビデオの場合は映像内容が表示されます。音声だけの場合は何も表示されません。
- ◎字幕プレビュー再生中にエリア内をクリックすると、再生中の字幕に対応する、編集・調整エリア側のセルが選択されます。
- ◎動画エリアと比較原文表示エリアの幅を変えたい場合は、エリアの境目にマウスポインターを移動し、矢印が  に変化したところで上下にドラッグすることでサイズを変更できます。

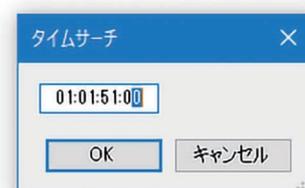
## ③ 比較原文表示エリア

- ◎翻訳前の原文テキストなどを、字幕内容と同じタイミングで表示させることができます。  
原文内容は各字幕のテキスト編集エリア下部にある「原文テキスト」欄に入力することで表示されます。  
  
(→まとめて流し込む方法もあります。詳しくは 53 ページ「原文テキスト欄」)

## ④ 再生時間表示エリア

メディア再生現在位置が表示されます。時間:分:秒:秒以下 の順になっていて、秒以下はタイムコード設定に合わせて桁数が変化します。

タイム部分をクリックすると開くタイムサーチダイアログ (右) で時間を指定すると、その位置に移動することができます。



## ⑤ シークバー

動画・音声ファイルやタイトル内での現在位置をスライダーを使って相対的に表示します。  
スライダー自体を動かすことで、再生位置を移動することができます。



## ⑥ 再生コントロールパネル



再生速度変更ボタン：メディアの再生速度を通常の 10～400%の間で変更できます。ボタンを押すと速度変更のためのスライダーが開き、もう一度ボタンを押すとスライダーが閉じます。ショートカットとして【Ctrl】+【K】キーを押すことで同じ動作を行えます。



再生／一時停止ボタン：映像や音声の再生と一時停止をします。



(再生中は一時停止ボタンに、一時停止中は再生ボタンに切り替わります。)



停止ボタン：再生中の映像や音声を停止します。このボタンをクリックすると完全に停止し、映像や音声の先頭に戻ります。



コマ戻しボタン：映像や音声を 1 コマずつ戻します。



コマ送りボタン：映像や音声を 1 コマずつ送ります。

※ DVD や CD の再生時は、コマ送りボタンが以下のチャプターボタンに変わります。



チャプター戻しボタン：現在再生しているチャプターの前のチャプターに戻ります。



チャプター送りボタン：現在再生しているチャプターの次のチャプターに進みます。

## ⑦ 調整パネル



字幕サイズ調整ボタン：ビューエリアでプレビュー表示する字幕の大きさを自由に変更することができます。「環境設定」内にある「字幕の表示」のフォントサイズと連動しています。



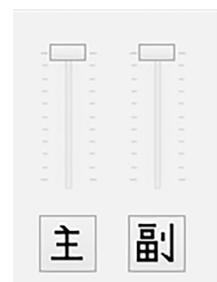
音量調整ボタン：スライダーを上下方向に動かすことで、

おこ助で再生しているメディアの音量を調整できます。

**主**はメディアから読み込んでいるメディアの音量、

**副**は「同期映像」「同期音声」各モード（17 ページ参照）で同期再生させている、指定メディアの音量をコントロールします。

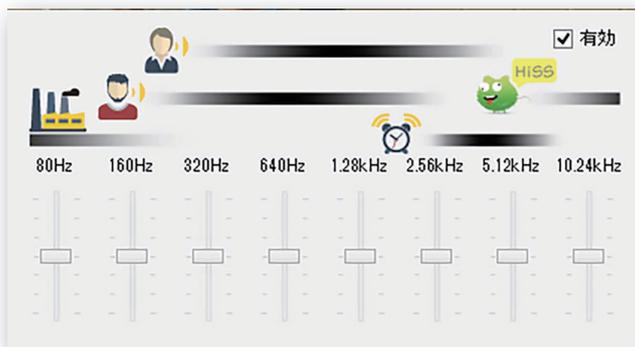
また、主、副の文字はボタンになっており、押すとミュート機能が働きます。再度押すとミュートが解除されます。





イコライザーボタン：メディアに含まれる音の特定部分を強調、減衰させることができます。  
ボタンを押すと調整パネルが表示されます。

- ①各スライダーとも中央位置（0dB）が通常の状態です。  
スライダーを上方向に動かすと、その周波数帯域の音が増幅されます。  
下方向に動かすと、その周波数帯域の音が減衰します。
- ②「有効」チェックをオン・オフすることで音質の変化を確認できます。
- ③一般的な音の周波数帯域に関しては、下の一覧やダイアログ内のグラフィラストを参考にしてください。
- ④変更した周波数を初期値に戻すときは、ダイアログ上で右クリックすると表示される「リセット」を選択します。



参考 気になる音のおおよその周波数帯域

吹かれノイズ・ハム雑音	20 ~ 100Hz
工場の稼働騒音	100Hz 近辺
壁共振	100Hz ~ 400Hz
男声	100Hz ~ 1.5KHz
女声	200Hz ~ 2KHz
サ行パ行強調	1KHz ~ 3KHz
不愉快な金属音	2KHz ~ 5KHz
ヒスノイズ	5KHz ~ 18KHz



映像サイズ調整ボタン：環境設定で、字幕の表示を「周囲に表示」に設定している場合のみ使用できます。ボタンを押すと表示されるスライダーを動かすことで、映像の表示サイズを変更できます。  
環境設定で「映像に重ねて表示」に設定されている場合は、常にビューエリアのサイズがメディアの表示サイズとなりますので、映像の大きさ変更はウインドウ自体のサイズ調整で行います。



全画面表示切替ボタン：作業後の確認などで、字幕プレビューを大きな画面で行いたいときに使用します。メニューバーから選択できる「全画面表示」、あるいは【Alt】+【Enter】キーを押した場合と同じ動作となります。

## ⑧ 音声波形エリア

読み込んだメディアの音声波形を表示します。

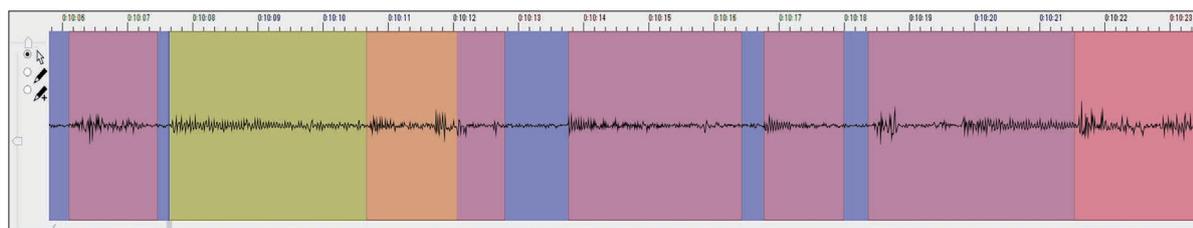
編集・調整エリアと同期し、音声波形上でもタイミングの調整や字幕の追加などの編集操作が行えます。

■ タイミング設定された字幕が存在している部分はピンク色になります。

■ 選択された字幕部分は黄色になります。

■ 同じタイム上に2つ以上の字幕が重なっている部分は、濃いピンク色になります。

(重なっている字幕のどちらかが選択されていると、重なる部分はオレンジ色になります。)



### ■ 字幕編集ツール

#### ◆ タイミング書きツール

選択した字幕のタイミングを自由に書き変更することができます。

イン点にしたい部分からアウト点にしたい部分をドラッグすることでタイムが入力されます。

#### ◆ 字幕追加ツール

新しい字幕を追加したい箇所でドラッグすると、そのタイムに新しく空欄の字幕が追加されます。

波形の大きさの倍率を変更できます。



波形の時間軸方向の倍率を変更できます。

#### ◆ 選択ツール

波形上で字幕を選択するためのツールです。選択された字幕は黄色で表示されます。ダブルクリックするの字幕内容の編集を行えます。また、各字幕の始まり位置（イン点）、終わり位置（アウト点）をクリックあるいはドラッグすることで、各タイムの調整ができます。（→詳細を42ページで解説しています）

#### ※ タイミングスライドツール（◀▶）

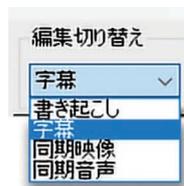
選択ツールを選んだ状態で字幕のある位置を長押しするとカーソルが上のように変化します。ドラッグすることで字幕の移動ができます。

※ 波形エリアの字幕位置上を右クリックすると表示されるメニューの「ドラッグモード切り替え」からも編集ツールの切り替えが行えます。



## ⑨ 編集・調整エリア

「編集切り替え」 作業内容に合わせて左上のプルダウンメニューで、各編集モードへの切り替えを行います。



- 書き起こし：メディアを再生しながらの文字起こしに使用します。  
書き起こしたテキストを使って字幕を作成できます。
- 字幕：映像に合わせて字幕表示させるための設定や編集を行います。
- 同期映像：メディアに対して、任意の場所に別の複数映像ファイルをシンクロ表示させるイベントを作成できます。主に MASC 製のおとみプレーヤーに使用します。
- 同期音声：メディアに対して、任意の場所に別の複数音声ファイルをシンクロ再生させるイベントを作成できます。主に MASC 製のおとみプレーヤーに使用します。

### ■字幕編集モード■

おこ助 Pro3 を最初に起動したときは、このモードになっています。  
ここでは、字幕内容と情報が格納できる下図のようなリスト（グリッド）状態で表示されます。1行が1つの字幕を表し、1行ごとに必要な項目が横に順番に並んでいます。また上部には、編集時に使用するいくつかのツールが置かれています。それぞれの役割を見ていきましょう。

- Ⓐ「字幕ループ再生」「有効」にチェックを入れると、選択された字幕だけを繰り返し再生します。
- Ⓑ「イン点の前倒し入力」 流し打ちで仮タイミング取りを行う際に、打ち遅れ分を補正できます。アウト点、一時停止・コマ送り時には反映されません。（⇒詳細は 38 ページ）
- Ⓒ「字幕番号」 検索したい字幕番号を入力し検索ボタンを押すと、その字幕へ移動できます。

編集切り替え		字幕ループ再生		イン点の前倒し入力		字幕番号			
字幕	▼	<input type="checkbox"/> 有効	Ⓐ	<input type="checkbox"/> 有効	0 秒 9 フレーム	Ⓑ	737	検索	Ⓒ
	イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	メモ	Ⓗ
	734	01:38:25:11	01:38:30:12	5:01		美術大学のネッパ教授が描いた¥N「イエスの埋葬」という大作です			
	735	01:38:30:26	01:38:35:05	4:09		大聖堂のすぐ下に広がる¥N元老院広場や大きな階段は ¥D		●	
	736	01:38:36:02	01:38:38:03	2:01	●	市民の憩いの場になっています			
▶	737	01:38:38:10	01:38:43:17	5:07		{¥c0xFFFFF00}まるで広場を突っ切るように¥N{¥r1}通{¥r2}かよ{¥r0}っているトラム	●	●	
🔒	738	01:38:38:10	01:38:41:10	3:00		Ⓜ (大きな警笛)			
	739	01:38:44:20	01:38:48:04	3:14		ポツと歩いていたので¥Nちょっとびっくりです			
	740	01:38:48:08	01:38:51:26	3:18	●	こちらは様々な催し物会場として¥N使われることがあつ			●

Ⓓ ロック  
 Ⓔ イン点  
 Ⓕ アウト点  
 Ⓖ 字幕番号  
 Ⓗ 字幕の長さ  
 Ⓙ 配置場所  
 Ⓚ 字幕テキスト  
 Ⓛ 原文欄の記載の有無  
 Ⓜ 時間対文字数の警告  
 Ⓨ メモ欄の記載の有無

- ⓓ ロック：字幕を編集対象から外す編集ロック機能が、有効か無効かを表示します。
- ⓔ 字幕番号：各字幕に編集順にふられる作業番号です。振り直しもできます。
- ⓕ イン点：その字幕の表示開始ポイントをメディアの時間で示します。
- ⓖ アウト点：その字幕の表示終了ポイントメディアの時間で示します。
- ⓗ 字幕の長さ：その字幕が表示される長さが自動計算で表示されます。通常「デュレーション」と呼びます。
- Ⓢ 時間対文字数の警告：表示の長さに対して文字数が多いと●を表示します。環境設定の内容に依存します。
- Ⓣ 配置場所：その字幕を画面上のどこに配置するよう指定されているかをアイコンで示します。
- Ⓚ 字幕テキスト：字幕の文字内容を制御記号と合わせて表示します。
- Ⓛ 原文欄の記載の有無：原文欄に何かしらの文字が記入されている場合に●が表示されます。
- Ⓜ メモ欄への記載の有無：メモ欄に何かしらの文字が記入されている場合に●が表示されます。

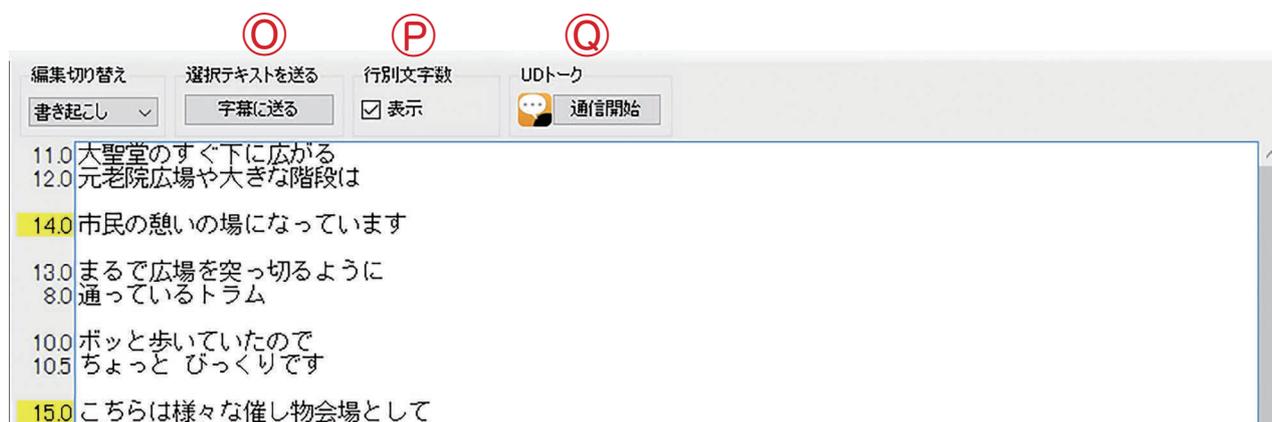


- ★字幕編集モードでの編集・調整エリアに関しては 29 ページの「字幕編集モードの基本動作と表示」で詳しく解説しています。
- ★時間関連各項目は、「設定」>「個別ファイル設定」>「タイムコード設定」での設定により表示状態が変わります。  
(→タイムコード設定 73 ページ)
- ★セル内の表示のフォント種やサイズは環境設定から変更できます。  
(→環境設定 69 ページ)

## ■書き起こし編集モード■

このモードでは、メディアの音声内容を一気に書き起こす用途に使用するテキスト入力ウィンドウが全面に開きます。上部には、いくつかの専用ツールが表示されます。

- ⓐ【選択テキストを送る】 内容を字幕編集モードへ流し込むためのボタンです (→使い方は 28 ページ)。
- ⓑ【行別文字数】 行頭欄に各行数にある文字数を表示するかを決めます (→使い方は 25 ページ)。
- ⓒ【UDトーク】 コミュニケーション支援ソフト「UDトーク」と連携し、音声認識を使用して入力を行うためのボタンです。(→詳しい使い方は 27 ページ)



## 同期映像モード

このモードは、主メディアに対して、別の動画メディアを指定時間から再生させるといった、複数メディアの同期再生コントロールを行うためのものです。講義の音声データの任意点から図表のアニメーション動画を同期させる、講演映像に手話通訳者の映像を同期させるといったマルチメディア再生を、映像合成に頼らず簡単に実現できます。同期させた映像の表示非表示は【環境設定】内で指定します。



## 同期音声モード

このモードでは、主メディアに対して、別の音声メディアを指定時間から再生させるといった、同期再生コントロールを行うためのものです。映像作品に視覚障害者用音声ガイドや他言語解説を同期させるといったマルチメディア再生を簡単に実現できます。



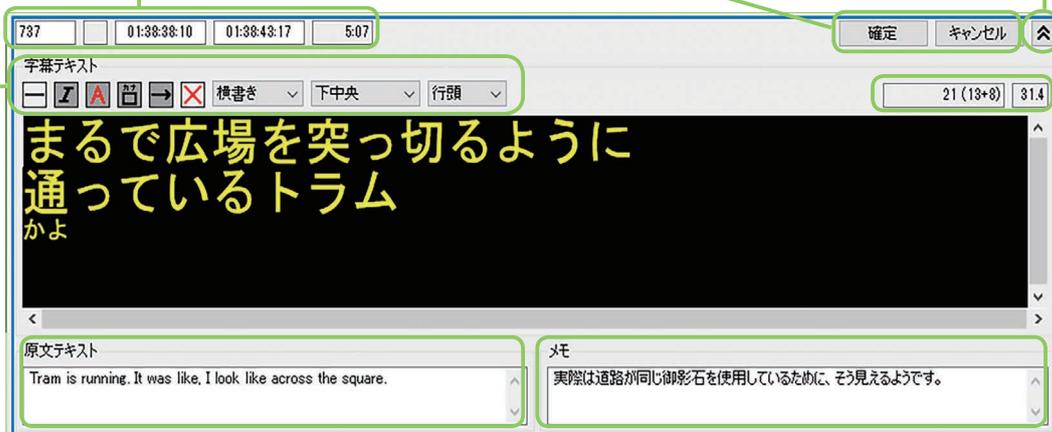
## ⑩ テキスト編集エリア

各字幕内容の編集を行なうためのエリアです。入力・編集状態のときには青枠で囲まれます。字幕本文の入力と修正、ルビ（ふりがな）づけや色づけといった文字装飾、タイム情報の直接入力。さらに、表示位置の指定や、メモ欄や原文欄の入力と修正も一括で行えるようになっています。

字幕番号、イン点タイム、アウト点タイムの直接数値入力ができます。

編集した内容を確定して反映させる、あるいはキャンセルするボタンです。

編集エリア拡大用  
拡縮ボタン

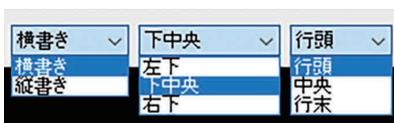


字幕ごとに比較用の原文や備忘録などのテキスト情報を保存しておける欄です。→詳細 53 ページ

全体の文字数と各行ごとの文字数、可読文字数の目安を確認できます。

### ● 字幕テキスト編集ツール ●

-  継続記号：字幕末に継続記号を挿入したい場合に使用します。環境設定によりオープン字幕に使われるダシかテレビ放送で使われる矢印記号かを選べます。……………P48
-  斜体：選択した文字列を斜体表示にします。……………P49
-  文字色：選択した文字に指定色を付加します。……………P49
-  ルビ：選択した漢字などにふりがなをふることができます。……………P50
-  組文字：縦書き字幕の場合に不自然になる文字を部分的に横並びにできます。…P51
-  スタイル編集の全解除：その字幕内の装飾関連をいったんクリアにします。……………P51



配置の設定：字幕の表示位置と方向を設定します。…P47~48

# 第3章 基本的な使い方

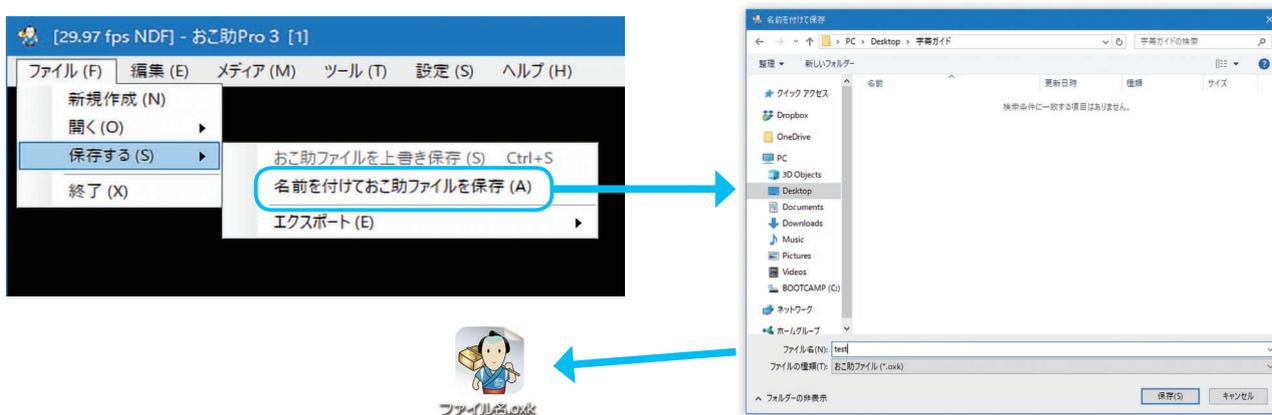
おこ助 Pro 3を使用する前に、まずPCのUSB端子にライセンス認証用ドングルキー（以降ドングル）を挿してください（ドングル挿入時に WindowsOS からメッセージが開きますが、そのままでもかまいません）。PCがドングルを認識していない場合、おこ助は起動せず確認メッセージが表示されます。また、おこ助の使用中には決してドングルをPCから抜かないでください。

## 1. 新規プロジェクトの作成とおこ助ファイル

### 1-1 新規作成

新たな作業を開始するときは、最初にその作業のプロジェクトファイルとして、おこ助ファイルを作成・保存します。

1. デスクトップ上のおこ助 Pro3 ショートカットアイコン  をダブルクリックするか、Windows のスタートにあるアプリ一覧から、おこ助 Pro3 を選択して起動します。
2. メニューバーの「ファイル」>「新規作成」を選択します。



3. 上図のように「ファイル」>「保存する」>「名前を付けておこ助ファイルを保存」を選択し、開いたダイアログで保存先を選択、さらに任意のファイル名を入力して【保存】ボタンを押します。保存先におこ助 Pro 3 の書類アイコンが生成され、以降、作成内容をいつでも上書き保存出来るようになります。



★おこ助ファイルを作成せずに入力や操作を続けると、最上部のウィンドウズバーに「保存してください」のメッセージが出ます。保存しないままでも作業は続けられますが、自動バックアップ機能が働かず、予期せぬトラブルに対処できません。

★何らかの作業のあとにゼロから作成を行う場合は、必ず「新規作成」を最初に一度選択してください。

## 1-2 ファイル情報

おこ助 Pro3 を使用中は、ウインドウ最上部のバーに、開いているファイル名、あるいは作成中のプロジェクトの保存名が表示され、前回保存時と比較して未保存の内容がある場合は、左端に「\*」マークが付きます。



その隣にはタイムコード設定 (→詳細 73 ページ) に基づく情報が表示されます。これによって、おこ助で扱われている時間関連の表示、処理の状態を把握できます。

〔○○ fps〕の場合は、その数字どおりのフレームレートで動作しています。

〔RT〕となっている場合、メディアのフレームレートにかかわらず、時間表示の秒以下は実時間換算 (1/1000 秒か 1/10 秒) で扱われています。

## 1-3 おこ助ファイルを開く

作成されたおこ助ファイル (.oxk) は、以下の方法で開くことができます。

1. おこ助 Pro3 のメニューバー「ファイル」>「おこ助ファイルを開く」からファイルを指定する。
2. 使用するおこ助ファイルをデスクトップ上のおこ助 Pro3 アイコンにドラッグアンドドロップする。
3. おこ助ファイル自体をダブルクリック。

おこ助ファイルを開く際に、前回終了時に記録された場所に使用するメディアがある場合は、そちらも合わせて開かどうかを選択するダイアログが表示されます。メディアも同時に開きたい場合は【はい】選択してください。

また、ファイルの開き方によって以下のような機能を使用することができます。

### ■ 多重起動 ■

おこ助 Pro 3 が起動している状態で、現在開いているもの以外のおこ助ファイルをダブルクリックすると、新たなウインドウが起動し、その内容が開くようになっています。この特性を利用して、別のおこ助ファイルの内容を比較・確認、あるいは別ファイルに部分的にコピーアンドペーストすることができます。

複数のファイルを開くことで多重起動状態になる際に、右のようなダイアログが表示されます。DVDビデオやオーディオCDといった光学メディアは2つ以上のウインドウで同時に開くことができませんので、それらを使って作成を行っている場合は、2つめ以降のファイルではメディアを再生できません。動画ファイルや音声ファイルを使用している場合には、この制約はありません。



### ■ 多重起動時のウインドウ番号 ■

多重起動しているときは、ウインドウ最上部のバーに表示されている、ウインドウ番号で起動順を確認することができます。



通常の単独起動時は〔1〕になっています。

多重起動させた覚えがないのにこの部分の番号が〔1〕以外になっている場合は、作業ファイルが二重で起動していないか確認することをお勧めいたします。

## ■ 複数ファイルのマージ（1本化） ■

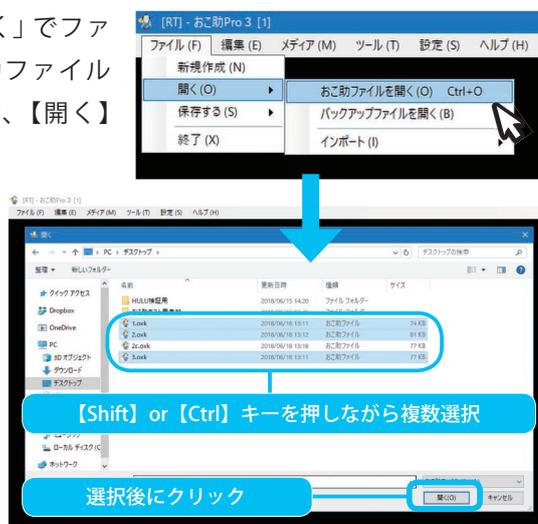
出来上がっている複数のおこ助ファイルを、1つのファイルに自動で再構成して開くことができます。

前半はAさん、中盤はBさん、後半はCさんといったように1本の作品を分担作業した場合や、パートごとだった作品が1つの映像にまとまった場合などに便利です。

メニューバーの「ファイル」>「開く」>「おこ助ファイルを開く」でファイル選択のダイアログを開き、そこから読み込みたいおこ助ファイルを、【Shift】キーや【Ctrl】キーを使って複数選択したうえで、【開く】ボタンを押します。

おこ助は、それぞれのファイル内のタイムデータを元に、時系列に字幕内容を並べ変えて番号を振り直し、1つの字幕にして開きます。

開いた際のファイル名は元のパートのどれかのものになっていますので、上書きしたくない場合は新たなファイルとして別名で保存してください。



## 1-4 バックアップファイルを開く

作成中に不意のトラブルに見舞われたときにかぎって、前回の保存から時間が経っていたりするもの。おこ助 Pro3 は自動バックアップ機能を搭載していますので、以下のように対処することで、数分前<sup>※</sup>の時点の内容を復帰させることができます

1. おこ助がまだ起動していれば、念のため、そのまま上書き保存を試してください。
2. おこ助を終了ください（メニューから終了できない場合は右上の **×** をクリックしてみてください）  
どうしても終了できない場合は WindowsOS の「タスクマネージャー」を開き、一覧から「おこ助 Pro3」を選択して「タスクを終了」を実行します。
3. 再度おこ助を起動します。起動しない場合は PC 自体を再起動させてください。
4. おこ助のメニューバーの「ファイル」から「バックアップファイルを開く」を選ぶとバックアップされていたデータが表示されます。内容を確認して名前をつけて保存し、いったん終了します。
5. トラブルの前にご自分で作成されていたおこ助ファイルを開きます。先ほど復活させたバックアップで記録されていた内容と比較し、新しいほうを使用して作業を再開してください。

※「バックアップファイルを開く」を実行する前に、事故ファイルやほかのファイルを開かないでください。  
タイミングによってはバックアップ内容が書き換わってしまう危険性があります。

※設定により、自動バックアップが記録される間隔は異なります。（⇒詳細 72 ページ）

## 2. 映像や音声の読み込みと再生・操作方法

### 2-1 メディアを開く

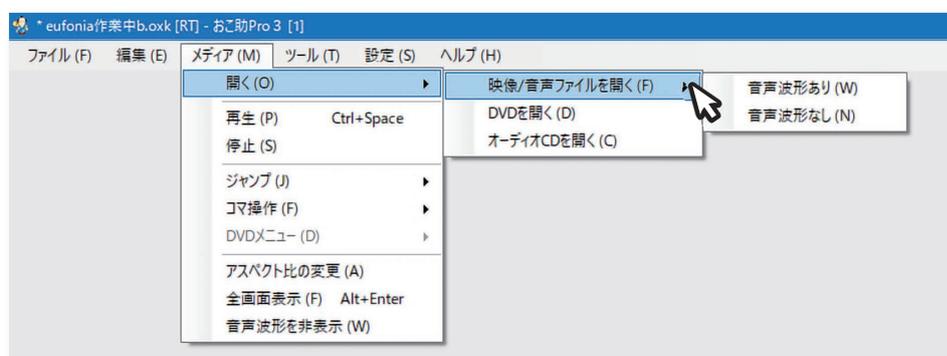
「メディア」→「開く」→「映像、音声ファイルを開く」→「波形あり／波形なし（どちらかを選択）」をクリックするとダイアログが開きますので、使用する映像ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックします。

※ 「波形あり」を選択すると音声波形が生成され、画面の一番下に波形ウィンドウが開きます。

※ 「DVDを開く」や「オーディオCDを開く」でディスクの内容を開いた場合は波形表示されません。

※ 設定によっては「DVDを開く」「オーディオCDを開く」を選択できません。（⇒73ページ）

※ 読み込み完了後に動画エリア下にある再生ボタンをクリックすると、映像が表示されます。

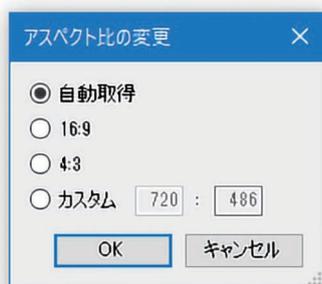


初めて使用するメディアファイルは、音声波形の生成に少し時間がかかります。波形を新規で生成しているときは、下のようなダイアログが出ていますので、そのままお待ちください。処理時間はメディアの長さによって変わります。



### 2-2 メディアの表示調整

音声メディアの場合はビューエリアには何も表示されません。映像メディアの場合は映像データが持つアスペクト比情報に合わせて映像内容が表示されます。アスペクト比情報を持たない場合、誤った情報が入っている場合には、意図どおり表示されないことがあります。映像の縦横比が不自然な場合は「メディア」→「アスペクト比の変更」を使用して正しいアスペクト比を選択してください。



- 初期状態では「自動取得」に設定されています。自動取得では、映像ファイル自体が持っている情報をもとに、サイズを自動調整したうえで表示します。
- 「16：9」は、現行のテレビ放送で使われているアスペクト比です。映画のビスタサイズに近い比率です。
- 「4：3」は、アナログ時代のテレビのアスペクト比です。古いビデオなどはこちらを選択してください。
- 「カスタム」は、サイズが一般的でない特殊な動画などで、表示サイズを直接指定したい場合に使用します。

## 2-3 メディアの再生と停止

方法① 再生コントロールパネルの【再生】【一時停止】ボタンをクリック

※メディアの再生中は【再生】ボタンが【一時停止】ボタンに変化します。

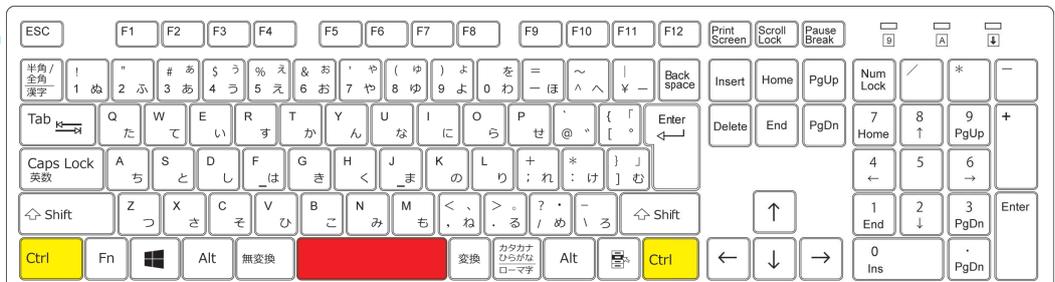


【停止】ボタンを押すと完全停止します。  
一時停止とは異なり、表示がオフになるとともにメディアの先頭に戻ります。

◎素早くメディアの再生位置を移動  
シークバーのスライダーを左右に動かすと、それに合わせて再生位置が変わります。

方法② キーボードの Ctrl+Space キーを押すたびに再生と一時停止を繰り返します。

### Ctrl+Space キー



## 2-4 コマ送り／戻し

方法① 再生コントロールパネルのコマ送りボタンで操作



方法② キーボードの不等号キーを使用する。

コマ戻し：Ctrl + 【<】キー

コマ送り：Ctrl + 【>】キー



## 2-5 指定秒送り／戻し

※秒数の設定は「ツール」>「環境設定」>「早戻し/スキップの単位」で行えます。  
デフォルトは5秒になっています。(⇒環境設定については69ページ)

### 指定秒戻し：Ctrl + B



### 指定秒送り：Ctrl + N



## 3. 書き起こし編集

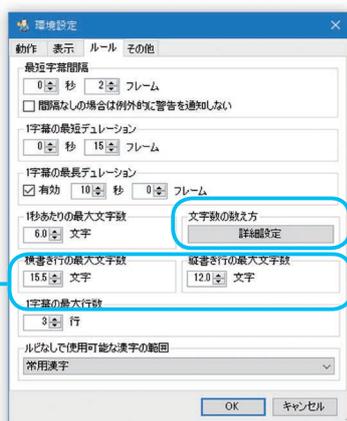
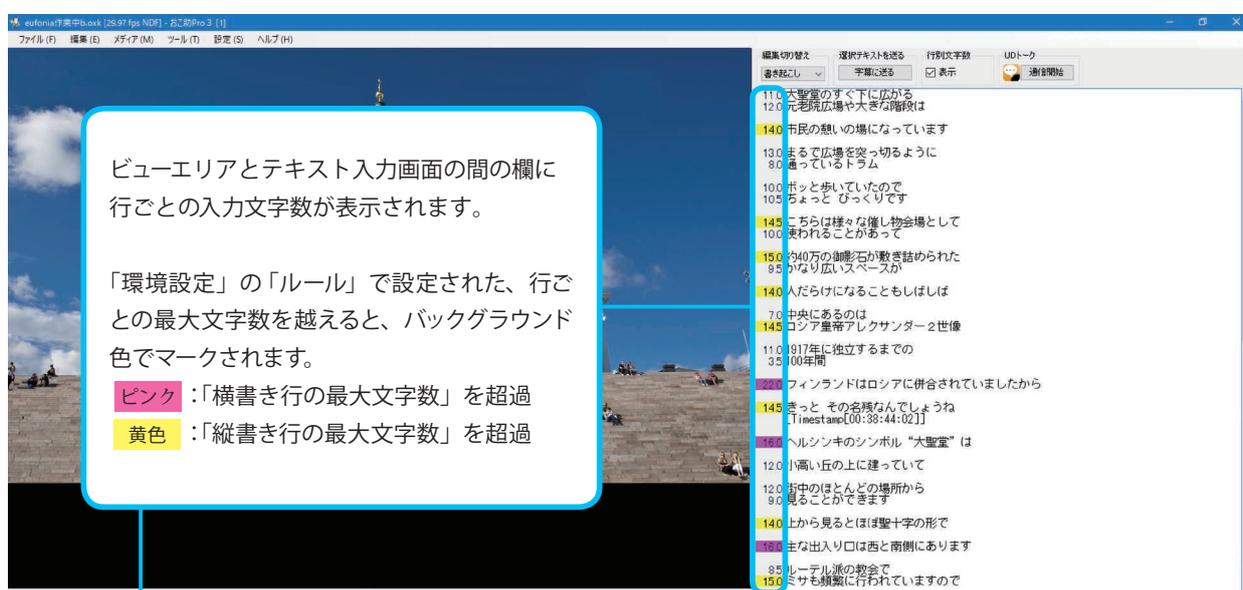
### 3-1 テキストの作成

編集・調整エリアの左上のメニュー「編集の切り替え」から「書き起こし」を選択します。

下図のように大きなテキスト入力画面が現れます。このウィンドウ内には自由に文字入力が可能です。

ほかのデータからテキスト内容をコピーし、貼り付けていくこともできます。

また、「UDトーク」ボタンを使うことで、コミュニケーション支援ソフトウェア「UDトーク」で音声認識変換されたテキストを送り込むことができます（⇒連携方法については27ページ）。



おこ助は、全角文字を「1」半角文字を「0.5」でカウントします。

特定の文字に対してカウント数を変更したいときは、「環境設定」の「ルール」内にある「文字数の数え方」で設定します（⇒71ページ）。



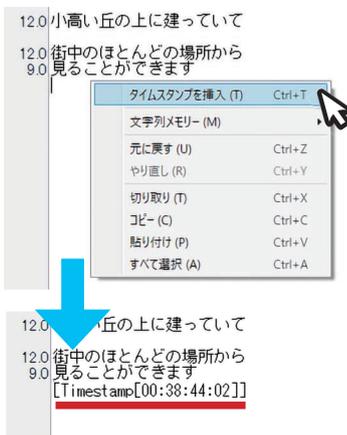
★テープ起こし作業などで1行に大量の文字を素早く入力する必要がある場合には、「行別文字数」の表示チェックを外すと、動作速度が改善されます。

★書き起こし編集での作業状態のまま保存したおこ助ファイルは、次に開いたときも自動的に書き起こし編集モードで開くようになっています。

### 3-2 タイムスタンプ機能

書き起こしたテキスト内容がメディア内のどこにあるのかをメモするために使用します。メディアの現在位置時間を簡単にテキスト内に情報として挿入できます。

#### Ctrl + T



- ① タイムスタンプを挿入したい位置にカーソルを移動します。
- ② 右クリックでダイアログを開き、「タイムスタンプの挿入」を選択します。あるいはキーボードショートカットを押します。
- ③ 左図のようにメディアの現在位置のタイムが挿入されます。



★字幕編集モードへテキストを送る際には読み飛ばされますので、タイムスタンプを削除する必要はありません。

★タイムスタンプは書き起こし編集モードでのみ使用できます。

### 3-3 文字列メモリー

案件ごとに、よく出てくる単語やフレーズを登録しておくことで、必要ときにテキスト内のカーソルがある場所にすばやく挿入する機能です。右クリックで開くメニューか、ショートカットキーを使って使用します。

(⇒文字列メモリーの使い方 61 ページ)



### 3-4 UDトーク連携ボタン

他社製の音声リアルタイム文字化アプリ「UDトーク※<sup>1</sup>」の音声認識と連携させて、テキスト変換結果を書き起こし編集ウィンドウ内に直接送り込むことができます。

この機能を使用するためには、お使いのPCと「UDトーク」をインストールしたモバイル端末が、同じ社内LANや家庭内LANに同一階層で（同一ルーターに）つながっている必要があります。

1. まず、モバイル端末のUDトークアプリを立ち上げます。

2. おこ助の書き起こし編集ウィンドウのUDトーク「通信開始」ボタンを押します※<sup>2</sup>。



3. UDトークのアプリ画面上に「おこ助に接続する」と表示されますので、そちらをタップしてください。おこ助と通信が取れ、音声入力画面になります。



4. UDトークの「タップして話す」をタップします。おこ助の書き起こし編集ウィンドウ側には右のように、入力するモバイル端末のユーザー名が表示されます。

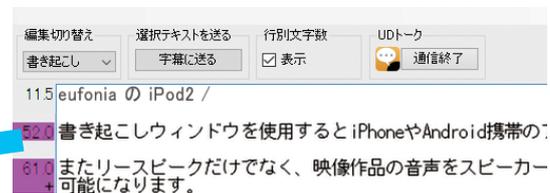


5. モバイル端末に音声内容を聞き取らせると、UDトークの音声認識によってテキストデータが生成されていきます。



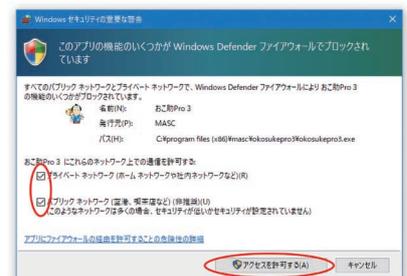
6. 発話内容によってUDトークが句点(。)の部分と判断すると、おこ助の書き起こし編集ウィンドウ内にそこまで送られます。音声入力を続けると、句点ごとに空行が挿入されながら、次々とテキストが送られます。

7. 音声の内容が終わったらUDトークの「タップして終了」をタップして変換を終了します。おこ助側で変換ミスなどを確認・修正してください。



※<sup>1</sup> 「UDトーク (<http://udtalk.jp/>)」は ShamrockRecords 株式会社他が提供しているコミュニケーション支援・会話の見える化アプリです。個人使用は無償ですが、使用目的によっては、個人、あるいは法人で適切な契約を結んでください。専用サーバーを使えるプランを使用すると、高いセキュリティー下での作業も可能となります。

※<sup>2</sup> 使用PCで初めてUDトークとの「通信開始」ボタンを押した際、右のようなファイアウォールに関する警告メッセージが出ることがあります。「プライベートネットワーク」「パブリックネットワーク」共にチェックを入れてアクセスを許可してください。



### 3-5 作成テキストを字幕編集に送る（書き起こし編集の終了）

入力したテキストは字幕編集モード側へ流し込むことができます。流し込みたい範囲を選択し、「字幕に送る」ボタンを押します。選択した部分のテキストが字幕編集内に配置されます。

おこ助は、空改行で仕切られたテキストのブロックを1つの字幕内容と認識して、字幕編集の各セルに分割配置します。書き起こし編集の段階で、文意に合わせて字幕内容の割り振りを設計しておくことで、後々の表示調整の手間を大幅に減らすことが可能です。

#### 文字を入力

#### テキストを全選択

#### 「字幕編集」へ自動分割配置

#### 空行を入れずに文字入力

#### 「字幕編集」に送ると…

空改行が無い状態で字幕に送ろうとすると、上のように確認ダイアログが表示されます。そのまま「はい」を押すと、空改行で区切られていない内容は、すべて1つの字幕となってしまいます。個々の字幕に分かれるよう、きっちりと空改行を入れたつもりでも、見落としがあると同様の確認ダイアログが表示されます。



- ★確認対象となる1字幕の最大行数は環境設定と連動しています。(⇒71ページ)
- ★書き起こし編集内のテキストデータは、字幕編集へ送られたあとも、そのまま保持されています。ただし、字幕編集側で内容を修正しても、書き起こし編集内の元テキストには反映されません。
- ★書き起こし編集で新たに入力したテキストを、追加で字幕編集に送りたい場合は、新たに追加したい部分のみを選択して「字幕に送る」ボタンを押します。新たに送った内容は、字幕編集側のリスト最下部に追加されていきます。

## 4. 字幕編集モードの基本動作と表示

字幕の作成や編集に関する操作のほとんどはここでを行います。(→各部の概要は 15 ~ 16 ページ)

字幕調整エリアには、字幕表示 1 つに対して 1 行を使用して、調整に必要な項目がセル状に並んでいます。

### 4-1 セルの選択

すべての動作指示や編集はセルを選択して行います。選択セルは青く表示されています。編集したいセルの選択は、キーボードの十字キーを使って選択位置を移動させるか、マウスで直接クリックして行います。



また、複数字幕に対しての処理や削除を行いたい場合に、字幕の選択を行単位で行うことができます。

下のように選択したい字幕行の左の選択用スペースをクリックするか、選択したい行内にあるセル上での右クリックメニューから「行を選択」を選ぶと、その行が選択できます。



【Shift】キーや【Ctrl】キーを押しながら左の選択用スペースをクリックすると、複数の字幕を選択できます。

#### 連続した字幕を選択する場合



#### 特定の字幕のみ選択する場合



## 4-2 基本動作とプレビュー表示

編集・調整エリアには、1行ごとにいくつかのセルがありますが、実際に選択・編集を行えるセルは「イン点」「アウト点」「字幕テキスト」の3つです。そのほかのセルは、設定内容の確認や補足情報を一覧表示するためのものです。

また誤操作を防ぐために、編集可能なセルであっても選択しただけでは入力できないようになっています。

(⇒イン点・アウト点の設定方法は 32 ページ 字幕テキストの編集の詳細は 45 ページで)

730	01:38:08:17	01:38:11:25	3:08	≡	ちよつと¥N殺風景な印象すら受けますね
731	01:38:12:28	01:38:15:10	2:12	≡	2階にパイプオルガンがある
732	01:38:06	06	5:07	≡	説教壇や祭壇天使の彫刻によるデザイン
733	01:38:22:11	01:38:25:00	2:19	≡	また祭壇の絵画は¥D

字幕テキストだけが入力された状態ではビューエリア内にプレビュー字幕は表示されず、セルの選択やメディア再生を行っても全体動作に変化はありません。

表示タイミング時間情報としてイン点とアウト点に数値が入ることではじめて、メディアおよび音声波形エリアと字幕内容の連動が開始されます。

イン点とアウト点が入力された字幕行は、次のように動作する仕様になっています。

- 1 字幕行をクリックかセル選択すると、メディアと音声波形エリアが、その字幕のイン点に入力されている時間位置にジャンプします（未入力の場合はメディアは反応しません）。
- 2 ビューエリアには、メディアの時間位置とイン点からアウト点の表示指定時間が一致した字幕の内容がプレビュー表示されます。
- 3 編集・調整エリア上では、メディアの現在時間に合わせて、プレビュー表示されている字幕の行が黄色（初期設定）で表示されます（字幕数が多い場合はエリアの中央に自動でスクロール移動します）。
- 4 メディアの現在位置に合わせてプレビューされている字幕と、編集のために現在選択されている字幕が異なる場合、ビューエリアをクリックするか、ショートカットキー【Ctrl】+【J】を押すことで、プレビュー中の字幕を瞬時に選択できます。

### プレビュー中の字幕を選択：Ctrl + J



- 5 メディアの再生による字幕のプレビュー表示と編集・調整エリアの自動スクロール動作より、編集・調整エリアで字幕セルを選択した際のメディアの時間位置移動のほうが、動作として優先されます。



- ★タイムや字幕内容の入力・変更は、編集・調整エリア上で編集したい字幕のセルを選択して行います。
- ★字幕を選択すると、その字幕のイン点として設定されているタイムにメディアが移動します（未入力の場合はメディアは移動しません）。
- ★メディアを再生しているときにビューエリアに表示されている字幕と、編集のために選択されている字幕は必ずしも一致していません。そのまま選択字幕を編集しようとする、メディアが選択字幕のイン点にジャンプしてしまいます。
- ★今、プレビュー表示されている字幕を編集したいときは…ビューエリアをクリックするか【Ctrl+J】を押して、プレビュー表示中の字幕をまず選択することを忘れずに。

### 4-3 エラー（お知らせ）表示機能について

設定内容や入力内容に問題がある、あるいは指定しているルールから逸脱した内容が含まれる字幕を、大量の字幕の中から、すぐに見つけ出せるよう、字幕内の特定セルが紫色（初期設定）のエラー色で着色され、お知らせするようになっています。

「字幕番号」セルの着色：イン点タイムが前の字幕のアウト点タイムと接近しすぎている。  
イン点タイムが前の字幕のアウト点タイムと逆転している。  
イン点・アウト点が未入力。

「デュレーション」セルの着色：字幕の長さがルール設定より短い、または長い。

「字幕テキスト」セルの着色：1行の文字数がルール設定より多い。行数がルール設定より多い。  
ルール設定で指定した範囲外の漢字を使用している。  
不要な空改行や行末スペースがある。



- ★初期設定のままでは、作成に影響のない場合でも条件の違いでエラー表示になることがあります。ルールの設定を最適な状態にしてから作成をはじめてください。  
(→環境設定「ルール」詳細 71 ページ)
- ★エラー内容ごとに検索機能を使ってチェックする方法もあります。  
(→詳しくは 65 ページの「エラー検索」で)

## 5. 字幕タイミングの設定と編集

字幕編集モードでひとつひとつの字幕の表示タイミングを指定していきます。

編集・調整エリア上部のメニュー「編集の切り替え」で「字幕」を選択してください。

書き起こし編集で作成したテキストを使用してタイミングを設定するときは、使用するテキスト部分を選択し、「字幕へ送る」ボタンを押すことで字幕編集モードに移動します。(⇒テキストの送り方解説は 28 ページ)

### 5-1 タイミング設定の基本操作

各字幕の行内にあるイン点（表示の始まり）とアウト点（表示の終了）セルを使ってタイミングを設定します。メディアを再生しながら、音声の始まる場所の時間をイン点タイム、終わった時間をアウト点タイムとして指定入力することで、その音声聞こえている間、字幕が表示されるようになります。

タイミングを設定する方法には、大きく分けてキーボード中心の操作と、波形エリア上で主にマウスを使った操作があります。どちらで行う場合も、まずタイムを入力したいセルを選択し、メディアの音声内容に合わせてながら操作を行います。セル内にタイムが記録されると同時に、次に入力すべき場所にセルの選択が移動するようになっています。

それぞれの方法で、簡単なタイミング取りを行ってみましょう。

#### 初期状態からのタイミング設定 ① キーボードを使う

右は字幕編集モードの初期状態です。何もない字幕行が 1 つあります。青い部分が選択された状態のセルです。



#### ◆イン点の設定

まず最初の字幕行のイン点セルが選択されているか確認します。

もし、選択されていない場合は十字キーを使うなどでイン点を選択された状態にします。

メディアを再生・操作しながら、字幕を表示させたい位置へ移動します。

字幕の表示を開始したい位置にメディアが来たら、キーボードの【I】キーを短く押します。

#### 【I】キー



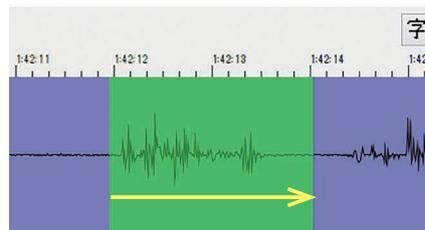
メディアの位置を元にタイムがセル内に入力され、右のように選択セルはアウト点へ移動します。



### ◆アウト点の設定

入力したい字幕のアウト点セルが選択されているか確認してください（イン点入力から引き続きの操作であれば、同じ字幕のアウト点セルがすでに選択されています）。

メディアを再生操作して字幕の表示を終了させたい位置へ移動していきます。すると音声波形表示エリア上で、イン点からメディアの現在位置の間が、右のように緑色になって伸びていきます。この色の範囲で字幕を表示させようとしているという意味です。



字幕表示を終了させたい位置にメディアが来たら、キーボードの【O】キーを短く押します。

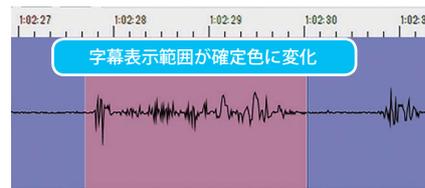
### 【O】キー



メディアの位置を元にタイムがセル内に入力されて、音声波形表示エリアの字幕範囲が確定色に変わります。同時に新たな空字幕行が下に追加され、そのイン点セルが選択状態になります。



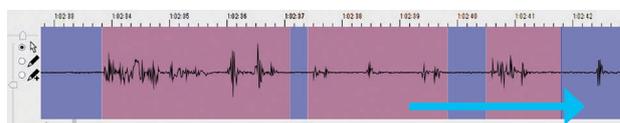
空字幕が追加されました



字幕表示範囲が確定色に変化

このように新しい空字幕の生成と選択セルの移動が自動で行われますので、メディアを再生した状態で【I】キー、【O】キーを繰り返して押すことで、空の字幕をどんどん配置していただけます。

編集切り替え		字幕ループ再生		イン点の前制入力		字幕番号	
字幕	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 有効	0	秒	9	フレーム	6
Ti	イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	
1	0	01:02:27:21	01:02:30:01	2:10	≡		
2	0	01:02:30:23	01:02:31:28	1:05	≡		
3	0	01:02:33:25	01:02:37:03	3:08	≡		
4	0	01:02:37:12	01:02:39:25	2:13	≡		
5	0	01:02:40:15	01:02:41:24	1:09	≡		
6	0				≡		



セル内のタイムを削除したい場合は、該当セルを選択した状態で【Delete】キーを押してください。



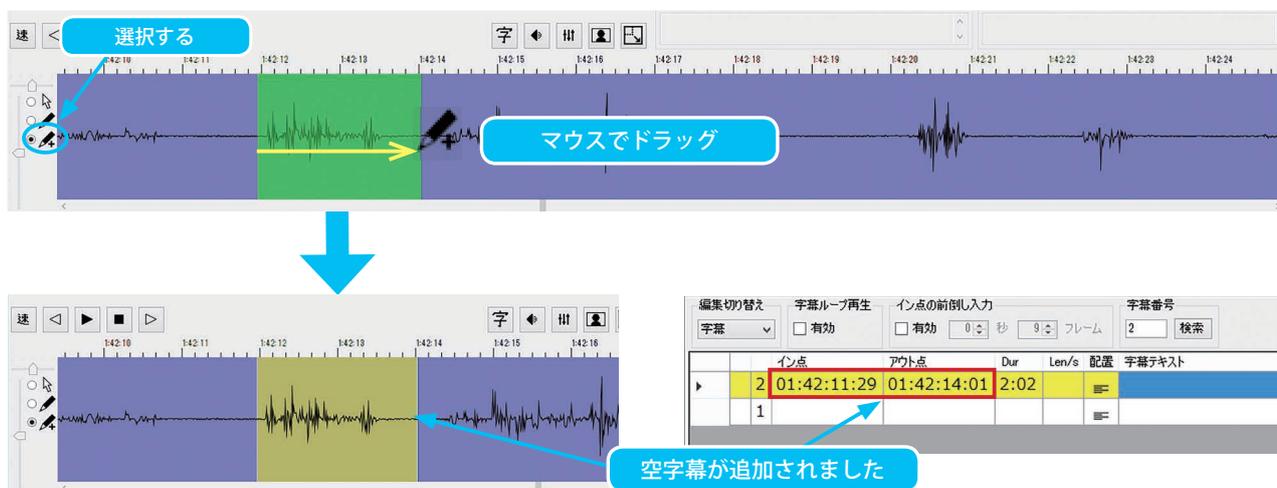
- ★タイミングは、あとから微調整できます。（⇒タイミングの微調整 41 ページ）
- ★タイミングを効率的にとるために、数々の補助機能があります。（⇒38 ページ）
- ★作成した空字幕の字幕テキストセルをダブルクリックすると、表示させるテキスト内容を入力できます。（⇒字幕テキストの編集方法詳細 45 ページ）

## 初期状態からのタイミング設定 ② マウスと音声波形エリアを使う

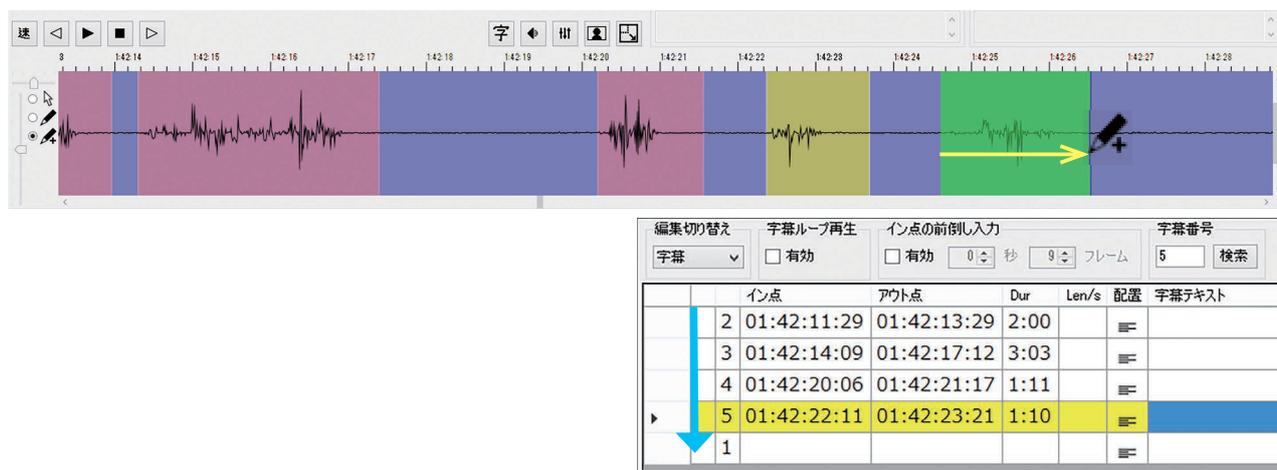
右のように字幕がない状態から、音声波形上でマウスを使ってタイミングのみの空字幕を作成してみましょう。



まず、音声波形エリア左端で字幕追加ツール（アイコンの  ）を選択します。メディアを再生しながら、字幕を表示させたい音の内容と、それに対する音声波形の状態を確認します。範囲がつかめたら、字幕を開始したい場所から終了したい場所までの音声波形エリア上を、マウスでドラッグしてください。イン点とアウト点の両方が入力された空字幕が、その時間位置に作成されます。



引き続き同じ動作を繰り返すことで、どんどん空の字幕を時間軸上に配置していくことができます。



- ★タイミングは、あとから微調整できます。（⇒タイミングの微調整 41 ページ）
- ★作成した空字幕の字幕テキストセルをダブルクリックすると、表示させるテキスト内容を入力できます。（⇒字幕テキストの編集方法詳細 45 ページ）

## 5-2 書き起こし編集から送ったテキストにタイミングをつける

書き起こし編集からテキストを送った状態の編集・調整エリア内には、表示タイミングが入っていない字幕が右のように行配置されています。

4-1 とほぼ同じタイミング設定操作で、これらのテキストの字幕表示に必要な時間情報を付与していくことができます。

やはり、キーボードとマウスで行う方法がありますので、なじみやすいほうをご利用ください。

イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	メモ
1					大聖堂のすぐ下に広がるN元老院広場や大きな階段は		
2					市民の憩いの場になっています		
3					まるで広場を突っ切るようにN通っているトラム		
4					ポッと歩いていたのでNちょっと ひっくりです		
5					こちらは様々な催し物会場としてN使われることがあ		
6					約40万の御影石が敷き詰められたNかなり広いスペースが		
7					人だらけになることもしばしば		
8					中央にあるのはNロシア皇帝アレクサンダー2世像		
9					1917年に独立するまでのN100年間		
10					フィンランドはNロシアに併合されていましたから		
11					ざっと その名残なんですよ		

※書き起こし編集からテキストを送る方法は 28 ページ参照

### テキスト内容がある場合のタイミング設定 ① キーボードを使う

#### ◆イン点の設定

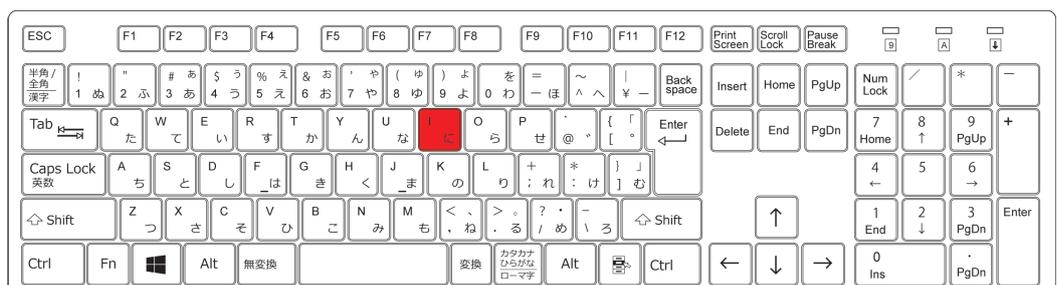
タイミングを取り始めたい字幕のイン点セルを選択します。キーボードの十字キーで移動するかマウスでクリックしてください。

イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	メモ
1					大聖堂のすぐ下に広がるN元老院広場や大きな階段は		
2					市民の憩いの場になっています		
3					まるで広場を突っ切るようにN通っているトラム		
4					ポッと歩いていたのでNちょっと ひっくりです		
5					こちらは様々な催し物会場としてN使われること		

次に、メディアを再生操作しながら、テキストの内容と同じ音声がある位置付近まで移動します。

テキスト内容と一致する音声で再生され始める瞬間の位置にメディアが来たところで、キーボードの【I】キーを短く押します。

#### 【I】キー



メディアの位置を元にタイミングがセル内に入力され、右のように選択セルはアウト点へ移動します。

イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	メモ
1	00:19:28:20				大聖堂のすぐ下に広がるN元老院広場や大きな階段は		
2					市民の憩いの場になっています		
3					まるで広場を突っ切るようにN通っているトラム		
4					ポッと歩いていたのでNちょっと ひっくりです		
5					こちらは様々な催し物会場としてN使われること		

#### ◆アウト点の設定

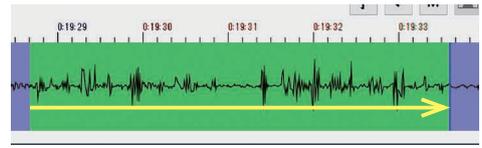
入力したい字幕のアウト点セルが選択されているか確認してください。

(イン点入力から引き続きの操作であれば、同じ字幕のアウト点セルが選択されています。)

音声を聞きながらメディアを再生し、その字幕のテキスト内容と一致する音声が終わる位置へ移動していきます。

そのとき、音声波形表示エリア上では、イン点からメディアの現在位置の間が右のように緑色で伸びていきます。

この色の範囲で、その字幕が表示されることとなります。



テキスト内容と一致する音声が終わりに、字幕表示を消したい位置にメディアが来たところでキーボードの【O】キーを短く押します。

## 【O】キー



メディアの位置を元にタイムがアウト点のセル内に入力されます。それと同時にセルの選択が次の字幕のイン点へ移動します。また、音声波形表示エリアの範囲が確定色に変わります。



字幕表示範囲が確定色に



選択セルは次に移動

メディアを再生し続けた状態で【I】キー、【O】キーを繰り返して押すことで、大まかなタイミングをどんどん設定することができます。

イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	※
00:19:36:19	00:19:40:11	3:22			＝ まるで広場を突っ切るようにVNI通っているトラム		
00:19:40:27	00:19:45:15	4:18			＝ ポット歩いていたのでVNIちょっとびっくりです		
00:19:47:09	00:19:51:06	3:27			＝ こちらは様々な催し物会場としてVNI使われることがあ		
00:19:51:09	00:19:54:21	3:12			＝ 約40万の御影石が敷き詰められたVNIかなり広いスペースが		
00:19:54:24	00:19:56:22	1:28			＝ 人だらけになることもしばしば		
00:20:24:26	00:20:28:14	3:18			＝ 中央にあるのはVNIロシア皇帝アレクサンダー2世像		
00:20:28:29	00:20:32:19	3:20			＝ 1917年に独立するまでのVNI100年間		
00:20:34:18	00:20:37:09	2:21			＝ フィンランドはVNIロシアに併合されていたから		
00:20:37:12					＝ きっと その名残なんだろうね		
					＝ ヘルシンキのシンボル “大聖堂” は		
					＝ 小高い丘の上に建てられて		

何らかの理由でセル内のタイムを削除したい場合は、該当セルを選択して【Delete】キーを押してください。

単にやり直したい場合は、セルを再選択してそのまま【I】キー、【O】キーを押せば、新しいタイムで上書きされます。



- ★アウト点が設定されないと字幕内容はビューエリア上に表示されません。
- ★字幕に設定された表示時間とメディアの再生位置が重なると、行全体が黄色くなって現在プレビュー中であることを示します。
- ★タイミングを効率的にとるために数々の補助機能があります。(⇒ 38 ページ)
- ★音の始末を捉えるには、ある程度の経験も必要です。音声波形での確認のほか、M キーを使った頭出し (⇒ 解説は 40 ページ) などをお試しください。

## テキスト内容がある場合のタイミング設定② マウスと音声波形エリアを使う

タイミングを設定したい字幕のイン点セルを選択します（行選択でもかまいません）。

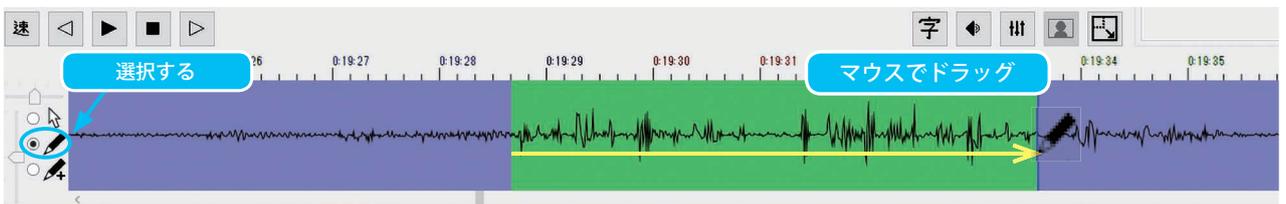
選択する

イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	メモ
1					大聖堂のすぐ下に広がる旧元老院広場や大きな階段は		
2					市民の憩いの場になっています		
3					まるで広場を突っ切るように通っているトラム		

音声波形エリア左側のメニューからタイミング上書きツール（アイコン ）を選択します。

メディアを再生して、テキスト内容と同じ音の範囲を確認してください。

範囲がつかめたら、字幕表示を開始したい場所から終了したい場所までの音声波形エリア上を、マウスでドラッグします。



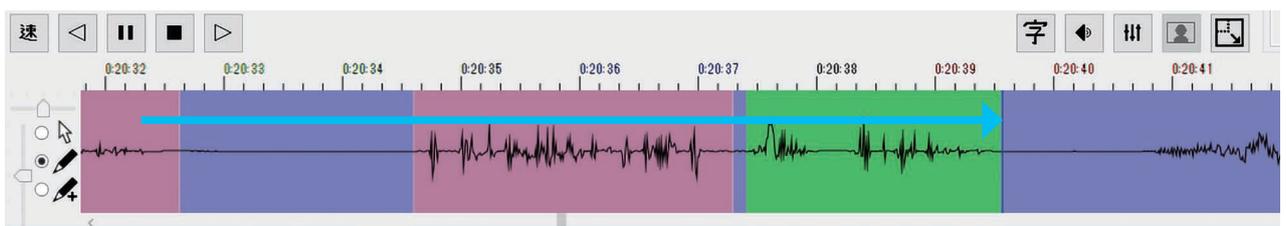
タイミングが設定されました

マウスを放すとイン点とアウト点セルの両方にタイムが一度に入力され、セルの選択が次の字幕のイン点へ移動します。また、音声波形表示エリアの範囲が確定色に変わります。

繰り返して波形上をマウスドラッグすることで、テキストだけの字幕に連続でタイミングを設定していくことができます。

すでにタイミングが設定されている字幕のセルを選択した状態で操作を行うとタイムが上書きされてしまいます。どの字幕のセルが選択されているかを確認しながら進めてください。

イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原	メモ
3	00:19:36:19	00:19:40:11	3:22		まるで広場を突っ切るように通っているトラム		
4	00:19:40:27	00:19:45:15	4:18		ポットと歩いていたので旧ちよっと ひっくりです		
5	00:19:47:09	00:19:51:06	3:27		こちらは様々な催し物会場として旧使われることがあって		
6	00:19:51:09	00:19:54:21	3:12		約40万の御影石が敷き詰められた旧かなり広いスペースが		
7	00:19:54:24	00:19:56:22	1:28		人だらけになることもしばしば		
8	00:20:24:26	00:20:28:14	3:18		中央にあるのは旧ロシア皇帝アレクサンダー2世像		
9	00:20:28:29	00:20:32:19	3:20		1917年に独立するまでの旧100年間		
10	00:20:34:18	00:20:37:09	2:21		フィンランドは旧ロシアに併合されていたか		
11	00:20:37:12				ざっと その名残なんですよね		
12					ヘルシンキのシンボル "大聖堂" は		



何らかの理由でセル内のタイムを削除したい場合は、該当セルを選択して【Delete】キーを押してください。やり直したい場合は、セルを再選択してそのままマウスドラッグすると、新しいタイムで上書きされます。

## 5-3 タイミング設定のための補助機能

### ワンタッチ・リトライ

流し打ちでタイミングの入力を行っているとき、早すぎた、あるいはキーを打ち損じたといったことがよくあります。そんなときに、今、行った動作をキー1つでやり直すことができる機能です。

入力に失敗したら、そのまま【Backspace】キーを1度押してください。

やり直しに必要な、

打ち直すセルを再選択 → 直前に入力されたセルのタイムを消去 → メディアを少し前に戻して再生を再開。

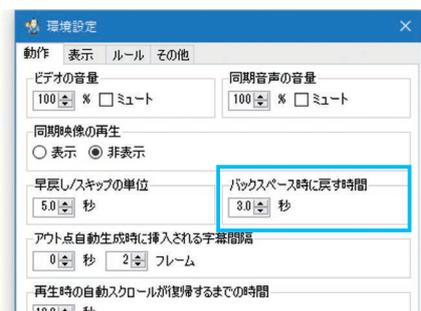
この一連の動作が自動で行われます。再生を止めずに、そのまま再入力にトライできます。

### 【Backspace】キー



ワンタッチ・リトライ時にメディアの再生再開をどのぐらい前からにするかは、環境設定の「動作」タブにある「バックスペース時に戻す時間」で変更できます。

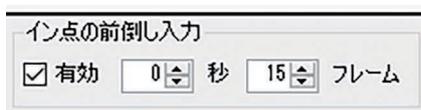
初期設定は3秒ですが、個人差に合わせて設定し直しておけば、使い勝手が向上します。



### イン点前倒し入力機能

メディアを再生したままの流し打ちでイン点のタイム入力を行う場合、音声聞こえた瞬間にキーを押しても、記録されるタイムにはどうしても遅れが発生します。

編集・調整エリア上部の「イン点の前倒し入力」を「有効」にして、遅れると予想される数値を個人差に合わせてあらかじめ設定しておくことで、タイムのズレを一定量軽減することができます。



- ★この機能は再生中に【I】キーを使ってイン点を打つ場合にのみ有効です。アウト点や、一時停止・コマ送りの際には反映されません。
- ★あくまで、おおまかな入力作業を補助するための機能です。見やすい字幕を作成するためには、仕上げ段階で字幕ひとつひとつの音声を確認しながら、タイミングを微調整してください。

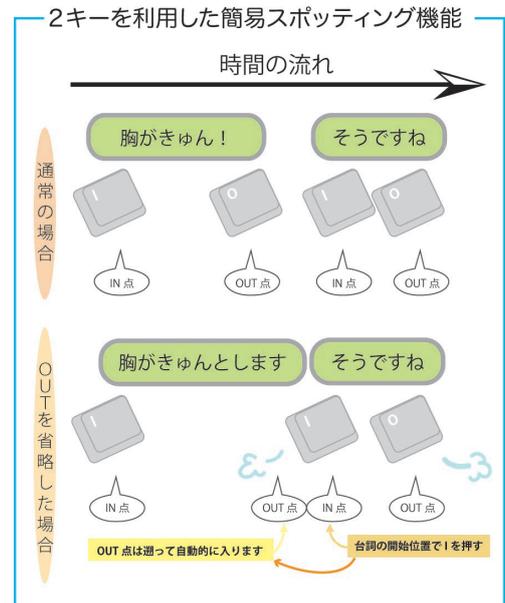
## タイミング連続設定補完機能

話が切れ間なく連続していたり会話のスピードが速かったりと、音声の内容によっては、再生しながら【I】キー、【O】キーを続けて押してタイムを設定していると、操作タイミングが間に合わなくなることがあります。

そういった場合に便利なのが、【I】キーのみを使用して、アウト点と次のイン点タイムを一度に設定することができる、この機能です。

【O】キーでアウト点を設定せず、アウト点のセルが選択されている状態のまま、次の字幕のイン点ポイントに来たら【I】キーを押します。すると、次の字幕のイン点セルに、【I】キーが押されたタイミングで数値が入力されると同時に、アウト点を入れなかった前の字幕には、自動生成されたアウト点タイムが一度に設定されます。

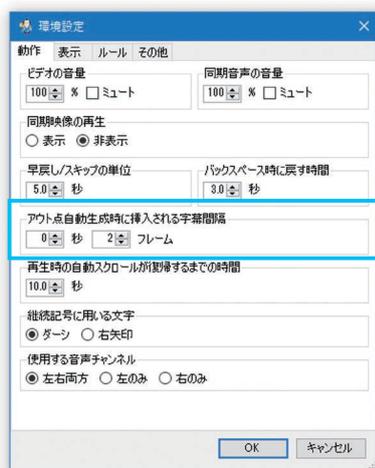
同時にセルの選択は次の字幕のアウト点に移動します。



8	00:20:24:26	00:20:28:14	3:18	●	≡	オスにゆるる像	8	00:20:24:26	00:20:28:14	3:18	●	≡	オスにゆるる像
9	00:20:28:29	00:20:32:19	3:20		≡	1917年に独立	9	00:20:28:29	00:20:32:19	3:20		≡	1917年に独立
10	00:20:34:18				≡	フィンランド	10	00:20:34:18	00:20:37:09	2:21	●	≡	フィンランド
11					≡	ぎっと その名	11	00:20:37:12				≡	ぎっと その名
12					≡	ヘルシンキの	12					≡	ヘルシンキの
13					≡	小高い丘の上	13					≡	小高い丘の上

アウト点を選択された状態のまま  
【I】キーを押します。

次のイン点として入力されると同時に  
間隔を空けて遡ったアウト点も入ります。



そのまま【I】キーだけで、同様にタイミングの設定を続けることができます。状況によって【O】キーを使用すると、セル選択は次の字幕のイン点セルに移り、通常どおりの入力に戻ります。

この機能で自動生成されるアウト点タイムを、イン点からどのくらい間隔を保ったものとするかを環境設定で指定できます。

(⇒環境設定については69ページ)

## 字幕タイミング頭出し機能

現在セルが選択されている字幕のイン点、アウト点に瞬時に移動することができる機能です。メディアの再生やコマ送りと組み合わせることで、より厳密にイン点、アウト点の音声状態を確認できますので、タイミングの確認や微調整に便利です。

### ◎セルが選択されている字幕のイン点へ移動 **Ctrl + M**



### ◎セルが選択されている字幕のアウト点へ移動 **Ctrl + Shift + M**



#### ▼ 映像フレームとイン点・アウト点数値と字幕表示の関係 ▼

複数の画像を次々と切り替えることで動いている状態として表示させている動画。作り方によって異なるのですが、多くの場合1秒間の画像数は24～30フレーム(枚)です。おこ助 Pro3は、動画の1秒内枚数に精度を合わせて動作します。そのため字幕の表示、非表示を決めるイン点・アウト点タイムも、その中の特定の1枚を指定することで成り立っています。しかし1秒を特定の枚数で区切った場合、その1区切り自体にも時間の長さがありますよね。では、タイムと表示が出て消える瞬間の関係は、厳密にはどうなっているのでしょうか？ 下図は1秒内が30フレームで、イン点タイム 01h05m45s11frm アウト点タイム 01h05m48s22frm に設定した場合の例です。



矢印が再生方向で、実際に字幕が表示されるのは下がグレーになっている部分です。アウト点タイム自体は字幕表示されず、その寸前までが表示対象となります。この考え方は、一般的な画像編集ソフトと同じです。

## 5-4 タイミングの微調整

再生しながらの流し打ちで設定したタイミング。

そのまま字幕を表示させると、不安定で見づらい箇所が多い状態になっているはず。

視聴に耐えられる字幕として仕上げるためには、イン点・アウト点を音声に合わせて正確に微調整することが必要不可欠。おこ助は、この項にあるようにさまざまなスタイルでタイミングの微調整を行えるようになっています。状況に合わせて使い分けてみましょう。

### タイミング調整方法① タイミングシフト機能を使う

すでに入力されている数値をキーボードを使って少しずつ変更することができます。

調整したい字幕のイン点、あるいはアウト点のセルを選択し、【Q】または【W】キーを押します。

1度押すたびに、使用しているメディアの最低移動単位で入力されているタイムが変化します。

音声波形の状態や【M】キーを使った頭出し再生を併用して確認すると、確実な微調整を行えます。

**Q キー 0.033 秒 (1 フレーム) 早める**

**W キー 0.033 秒 (1 フレーム) 遅く**



#### ◆もう少し大きな単位で微調整したい場合に。

【Shift】キーを押しながら【Q】または【W】キーを使うと、0.33 秒 (10 フレーム) 単位での調整に変わります。

#### ◆隣接するタイムも同時に動かしたい場合に。

【Ctrl】キーを押しながら【Q】または【W】キーを使うことで、隣接する字幕のタイムが同じ数値だけ調整されます。

もちろん、【Shift】キーと組み合わせることもできます。

01:51:32:18	01:51:35:06	2:18	≡	01:51:32:18	01:51:35:06	2:18	≡
01:51:35:20	01:51:40:10	4:20	≡	01:51:35:20	01:51:40:05	4:15	≡
01:51:40:15	01:51:43:11	2:26	●	01:51:40:10	01:51:43:11	3:01	●
01:51:44:20	01:51:47:00	2:10	≡	01:51:44:20	01:51:47:00	2:10	≡

【Ctrl】キーを押した状態で  
【Q】を5回押すと

隣接する前の字幕のアウト点が  
同じ量だけ動きました。



## タイミング調整方法② 【I】【O】キーで上書きする

動画ファイルを使用していて、コマ送りで音声の状態をチェックできる場合に有効な方法です。タイムを調整したい字幕のイン点またはアウト点セルを選択したあと、コマ送りキーで音声を探ります。設定したい位置に来たところで、イン点なら【I】キー、アウト点なら【O】キーを押すと、その場所のタイムでタイミングが上書き修正されます。



## タイミング調整方法③ 数値を直接入力する

タイミング数値の直接入力を、テキスト編集エリア内で行えます。編集・調整エリアで、調整したいイン点やアウト点のセルをダブルクリックをするか、選択されている場合は【F2】キーを押すと、テキスト編集エリアがアクティブになります。その中のタイム入力フィールドにキーボードで数値を入力した後、確定すると数値が変更されます。テキスト編集エリアでの入力確定やキャンセル方法は、●ページ 6-1「字幕内容（テキスト）の編集と確定・キャンセル方法」をご覧ください。

7	00:19:54:24	00:19:56:22	1:28	●	≡	人だらけになることもしばしば
8	00:20:24:26	00:20:28:14	3:18	●	≡	中央にあるのはロシア皇帝アレクサンダー2世像
9	00:20:28:29	00:20:32:19	3:20		≡	1917年に独立するまでの100年間
10	00:20:34:18	00:20:37:09	2:21	●	≡	フィンランドはロシアに併合されていたから
▶ 11	00:20:37:12	00:20:39:17	2:05	●	≡	きっと その名残なんだろうね
12					≡	ヘルシンキのシンボル“大聖堂”は
13					≡	小高い丘の上に建っていて
14					≡	街中のほとんどの場所から見ることができます
15					≡	上から見るとほぼ聖十字の形で
16					≡	主な出入り口は西と南側にあります

11	00:20:37:12	00:20:39:17	2:05	確定	キャンセル
----	-------------	-------------	------	----	-------

字幕テキスト

横書き 下中央 行頭

14.5 (14.5) 13.0

きっと その名残なんだろうね

## タイミング調整方法④ 音声波形とマウスを使う

### ■イン点だけ・アウト点だけを調整する■

まず、左側のメニューで選択ツール（アイコン ）を選びます。

タイミングを調整したい字幕のイン点かアウト点付近に近づけると、ポインターが白い両矢印型  に変化します。その状態でマウスの左ボタンを押したまま左右にドラッグすると、イン点・アウト点の位置を自由に調整できます。メディアの内容や再生時間表示エリアで移動量を確認しながら行ってください。

マウスのボタンを離すと、セル内のタイムが変更された数値に置き換わります。

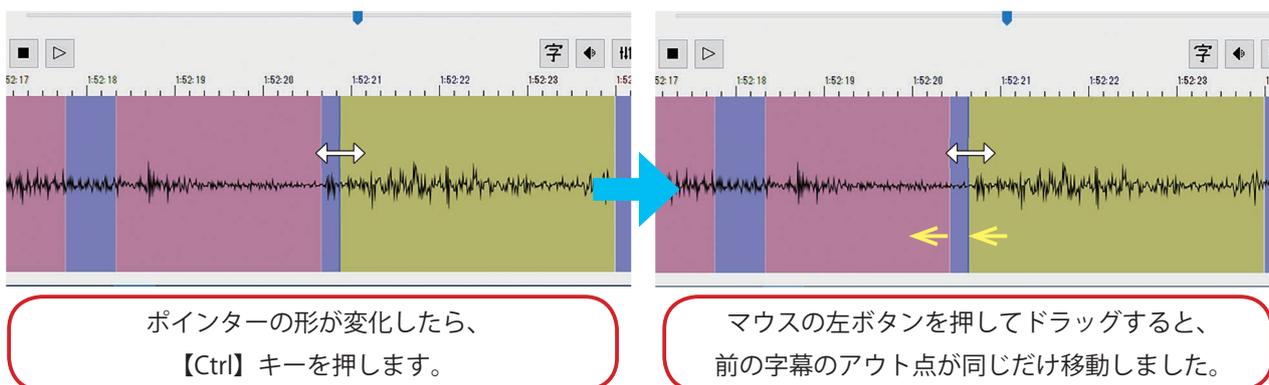


### ■隣接したイン点・アウト点も同時に調整する■

選択ツールの状態で、微調整したい字幕のイン点かアウト点付近に近づけます。

ポインターが白い両矢印型  に変化したら、【Ctrl】キーを押しながらマウスの左ボタンを押したまま左右にドラッグすると、隣接している字幕のイン点・アウト点と同時に調整することができます。

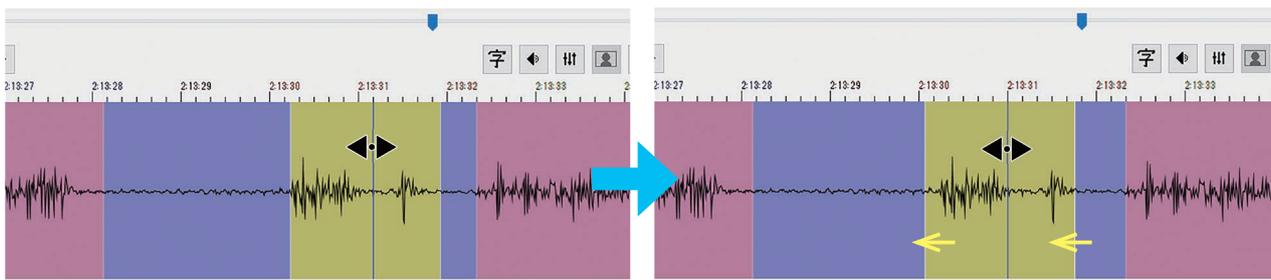
マウスのボタンを離すと、セル内のタイムが変更された数値に置き換わります。



### ■そのまま少し前後に移動させたい■

表示時間（デュレーション）は変えずに、そのまま少し移動させたい場合には、タイムスライドツールを使用すると便利です。

動かしたい字幕上でマウスの左ボタンを長押しすると、ポインターがタイムスライドツール  に変化します。そのまま左右にドラッグすると、スライドさせるように字幕を移動できます。



移動させたい字幕上でマウスの左ボタンを押し続け、ポインターが変化したら動かしたい方向へドラッグします。

複数選択したい場合は、【Ctrl】キーを押したまま、移動させたい字幕を複数選択していきます。最後の字幕を選択する際に、マウスボタンを押したまま【Ctrl】キーを離します。複数字幕選択状態のままポインターがタイムスライドツールに変わりますので、そのままスライドさせるように移動します。

■もっと厳密に調整したい■

キーボードと併用することで、さらに細かな調整を行えます。マウスポインターを音声波形エリア上の調整したいイン点やアウト点付近に移動し、両矢印型に変わったところでマウスの左ボタンを1度クリックします。該当箇所のセルが選択されますので、そのまま【Q】キーか【W】キーを押せば最低単位で微調整ができます(⇒【Q】キー・【W】キーについては41ページ)。音声波形上でマウスドラッグを使ってタイム調整したときも、該当するセルが選択されていますので、そのまま【Q】キーか【W】キーを使って、状態を波形上で見ながら微調整を加えるといった使い方ができます。

字幕番号	イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト
15	01:52:27:17	01:52:29:14	1:27		●	市民の憩いの場に
16	02:13:26:16	02:13:28:04	1:18		■	(街中に響く鐘の音
17	02:13:30:02	02:13:31:23	1:21		■	(大きな警笛)
18	02:13:32:08	02:13:35:20	3:12		●	まるで広場を突っ
19	02:13:40:13	02:13:44:02	3:21		■	ポツと歩いていた
20	02:13:44:27	02:13:47:20	2:23		●	こちらは様々な催

## 6. 字幕内容 (テキスト) の編集

### 6-1 字幕内容 (テキスト) の編集と確定・キャンセル方法

各字幕のテキスト内容・ルビ (ふりがな)・斜体・色づけ・継続記号・組文字の調整などを行うエリアです。また、表示位置の指定や、原文テキスト欄やメモ欄の内容の記入・変更もここでを行います。

通常は編集・調整エリアで選択されている字幕の内容を、プレビューと同じ状態で表示しています。

編集は、以下の方法でテキスト編集エリアをアクティブに行います。

編集が完了したら、確定させることでアクティブ状態が解除されます。

#### 編集エリアをアクティブにするには

- ① 編集したい字幕テキストセルか音声波形エリアの該当字幕領域をダブルクリック。
- ② 編集したい字幕テキストセルか音声波形エリアの該当字幕領域を選択し、【F2】キーを押す。
- ③ テキスト編集エリア内右上の【編集】ボタンを押す (編集中は【確定】ボタンに変わります)。
- ④ 編集したい字幕テキストセルを選択し、テキスト編集エリア内をダブルクリック。

● 4つの方法どれでも、同じように編集エリアをアクティブにできます。

① ダブルクリック  
② セル選択 + 【F2】キー

③ セル選択 + 【編集】ボタン  
④ セル選択 + エリア内ダブルクリック

エリアがアクティブに

● アクティブのときは、テキスト編集エリアが青い境界線で囲まれます。

## テキスト編集を確定するには

- ① 【F2】 キーを押す。
- ② 編集・調整エリアか音声波形エリアの好きな場所をクリック。
- ③ キーボードで【Ctrl】 + 【Enter】を押す。
- ④ テキスト編集エリア右上の【確定】ボタンを押す。

● 4つの方法どれでも、同じように編集が確定して、エリアが非アクティブになります。

① 【F2】 キー

② 青い範囲のどこかをクリック

③ 【Ctrl】 + 【Enter】 キー

④ 【確定】 ボタン

エディタのタイムライン表示

イン点	アウト点	Dur	Len/s	位置	字幕テキスト
472	01:26:21:07	01:26:26:17	5:10		また 景福の絵画はMN美術大学のウェブ教授が描いたVD
473	01:26:27:28	01:26:30:15	2:17		「イエスの埋葬」という大作です
474	01:26:30:23	01:26:37:06	6:13		大聖堂のすぐ下に広がるMN元老院広場や大きな階段は
475	01:26:37:13	01:26:41:05	3:22		市民の憩いの場になっています
476	01:26:41:27	01:26:46:00	4:03		{%DxFFFFFF00}まるで広場を突っ切るようにYN{W1}通{W2}かよ{W0}っているトラム
477	01:26:46:13	01:26:48:14	2:01		びっくりしました
478	01:26:50:14	01:26:55:04	4:20		こちらは様々な{W1}催{W2}もよお{W0}し物会場としてYN使われることがあるVD
479	01:26:55:11	01:26:57:28	2:17		約40万の御影石が敷き詰められたVNかなり広いスペース
480	01:27:04:00	01:27:05:03	1:03		人だらけ!
481	01:27:05:13	01:27:09:02	3:19		中央にあるのはVNロシア皇帝アレクサンダー2世像

エディタの字幕表示

745 01:39:06:20 01:39:09:13 2:23 ● その名残のよう

746 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

747 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

748 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

749 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

750 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

751 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

752 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

753 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

754 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

755 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

756 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

757 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

758 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

759 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

760 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

761 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

762 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

763 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

764 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

765 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

766 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

767 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

768 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

769 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

770 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

771 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

772 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

773 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

774 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

775 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

776 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

777 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

778 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

779 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

780 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

781 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

782 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

783 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

784 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

785 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

786 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

787 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

788 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

789 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

790 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

791 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

792 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

793 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

794 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

795 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

796 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

797 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

798 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

799 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

800 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

801 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

802 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

803 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

804 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

805 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

806 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

807 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

808 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

809 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

810 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

811 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

812 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

813 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

814 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

815 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

816 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

817 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

818 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

819 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

820 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

821 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

822 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

823 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

824 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

825 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

826 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

827 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

828 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

829 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

830 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

831 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

832 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

833 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

834 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

835 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

836 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

837 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

838 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

839 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

840 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

841 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

842 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

843 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

844 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

845 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

846 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

847 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

848 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

849 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

850 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

851 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

852 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

853 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

854 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

855 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

856 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

857 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

858 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

859 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

860 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

861 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

862 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

863 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

864 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

865 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

866 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

867 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

868 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

869 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

870 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

871 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

872 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

873 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

874 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

875 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

876 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

877 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

878 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

879 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

880 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

881 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

882 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

883 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

884 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

885 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

886 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

887 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

888 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

889 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

890 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

891 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

892 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

893 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

894 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

895 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

896 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

897 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

898 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

899 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

900 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

901 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

902 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

903 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

904 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

905 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

906 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

907 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

908 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

909 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

910 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

911 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

912 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

913 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

914 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

915 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

916 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

917 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

918 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

919 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

920 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

921 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

922 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

923 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

924 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

925 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

926 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

927 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

928 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

929 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

930 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

931 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

932 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

933 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

934 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

935 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

936 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

937 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

938 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

939 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

940 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

941 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

942 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

943 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

944 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

945 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

946 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

947 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

948 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

949 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

950 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

951 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

952 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

953 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

954 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

955 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

956 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

957 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

958 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

959 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

960 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

961 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

962 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

963 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

964 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

965 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

966 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

967 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

968 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

969 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

970 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

971 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

972 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

973 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

974 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

975 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

976 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

977 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

978 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

979 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

980 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

981 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

982 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

983 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

984 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

985 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

986 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

987 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

988 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

989 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

990 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

991 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

992 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

993 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

994 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

995 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

996 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

997 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

998 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

999 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

1000 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

## 編集中の状態をキャンセルするには

- ① 【ESC】 キーを押す。
- ② テキスト編集エリア右上の【キャンセル】ボタンを押す。
- ③ 【Ctrl】 + 【Shift】 + 【Enter】 キーを押す。

いずれかを押す

ESC

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10

746 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ● その名残のよう

747 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

748 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

749 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

750 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

751 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

752 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

753 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

754 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

755 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

756 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

757 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

758 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

759 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

760 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

761 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

762 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

763 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

764 01:39:09:23 01:39:11:24 2:01 ●

765 01:39:09:23 01:39:11:2

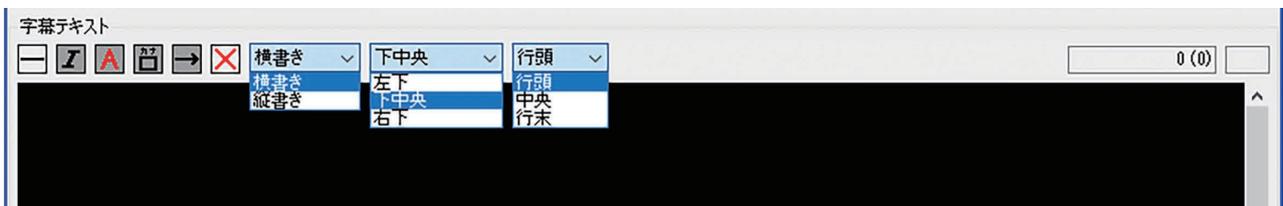
## 6-2 字幕表示位置の指定

字幕ごとに、表示位置や2行以上の場合の行揃えを指定することができます。

何も設定しない場合の字幕はすべて、「横書き」「下中央位置」「行頭合わせ」での表示となります。

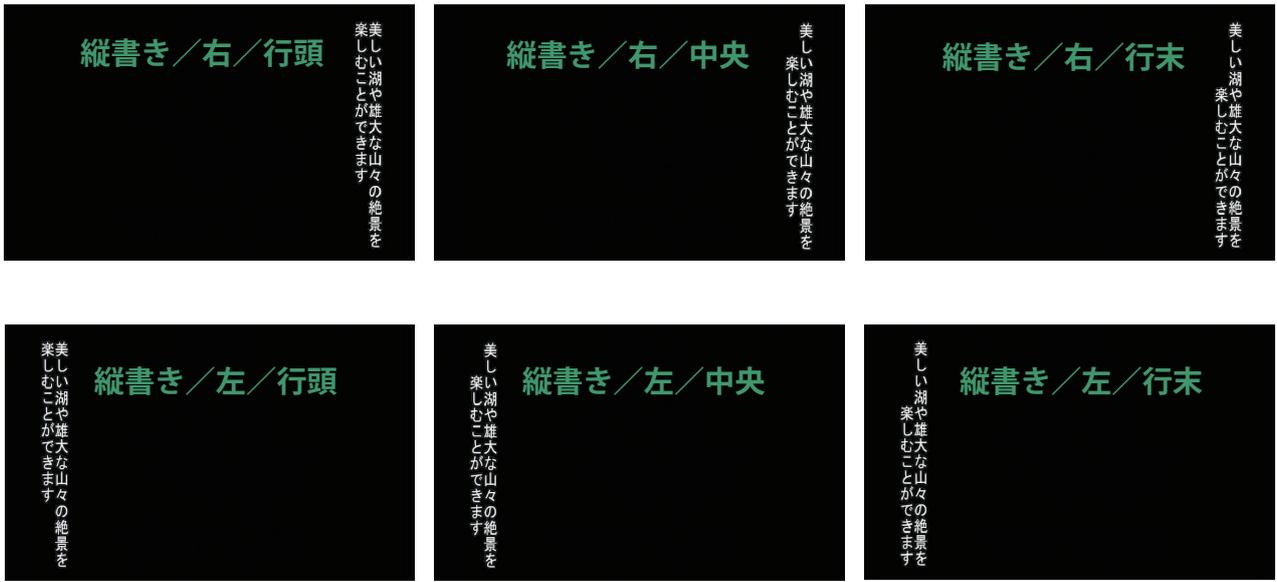
位置を変更したい場合、編集したい字幕のセルを選択し、字幕テキスト編集エリア上部のメニューから、「方向」「位置」「揃え」を、それぞれ表示したいものに変更して編集確定させます。

- ➡ 各指定での表示状態は次ページでご確認ください。
- ➡ 複数の字幕 に対して一括指定できます。「6-4 複数字幕の一括編集 52 ページ」をご覧ください。



方向／位置／揃えの指定内容による、実際の表示状態





### 6-3 字幕内容（テキスト）の文字装飾

アクティブにしたテキスト編集エリア内では、文字内容の入力・修正だけでなく、字幕表現として一般的な文字装飾を、必要な部分に加えることができます。

#### ■ 継続記号の設定と削除 ■ ボタン または Ctrl + R キー

継続記号を挿入したい場所にカーソルを移動し、 ボタンかショートカットキーを押します。1.5倍角傍線、あるいは矢印記号が挿入されます。（⇒ 記号種の選択は環境設定で行えます 69ページ）  
削除は、通常のテキストと同じように行います。



#### 装飾する前の大切なこと

つくった字幕をエクスポートして  
使用したい方へ



字幕の表示で、位置変更や色・ルビなどの装飾が使えるかどうかは、字幕の規格や種類、ファイルフォーマットに依存します。

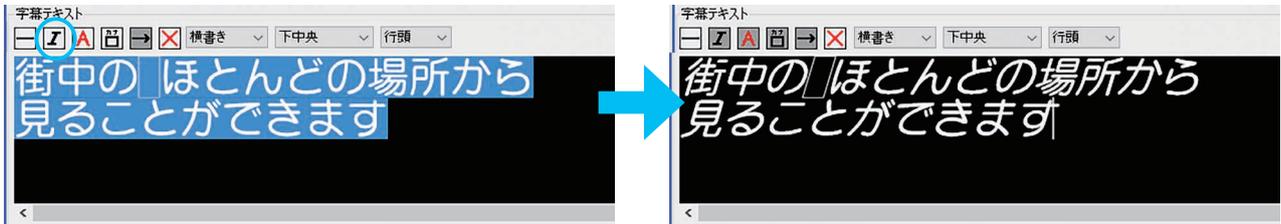
せっかくおこ助での作成時に位置情報や各装飾を設定していても、エクスポートした先の規格が対応していない場合、それらは反映されません。

最終的な字幕規格やファイルフォーマットの特性をよく確認してから、作成を始めることをお勧めします。

## ■斜体の設定と解除■ **I** ボタン または **Ctrl+I** キー

斜体にしたい部分を、マウスドラッグや【Shift】+方向キーで選択したあと、**I** ボタンかショートカットキーを押します。

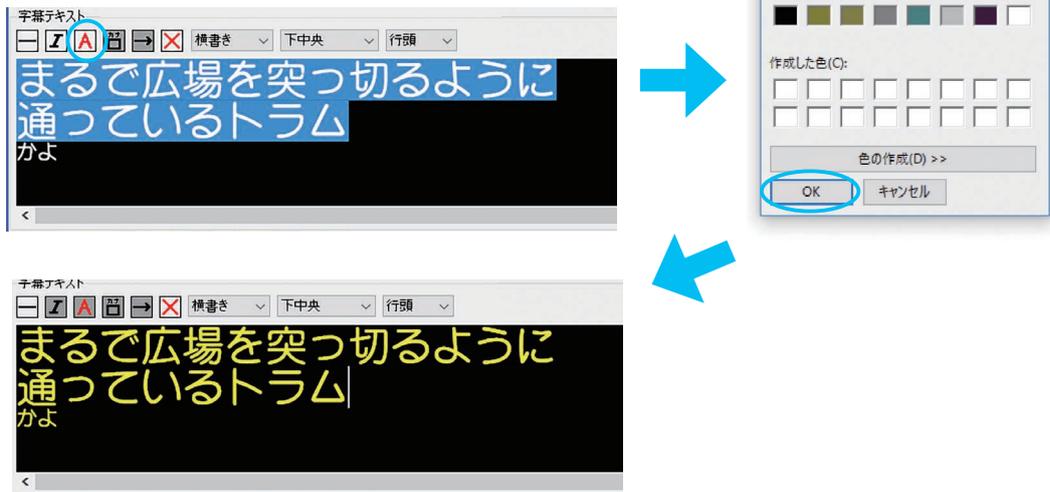
斜体を解除する場合は、斜体になっている文字部分を選択し、**I** ボタンかショートカットキーを押します。



## ■文字色の設定と解除■ **A** ボタン または **Ctrl+P** キー

色をつけたい文字部分を、マウスドラッグや【Shift】+方向キーで選択したあと、**A** ボタンかショートカットキーを押します。

「色の設定」が開きますので、好きな色を選んでから【OK】ボタンを押します。



基本色のカラーパレットにない色の場合は、【色の作成】ボタンを押して開いたカラーチャートを使い、下の「色 | 純色」の窓を見ながら色決めします。

R・G・Bの数値を入力して、直接指定することもできます。色が決まったら、右下の「色の追加」ボタンを押すと、左側下の「作成された色」欄に追加されますので、それを選択して【OK】ボタンを押します。

(「作成した色」は、おこ助を終了するまで記憶されます。)



再度、色を変更する場合は、変更したい部分を選択し、**A** ボタンかショートカットキーを押します。

## ◎ 汎用色の切り替え

パレットから色を選ぶ方法のほかに、クローズドキャプションなどでよく使われる4つの色は、ショートカットを使つてのローテーション切り替えができるようになっています。

色をつけたい部分を選択したあと、以下のショートカットを押すたびに順番で文字色が変化しますので、使用したい色になったところで確定してください。

【Alt】 + 【P】 白→黄→緑→シアン

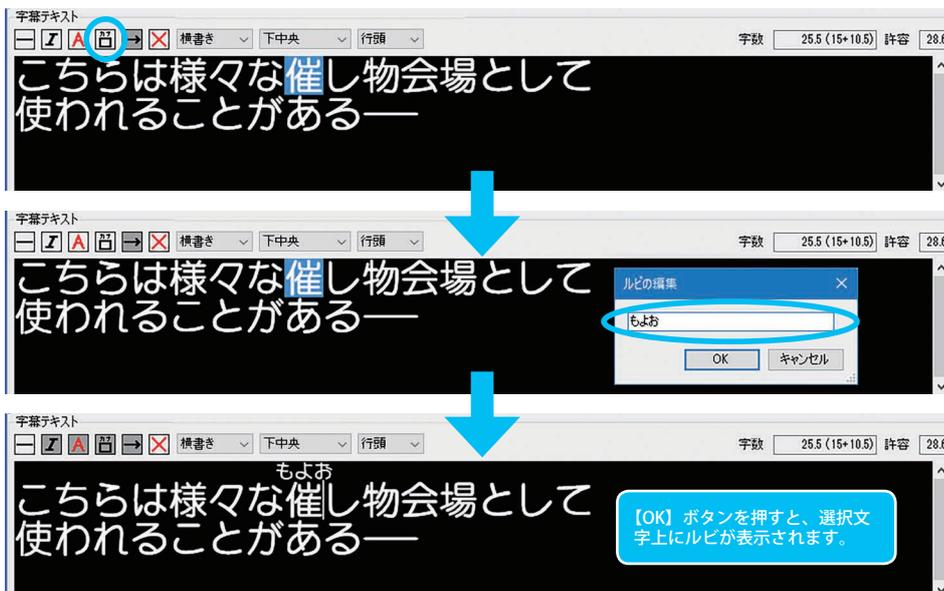
【Alt】 + 【shift】 + 【P】 白→シアン→緑→黄



## ■ ルビ（ふりがな）の設定と解除 ■ ボタン または **Ctrl + R** キー

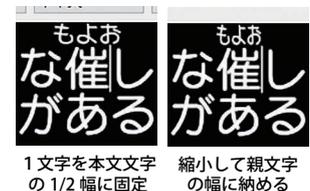
ルビをつけたい文字を、マウスドラッグや【Shift】 + 方向キーで選択したあと、 ボタンかショートカットキーを押します。

「ルビの編集」ダイアログが開きまので、入力欄に表示させたい文字入れて【OK】 ボタンを押します。



付加したルビは、通常上側に表示されますが、字幕本文が2行以上のときは最下行のみ下側に表示されます。

また下のように、親文字に対しての表示幅を環境設定によって変更できます。(⇒ 70 ページ)



ルビを削除したいときは、ルビを付加している文字列を選択して、 ボタンかショートカットキーを押します。

「ルビを編集」ダイアログ内の入力欄を空にして、【OK】 ボタンを押します。

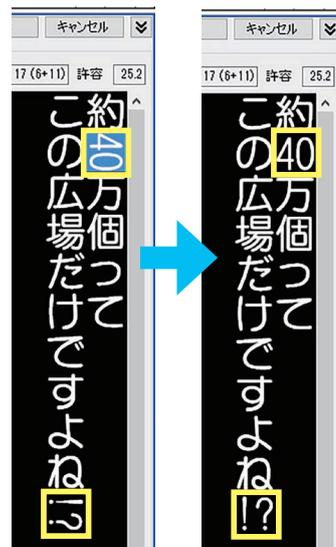
※注意 ルビが付加されている文字列を正確に選択していないと、修正・削除のためのダイアログは開きません。付加したときと同じ選択を行うと、 ボタンが有効表示になります。

## ■組文字（縦中横）の設定と解除 ■ ボタン または **Ctrl+H** キー

縦表示にした字幕内で横向きのままになってしまう半角数字・記号類を、ブロック単位で回転させて見やすい状態にするための設定です。

回転させたい半角文字列を、マウスドラッグや【Shift】+方向キーで選択したあと、 ボタンかショートカットキーを押します。

選択部分が右図のように、回転して表示されるようになります。



解除する場合は、回転表示している文字ブロックを選択し、 ボタンかショートカットキーを押します。

※組文字を設定する  ボタンとショートカットは、縦書きに設定されている字幕内の半角文字を選んだ場合のみ使用できます。

※解除する場合は、組文字指定された文字を正確に選ぶ必要があります。

## ■字幕内装飾設定の一括削除 ■ ボタン または **Ctrl+E** キー

その字幕内で設定している文字装飾（斜体・色・ルビ・組文字）をまとめて解除できます。ただし位置設定には影響を与えません。

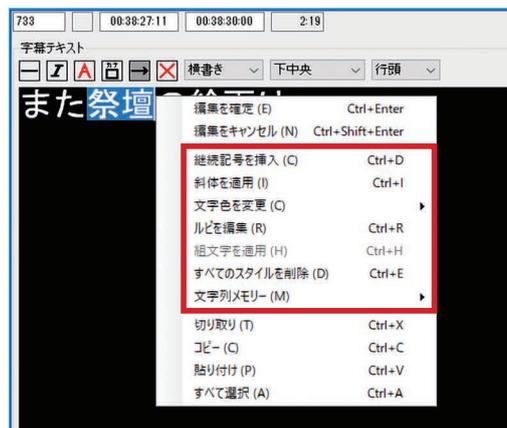
この機能を使用すると元に戻せません。やり直す必要が発生した場合は、テキスト編集をいったんキャンセルしてください。

## ■マウスの右クリックを使用した調整 ■

テキスト編集エリアがアクティブ状態のときにエリア内を右クリックするとメニューが開きます。ここからも、文字内容のコピー・ペーストや削除のほか、文字装飾に関して同じように編集・適用できます。

また、よく出てくる単語やフレーズ、話者名などを登録、挿入できる「文字列メモリー」機能も使用できます。

(⇒文字列メモリーの使い方 61 ページ)

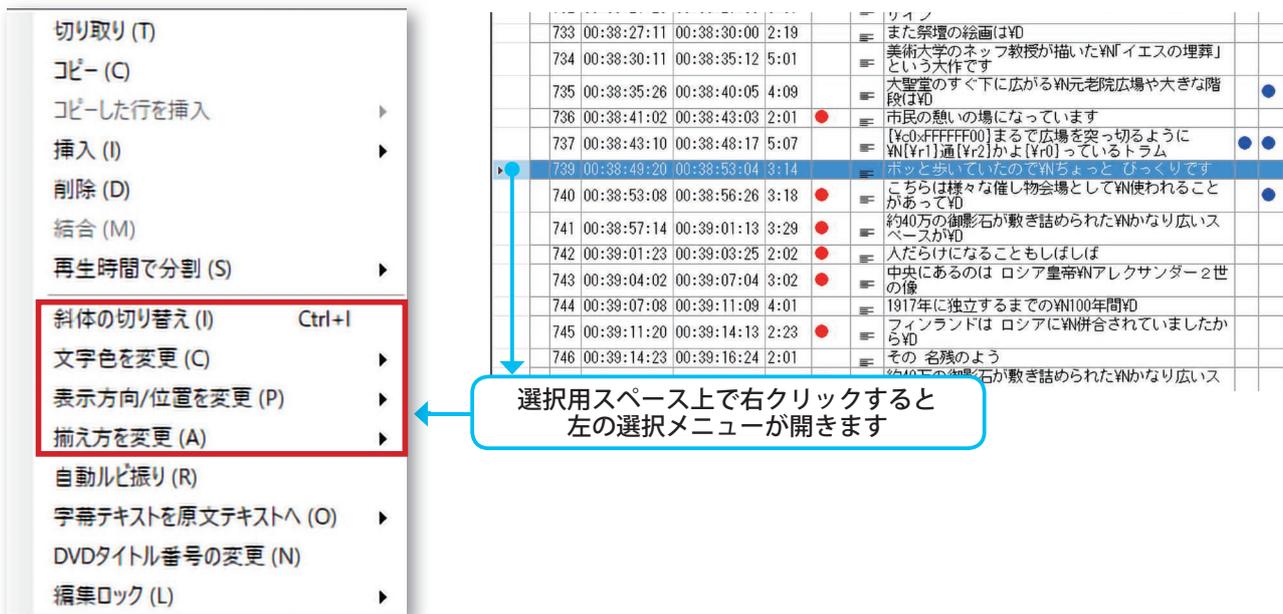


## 6-4 複数字幕の一括編集

斜体・色・位置の設定は、字幕個別だけでなく、複数字幕に対してまとめて行うこともできます。

編集・調整エリアの一番左側にある選択用スペースをマウスでクリックすると行選択になります。これを利用して、設定したい範囲の字幕をまとめて行選択します（⇒複数選択の方法は29ページ）。

行選択した状態でマウスの右ボタンをクリックして下図のメニューを表示させ、項目の中から必要な設定を選択してください。選択していた字幕すべてに設定が反映されます。



◎斜体の切り替え …… 選択した字幕の内容すべてを斜体表示にします。

斜体を解除するときも、同じ手順で行います。

◎文字色を変更 …… 選択したすべての字幕の文字色を同様に設定・変更します。

クリックすると「色の設定」ダイアログが開きます。色を決めて【OK】ボタンを押すと設定完了です。

◎表示方向 / 位置を変更 …… 選択したすべての字幕の表示方向と位置を同様に変更します。

目的の表示方向と位置は、開いたサブメニューから指定してください。

◎揃え方を変更 …… 内容が2行以上の字幕において、行の揃え方を変更します。

目的の揃え方は、開いたサブメニューから指定してください。選択したすべての字幕の揃え位置が同様に変更されます。

## 6-5 原文テキスト欄とメモ欄

字幕を作成を続けていると、字幕本文とは別に、さまざまな用途でテキスト内容を記録しておきたいくなるものです。おこ助は1字幕ごとに、翻訳字幕などの制作に便利な「原文テキスト」欄と、作成の際の備忘録などを記録しておく「メモ」欄を持っています。

### ◎原文テキスト欄

テキスト編集エリアがアクティブ状態のときに任意のテキストを入力することができます。

音声に合わせてハコ切りをしながら、この欄に1つずつ原文を入れて翻訳字幕作成の準備を進めるのが基本的な使い方ですが、原文を使って作成された字幕データがあれば、次のように字幕本文の内容を一括で原文テキスト欄に移動させたあと、ハコをそのまま生かして翻訳作業を進めるといったことが可能です。

編集・調整エリアの一番左側にある選択用スペースをマウスでクリックすると行選択になりますので、比較原文欄に移動したい範囲の字幕を選択します。(⇒複数選択の方法は29ページ)。



選択用スペース上で右クリックすると上の選択メニューが開きます

マウスの右ボタンをクリックすると現れるメニュー内の、「選択行の字幕テキストを原文テキストへ」から、「コピー」か「移動」を選択してください。移動の場合は字幕テキスト欄は空になりますが、コピーの場合には元の内容が残ります。

さらに、原文テキスト欄に記録されている内容は、比較原文表示エリアに字幕本文と共にプレビュー出力させることが可能ですので、翻訳時の突き合わせ確認等を効率的に進められます。比較原文表示エリアの設定は「環境設定」>「表示」内で行います (⇒70ページ)。

### ◎メモ欄

個々の字幕に、作成に関するコメントや備忘録を残しておくためのスペースです。テキスト編集エリアがアクティブな状態で、テキストを入力することができます。

※原文テキスト欄、およびメモ欄に何らかのテキストがある場合は、編集・調整エリアの「原」「メモ」列に青いマーク●が表示されます。

## 7. 全体調整と整理

### 7-1 字幕を追加・削除・移動・コピーするには

新しい字幕を増やす、削除する、あるいは移動やコピーする操作は、主に編集・調整エリアで行います。

編集・調整エリアの一番左側にある選択用スペースをマウスでクリックすると行選択になります。

これを利用して、処理したい範囲の字幕をまとめて行選択します（⇒複数選択の方法は29ページ）。

行選択した状態でマウスの右ボタンをクリックして下図のメニューを表示させ、項目の中から必要な操作を選択します。

The image shows a context menu on the left and a subtitle table on the right. The context menu is open, showing options like 'Cut (T)', 'Copy (C)', 'Paste (I)', 'Delete (D)', etc. A blue box highlights the top four options. A blue arrow points from a text box '右クリックするとメニューが開きます' to the right-click action on the table. The table has columns for ID, start time, end time, and duration. Row 739 is selected.

734	00:38:30:11	00:38:35:12	5:01		≡	美術八子のネッ ノ教授リリ田いり新 という大作です
735	00:38:35:26	00:38:40:05	4:09		≡	大聖堂のすぐ下に広がるYN元老院はYD
736	00:38:41:02	00:38:43:03	2:01	●	≡	市民の憩いの場になっています
737	00:38:43:10	00:38:48:17	5:07		≡	{Yc0xFFFFF00}まるで広場を突っ YN{Yr1}通{Yr2}かよ{Yr0}っていい
739	00:38:49:20	00:38:53:04	3:14		≡	ホッと歩いていたのでYDちょっと
740	00:38:53:08	00:38:56:26	3:18	●	≡	こちらは様々な催し物会場として があってYD
741	00:38:57:14	00:39:01:13	3:29	●	≡	約40万の御影石が敷き詰められた ベースがYD
742	00:39:01:23	00:39:03:25	2:02	●	≡	人だらけになることもしばしば
743	00:39:04:02	00:39:07:04	3:02	●	≡	中央にあるのは ロシア皇帝YNア の像

◎ **行を切り取り** …………… 選択した字幕の行を切り取ることができます。

◎ **行をコピー** …………… 選択した字幕の行をコピーできます。

◎ **コピーした行を挿入** …… 切り取り、あるいはコピーした字幕の行を任意の場所に挿入します。

**切り取った行を挿入** （事前に行った操作によってメニュー表記が変わります。）

選択した際に「上に挿入」もしくは「下に挿入」がサブメニュー表示されますので、指定すると、そこに挿入されます。

挿入した字幕には、元字幕の時間情報や位置・装飾情報などが温存されています。

◎ **行の挿入** …………… 新規の字幕を追加する際に使用します。

挿入したい場所の字幕行を選択し、サブメニューで「上に挿入」か「下に挿入」かを選びます。そこに新規に字幕行が挿入されます。このとき、イン点・アウト点セルには前後字幕のタイムを使った自動計算での時間情報が入力されます。

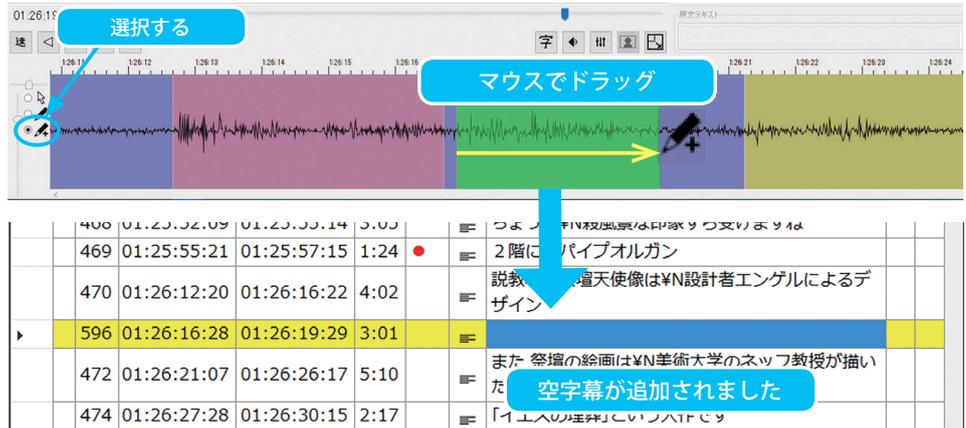
（⇒ 自動計算は環境設定での設定値に基づきます 69 ページ）

音声波形エリア上からは、字幕の行選択に関係なく新規字幕を挿入できます。

まず、音声波形エリア左端で字幕追加ツール（アイコンの ）を選択します。

メディアを再生しながら、字幕を追加したい場所の音の内容と、それに対する音声波形の状態を確認します。

範囲がつかめたら、字幕を開始したい場所から終了したい場所までの音声波形エリア上を、マウスでドラッグしてください。イン点とアウト点の両方が入力された空字幕が、その時間位置に追加されます。



字幕が追加されたら、タイミングの微調整を行い、字幕の内容を入力します。

(⇒[タイミングの微調整](#) 41 ページ)

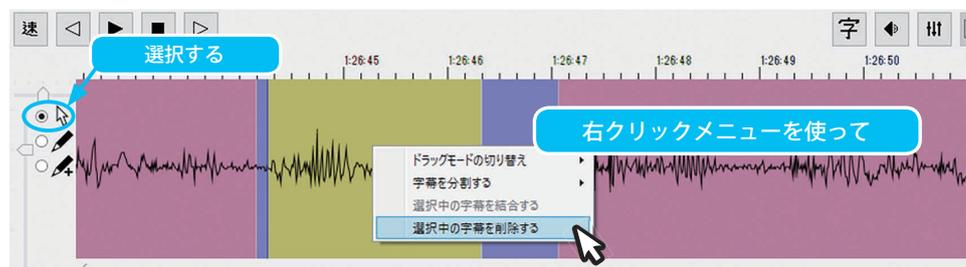
(⇒[字幕テキストの編集方法詳細](#) 45 ページ)

◎ **行の削除** …………… 選択した字幕行を削除します。行を選択後に【Delete】キーを押しても同じ動作になります。

音声波形エリア上でも削除を行えます。

まず、音声波形エリア左端で字幕選択ツール(アイコンの ) を選択します。波形上で削除したい字幕領域をマウスクリックして選択します。【Shift】キーを押しながらの複数選択も可能です。

選択された状態で右クリックし、表示されたメニューから「選択中の字幕を削除」を選びます。



★行単位で字幕の削除・挿入・追加などを繰り返すことで、編集・調整エリア内の時系列や字幕番号がバラバラになってしまったら、時間順でのソートや字幕番号の振り直しを行って整理することができます。(⇒[詳細](#)は 59 ページ)

## 7-2 字幕の結合と分割

複数の字幕を1つにまとめる、あるいは1つの字幕を2つに分割することができます。

### 複数字幕をまとめる① 編集・調整エリアを使う場合

1つにまとめたい字幕の行を複数選択したあと、右クリックで「選択行を結合」を選択します。

になった字幕は次のようになっています。

イン点……複数選択した最初の字幕のイン点タイム。

アウト点……複数選択した最後の字幕のアウト点タイム。

字幕内容……各字幕の内容を改行による複数行にして結合。

The screenshot shows a subtitle editor interface. A table of subtitle rows is visible, with rows 753, 754, and 755 selected. A context menu is open over these rows, with the '結合 (M)' (Merge) option highlighted. A blue arrow points from the merged subtitle in the preview area below. The preview area shows the merged subtitle: 'たいへんシンプルで飾り付けも最小限'.

番号	イン点	アウト点	タイム	内容
753	00:42:44:23	00:42:46:01	1:08	ねえ…
754	00:42:46:12	00:42:48:18	2:06	たいへんシンプルで
755	00:42:48:22	00:42:51:05	2:13	飾り付けも最小限
756	00:45:02:19	00:45:05:13	2:24	ヘルシンキのシンボル“大聖堂”は
757	00:45:05:16	00:45:07:11	1:25	小高い丘の上に建っていて
758	00:45:07:26	00:45:11:26	4:00	街中のほとんどの場所から見ることができます
759	00:45:12:12	00:45:15:24	3:12	上から見るとほぼ聖十字の形で
760	00:45:16:13	00:45:20:02	3:19	主な出入り口は西と南側にあります
761	00:45:22:19	00:45:28:00	5:11	さて 近くの停留所でトラムに乗ってみましょう
762	00:45:28:02	00:45:29:27	2:24	到着しましたオールタイプの車両です

字幕編集エリアのプレビュー:

たいへんシンプルで  
飾り付けも最小限

## 複数字幕をまとめる② 音声波形エリアを使う場合

選択ツールを選び、1つにまとめたい字幕がある領域上をドラッグするか、【Shift】キーか【Ctrl】キーを押しながらマウスクリックでまとめたい字幕をすべて選択します。

選択された状態で、マウスを右クリックすると表示されるメニューから「字幕を結合する」を選択します。編集・調整エリアで操作した場合と同じように1つにまとまります。

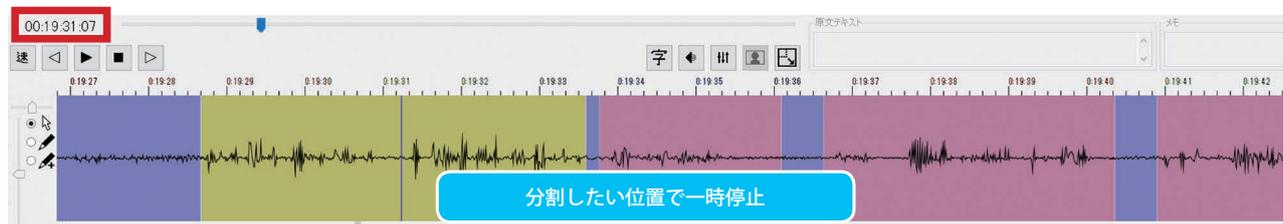


## 字幕を分割する① 編集・調整エリアを使う場合

分割したい字幕の行を左の選択用スペースをクリックして選択します。

	イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト	原
1	00:19:28:20	00:19:33:18	4:28	0:03	2:10	大聖堂のすぐ下に広がるN元老院広場や大きな階段は市民の憩いの場になっています	
2	00:19:35:19	00:19:40:11	3:22			まるで広場を突っ切るようにN通っているトラム	
4	00:19:40:27	00:19:45:15	4:18			ポッと歩いていたのでNちょっとびっくりです	
5	00:19:47:09	00:19:51:06	3:27			こちらは様々な催し物会場としてN使われることがあ	

そのままの状態メディアを操作し、後ろ側の字幕のIN点にしたい位置で一時停止させます。





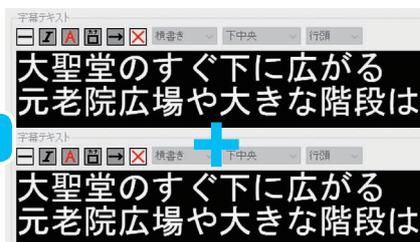
選択用スペース上でマウスを右クリックして表示されるメニューの中から、「再生時間で分割」を選択します。

◆元の字幕内容を分割した両方の字幕に残す場合は「テキストを複製する」を選択します。

◆元の字幕内容を分割後の各字幕に振り分けたい場合は「最初の行末で分割する」を選択すると、1行目とそれ以降に分かれた状態になります。

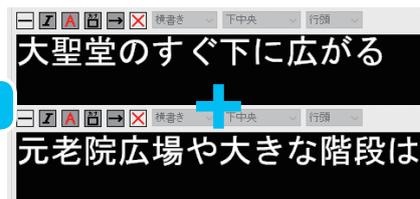
イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト
00:19:28:20	00:19:31:04	2:14			大聖堂のすぐ下に広がる元
00:19:31:07	00:19:33:18	2:11			大聖堂のすぐ下に広がる元
00:19:33:23	00:19:36:03	2:10			市民の憩いの場になっています
00:19:36:19	00:19:40:11	3:22			
00:19:40:27	00:19:45:15	4:18			
00:19:47:09	00:19:51:06	3:27			こちらは様々な催し物会場として
00:19:51:09	00:19:54:21	3:12			約40万の御影石が敷き詰められた

「テキストを複製する」を選択した場合



イン点	アウト点	Dur	Len/s	配置	字幕テキスト
00:19:28:20	00:19:31:04	2:14			大聖堂のすぐ下に広がる
00:19:31:07	00:19:33:18	2:11			元 大聖堂のすぐ下に広がる
00:19:33:23	00:19:36:03	2:10			市民の憩いの場になっています
00:19:36:19	00:19:40:11	3:22			
00:19:40:27	00:19:45:15	4:18			
00:19:47:09	00:19:51:06	3:27			こちらは様々な催し物会場として
00:19:51:09	00:19:54:21	3:12			約40万の御影石が敷き詰められた

「最初の行末で分割する」を選択した場合



分割された後ろ側字幕のイン点には、メディアを一時停止させていた場所のタイムが入ります。

また、前側字幕のアウト点には、後ろ側字幕のイン点から字幕間を自動計算したタイムが入ります。

分割された字幕の字幕番号は、元の番号と最後に作成された字幕の次の番号の2つになります。

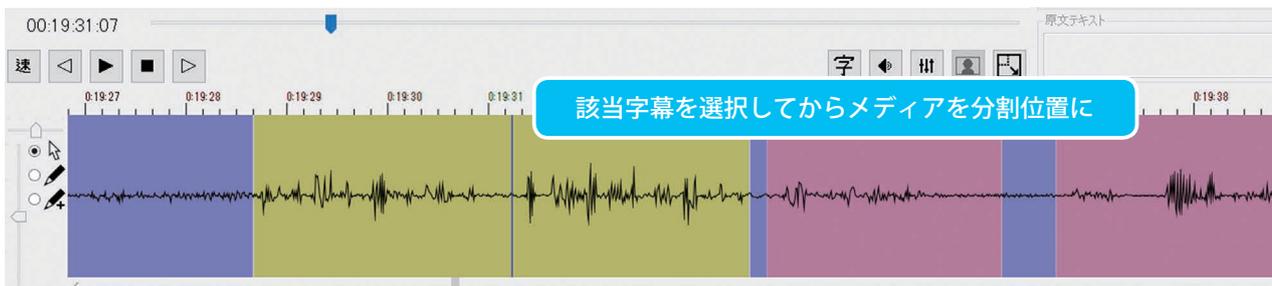
(→ 自動計算は環境設定での設定値に基づきます 69 ページ)

※分割後のどちらかの字幕のデュレーションが短くなりすぎる場合は、分割処理は実行されません。

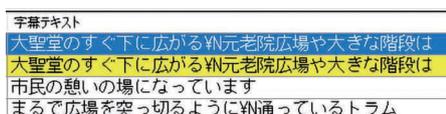
## 字幕を分割する② 音声波形エリアを使う場合

まず、音声波形エリアで、分割したい字幕をクリックして選択状態にします。

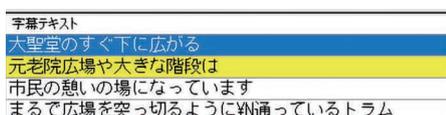
そのまま、メディアの再生やコマ送り・戻しを行いながら分割したい位置を探り、一時停止させます。



位置が決まったらマウスの右クリックでメニューを開き、「字幕を分割する」から「テキストを複製する」もしくは「最初の行末で分割する」を選択します。



◆「テキストを複製する」を選択すると、分割された両方の内容が元の字幕と同じものになります。



◆「最初の行末で分割する」を選択すると、分割された前側には1行目、後ろ側はそれ以降の内容が入った状態となります。



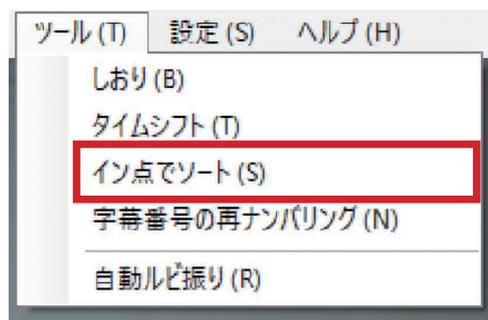
### 7-3 字幕順序と番号の調整

編集・調整エリア内の最下欄に字幕を追加作成したとき、別の字幕ファイルから一部をコピーして付け足したときなど、実際の表示順とエリア内の並び順が異なってしまいます。「ツール」メニュー内の「イン点でソート」を選ぶと、手動で行の移動を行わずにエリア内のすべての字幕行を表示時間順に並べ直すことができます。

また、字幕の入れ替えや挿入・削除・分割を繰り返すことで、もともと順番どおりだった字幕番号の振りつけがバラバラの状態になっていきます。

必要な場合には、テキスト編集エリアの右上で、個々に字幕番号を付け直すことができます。

また、メニューバーの「ツール」>「字幕番号の再ナンバリング(→詳細は66ページ)」で、まとめて番号を順番に振り直すことができます。



# 第4章 便利機能を使いこなす

## 1. 編集ロック

選択した字幕にカギをかけることで、編集や一部の操作対象から外す機能です。

削除や変更してはいけない字幕を保護したいときに便利です。また、複数の字幕に重なった状態でまたがる字幕に適用すると、そのほかの字幕の選択、編集や調整を容易に行うことができます。



編集・調整エリアでロックしたい字幕の行を選択し、右クリックしてメニューを開きます。

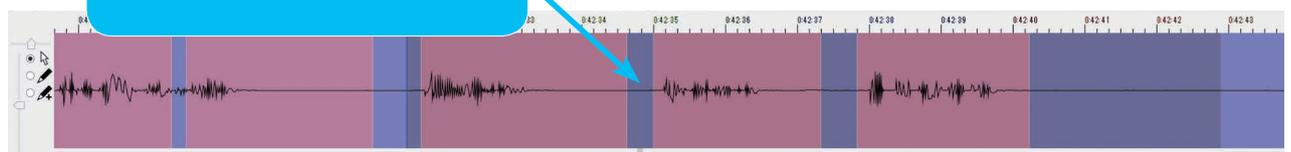
「編集ロック」の「ロックする」を選択すると、ロックが有効になります。

ロックされた字幕は、内容の編集が行えなくなると同時に、編集・調整エリアではメディアの再生に合わせた自動スクロールの対象から外れます。また、音声波形エリア上での選択が行えなくなります。

行の先頭に錠型アイコンが表示され、セルや音声波形上の領域が暗い表示になります。

ロックを有効にした字幕は、行の先頭に錠型アイコンが表示され、セルや音声波形上での表示色が暗くなります。

740	00:42:14:23	00:42:10:24	2:01		ての 石が影のよ
747	00:42:24:18	00:42:28:09	3:21	●	約40万の御影石が敷き詰め
748	00:42:28:15	00:42:31:03	2:18		スガヤ
749	00:42:31:17	00:42:42:27	11:10	●	人だらけになることもしば
750	00:42:31:23	00:42:34:19	2:26	●	(街中に響く鐘の音)
751	00:42:35:00	00:42:37:10	2:10		巡り合わせによってはVNお
752	00:42:37:25	00:42:40:07	2:12		す
					中に入ってみました
					内部は1300人を収容できる



ロックを解除する場合は、解除したい字幕の行を選択し、右クリックメニューから「編集ロック」の「アンロックする」を選びます。

すべてをまとめて解除したい場合は、適当な字幕の行を選択してから、右クリックメニュー「編集ロック」で「すべてアンロックする」を選びます。



### ▼ロックされた字幕の扱いについて▼

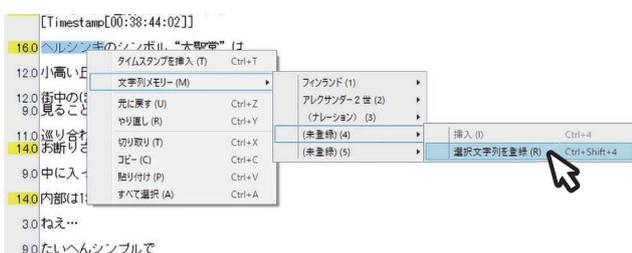
- ・ビューエリア内の字幕プレビューには表示されます。
- ・検索の対象からは外れません。
- ・置換処理の対象になった場合でも反映されません。
- ・コピー元となる場合や並び替えでは処理の対象になります。
- ・通常どおりエクスポートされます。

## 2. 文字列メモリ

よく出てくる単語やフレーズなどを登録し、必要となったときにすばやく挿入するための機能です。  
5つまで登録して使用することができます。

### ■ 文字列の登録 Ctrl+Shift+1~5 キー

登録したい文字列を選択した状態で、右クリックで開くメニューの登録したい番号から「選択文字列を登録」を選ぶか、登録したい番号（1~5）を使ったショートカットキーを押します。



### ■ 文字列の挿入 Ctrl+1~5 キー

文字列を挿入したい場所にカーソルを置き、右クリックで開くメニュー内の登録したい文字列メニューから「挿入」を選ぶか、挿入したい登録の番号（1~5）を使ったショートカットキーを押します。



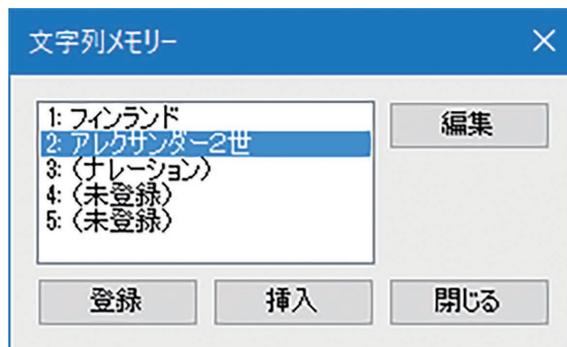
### ■ 登録内容の削除

文字列を選択しない状態で、右クリックで開くメニュー内の登録を削除したい文字列メニューから「選択文字列を登録」を選ぶか、登録を削除したい番号（1~5）を使ったショートカットキーを押します。  
また、文字列メモリウィンドウ（次ページ）を使用する方法もあります。

## ■文字列メモリーウインドウ

メニューバーの「編集」から「文字列メモリー」を選ぶことで、登録と挿入、さらに登録文字列の内容を編集できるウインドウが開きます。

PCの表示サイズに余裕がある場合は、ウインドウを別途開いたままで作業を行えます。



### ■登録

字幕テキスト編集エリアや書き起こしウインドウ内で登録したい文字列を選択すると、【登録】ボタンがアクティブになります。リストから登録したい番号を選んで【登録】ボタンを押します。

すでに文字列が登録されている番号を選択して【登録】ボタンを押すと、内容が上書き登録されます。

### ■挿入

各エリアのテキスト内に登録文字列を挿入できます。

挿入したい場所にカーソルを置いたら、リスト内の使いたい登録文字列を選択します。

アクティブになった【挿入】ボタンを押してください。

### ■文字列の編集

リスト内の編集したい登録文字列を選びます。アクティブになった右の【編集】ボタンを押すと編集用ダイアログが開きます。内容を修正したら【OK】ボタンか【Enter】キーを押して確定します。

編集用ダイアログの内容を空にすると、その番号は未登録の状態になります。



★文字列メモリーの内容は作成中のおこ助ファイル内に記録されますので、作成字幕ごとに異なる文字列を登録できます。  
その反面、ソフトウェア側では記録していないことから、作品をまたいでの登録文字列の共有はできません。

### 3. 検索と置換

さまざまな内容に対して、検索や置換を行うことができます。

メニューバーの「編集」から「検索・置換」を選択するか、ショートカットキー【Ctrl】+【F】を押してウインドウを開きます。

「検索する種類」のラジオボタンで選択した種類に合わせて、ウインドウ内の表示内容が切り替わります。

検索・置換ウインドウを閉じる場合は【閉じる】ボタンを押します。

#### テキストの検索と置換

「検索する種類」の「テキスト」を選択すると、テキスト本文やルビ、原文テキスト、メモの内容に対して、指定した文字列での検索と置換処理を行えます。

下部の「検索するフィールド」で検索や置換の対象を指定します（複数選択可）。

#### ●検索●

「検索する文字列」に検索したい文字列を入力します。

現在の選択字幕、あるいは書き起こし編集ウインドウ内でのカーソルの位置を基準に「検索する方向」を選択し、アクティブになった【次を検索】ボタンをクリックします。

検索文字列と同じ文字列を含む字幕、あるいは文字内容が選択・表示されます。

複数存在する場合は、【次を検索】を押すごとに次の該当場所に移動していきます。

#### ●置換●

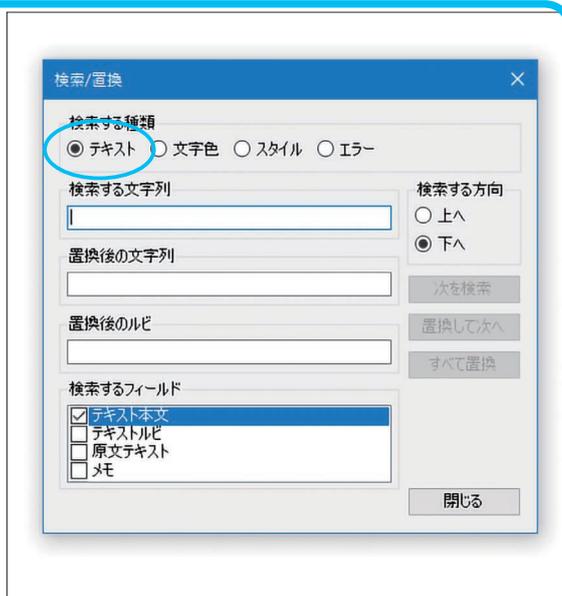
「検索する文字列」と「置換後の文字列」をおのおのに入力します。

現在の選択字幕、あるいは書き起こし編集ウインドウ内でのカーソルの位置を基準に「検索する方向」を選択し、【次を検索】をクリックすると、最初の置換対象が選ばれます。

・検索された文字列の内容を一つ一つ確認をしながら置き換える場合は【置換して次へ】をクリックします。

・対象内の同じ文字列を一度に置き換える場合は【すべて置換】をクリックしてください。

※置換対象がルビ付きの文字の場合、置換とともにルビは消えてしまいますので、必要に応じて振り直しが必要です。



## 文字色の検索と置換

「検索する種類」で「文字色」を選択することで、字幕テキストに設定された文字色に対して検索と置換が行えます。

### ●検索●

「検索する色」のカラーブロック部分をクリックすると「色の設定」ダイアログが開きますので、そこで検索したい色を指定します。現在選択されている字幕を基準に「検索する方向」を選んで、【次を検索】をクリックします。

指定した文字色を含む字幕へ移動、選択されます。複数存在する場合は、【次を検索】を押すごとに次の該当字幕に移動していきます。

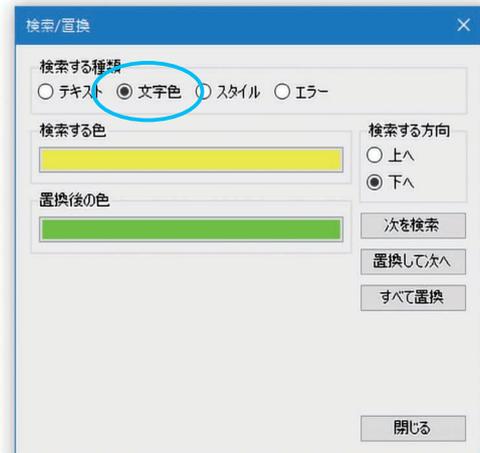
### ●置換●

「検索する色」のカラーブロック部分をクリックして「色の設定」ダイアログで検索色を指定します。

次に、置き換えたい色を「置換後の色」のカラーブロックをクリックして設定します。

現在、選択されている字幕を基準に「検索する方向」を指定し、【次を検索】をクリックすると、最初の置換対象が選ばれます。

- ・ 検索された部分の内容を一つ一つ確認をしながら置き換える場合は【置換して次へ】をクリックします。
- ・ 対象内の同じ文字色を一度に置き換える場合は【すべて置換】をクリックしてください。



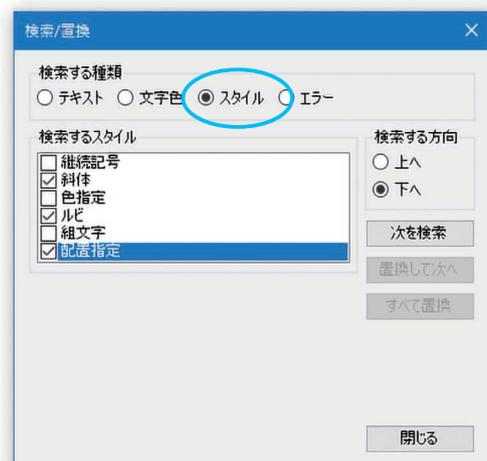
## スタイル検索

「検索する種類」の「スタイル」を選ぶと、文字装飾やルビ、位置の調整を行なった字幕を検索することができます。

「検索するスタイル」の項目の中から探したいものにチェックを入れます(複数選択可)。【次を検索】ボタンがアクティブになります。

現在、選択されている字幕を基準に「検索する方向」を指定し、【次を検索】をクリックします。「検索するスタイル」でチェックしたものが含まれる字幕へ移動、選択されます。

該当する字幕が複数ある場合は、【次を検索】ボタンを押すたびに次の該当字幕へ移動します。



## エラー検索

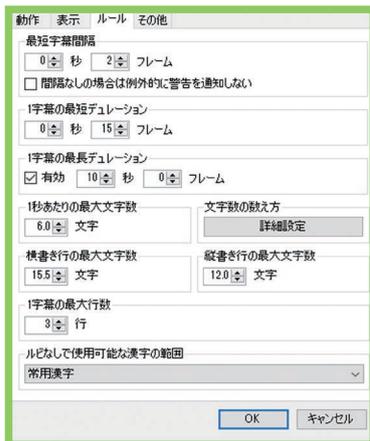
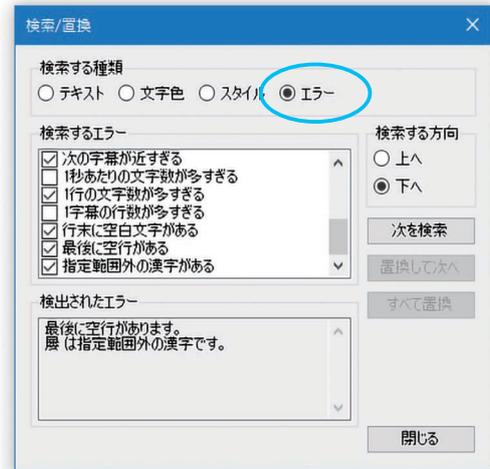
「検索する種類」で「エラー」にチェックを入れると、環境設定のルールで設定している条件から外れている字幕を検索することができます。

「検索するエラー」の項目の中から必要なものにチェックを入れます（複数選択可）。「次を検索」ボタンがアクティブになります。

現在、選択されている字幕を基準に「検索する方向」を指定し、【次を検索】をクリックします。「検索するエラー」でチェックしたものが含まれる字幕へ移動、選択されます。

該当する字幕が複数ある場合は、【次を検索】ボタンを押すたびに次の該当字幕へ移動します。

エラーの内容によっては、「検出されたエラー」欄に詳細情報が表示されます。



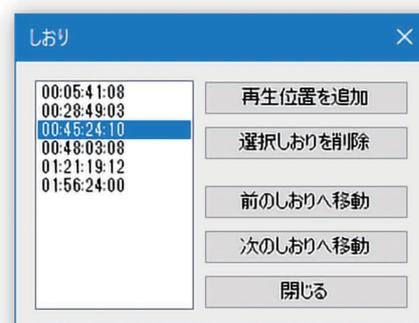
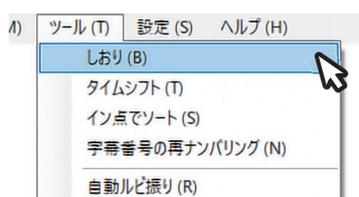
メニューバーの「ツール」→「環境設定」→「ルール」内の各項目で設定された値を元に、逸脱しているものをエラーとして検索します。また、編集・調整エリア上でも該当のセルがエラー色で表示されています。



## 4. しおり機能

次回の作業で再開したいポイントや、あとで再確認したい場所など、メディア上ですぐに呼び出したいポイントを、しおりをはさむように記録しておくことができます。

「ツール」メニューの中から「しおり」を選択すると、右のダイアログが開きます。ダイアログは開いたままでも、ほかの操作に影響はありません。



### ■ しおりの記録

しおりをはさみたい再生位置にメディアを移動して

【再生位置を追加】を押すと、その場所のタイムがリスト上に記録されます。

必要な再生位置で【再生位置を追加】を押すごとに、しおりが記録・リスト化されていきます。

時系列がバラバラの状態に登録していても、リストは時間の順に並べられます。

### ■ しおりの使い方

リスト上のタイムをクリックすると、再生位置がその場所へ瞬時に移動します。

リストの順番に移動したい場合は、【前のしおりへ移動】、あるいは【次のしおりへ移動】ボタンをクリックします。

### ■ しおりの削除

リスト上で削除したいしおりのタイムを選択し、【選択しおりを削除】ボタンをクリックします。

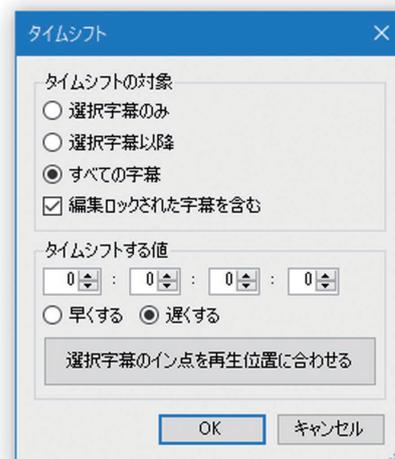
※しおりのリストはおこ助ファイル上に記録されますので、作業ごとに異なるしおりを登録できるようになっています。ソフトウェア側では記録していないため、メディアを再生しながら一時的にしおりを登録していた場合、そのまま終了、あるいは別のおこ助ファイルを開いた場合には消えてしまいます。

## 5. タイムシフト

作成した字幕全体、あるいは指定した範囲のタイミングをまとめて調整することができます。表示タイミングを一括で早く、あるいは遅くしたい場合、たとえば作成後に動画の内容が変わったときなどに役立つ機能です。

### ■値を計算せずに簡単にタイミング調整

- ① タイム調整したいブロックの最初の字幕、あるいは調整したい字幕行をまとめて、編集・調整エリアか、音声波形エリア上で選択します。
- ② 選択を維持したまま、選択した字幕ブロック最初の字幕の新たなイン点を探ります。ジャンプやコマ送りなどを使用して、正確なタイムにメディアの再生位置を移動させてください。
- ③ 「ツール」メニューの中から「タイムシフト」を選択し、開いた右のダイアログ内で「タイムシフトの対象」を指定します。
- ④ 【選択行のイン点を再生位置に合わせる】を押すと、タイムシフトする値が自動入力されます。
- ⑤ 【OK】 ボタンを押すと、対象に指定した字幕のタイミングが変更されます。



### ■タイミング変更したい値を直接入力

- ① タイミング調整したいブロックの最初の字幕、あるいは調整したい字幕行をまとめて、編集・調整エリアか、音声波形エリア上で選択します。全体に対しての場合は選択しなくてもかまいません。
- ② 「ツール」メニューの中から「タイムシフト」を選択し、開いたダイアログ内で「タイムシフトの対象」を指定します。調整したい字幕行が選択されていない場合は自動的にすべての字幕が対象になります。
- ③ タイミングを変更したい値を計算、「タイムシフトする値」に入力し、時間軸方向を「早くする／遅くする」から選択します。
- ④ 【OK】 ボタンを押すと、対象に指定した字幕のタイミングが変更されます。

※対象字幕が1つ以上選択されていないと「タイムシフトの対象」を選択できません。

※編集ロックがかかっている字幕も移動する場合は「編集ロックされた行を含む」にチェック入れます。

## 6. 字幕番号の再ナンバリング

それぞれの字幕には、作成した順に固有の字幕番号が振られます。

振られた番号は、各字幕ごとに任意のものに振り直すことができますが、「字幕番号の再ナンバリング」機能を使用すると、先頭の字幕から番号を昇順につけ直すことができます。

メニューバーの「ツール」から「字幕番号の再ナンバリング」を選択すると設定ウインドウが開きます。

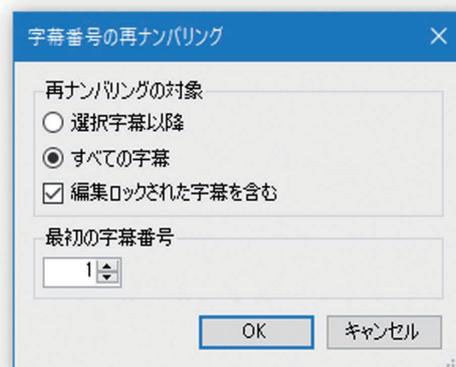
### ■ 再ナンバリングの対象

すべての字幕の番号を振り直すか、指定した字幕以降の番号を振り直すかを選択します。

指定した字幕以降を振り直す場合は、先に指定したい字幕を行選択してから、このウインドウを開いてください。

番号を変更したくない字幕がある場合

編集ロック指定しておき（⇒**編集ロックについては 60 ページ**）、「編集ロックされた字幕を含む」のチェックを外してリナンバーすることで、振り直しの対象から除外されます。



### ■ 最初の字幕番号

振り直される最初の番号を、4桁までの任意の数字で指定できます（半角）。

設定後に【OK】を押すと字幕番号が振り直されます。

## 7. 自動ルビ振り

字幕テキスト内容に使用されている漢字のすべてに自動でルビ（ふりがな）をつける機能です。

漢字ごとに適切と思われる読み仮名を内臓辞書を使用して設定しますので、フリガナづけを多く必要とする字幕の作成に便利です。

メニューバーの「ツール」から「自動ルビ振り」を選択して、ダイアログが出たら【OK】ボタンを押します。作成データ内全体の漢字に対して瞬時に処理が行われます。

特定の字幕のみに機能を使用したい場合は、

まず対象の字幕を行選択したあと、右クリックで開いたメニューから「自動ルビ振り」を選択します。

※漢字1文字ごとにルビが振られます。単語や熟語ごとではありませんので、ルビ修正の際の親文字選択範囲にご注意ください。

※字幕内容によっては正しい読みにならない場合があります。処理後の確認をオススメいたします。

## 1. 環境設定

おこ助 Pro3 全体の動作や表示、作成する字幕の仕様による制限値などを設定する項目です。細かな指定を行うことで、字幕作成作業の見やすさや精度を高めることができます。

### 動作（コントロール関連の設定を行えます。）

#### ビデオの音量

メディアに記録されている音声の再生音量を調整します。調整パネルの音量調整ボタンを押すと表示される音量スライダーの主側と連動しています。

#### 同期音声の音量

同期映像モードや同期音声モードで、メディアに別のメディアファイルを同期させた場合、その再生音量を調整するためのものです。調整パネルの音量調整ボタンを押すと表示される音量スライダーの副側と連動しています。

#### 同期映像の再生

同期映像モードで、メディアに同期させて再生する動画ファイルの内容を、ビューエリアに表示するかしないかを選択します。

#### 早戻し / スキップの単位

ショートカットキー（【Ctrl】 + 【B】 / 【Ctrl】 + 【N】）を使用した際の移動量を設定できます。

#### バックスペース時に戻す時間

【Back Space】キーでタイミングの入力をやり直す際に、自動消去と同時にメディアの再生位置を戻す時間量、どのぐらいにするか設定します。

#### アウト点自動生成時に挿入される字幕間隔

アウト点タイムの自動設定が含まれる操作を行った場合に、次の字幕のイン点タイムからどのぐらいの間隔を開けて設定するかを指定します。【I】キーを連続で押してタイミングを入力したとき、字幕を分割したとき、あるいは編集・調整エリアで字幕と字幕の間に新規字幕を挿入したときの字幕間隔に反映されます。

#### 再生時の自動スクロールが復帰するまでの時間

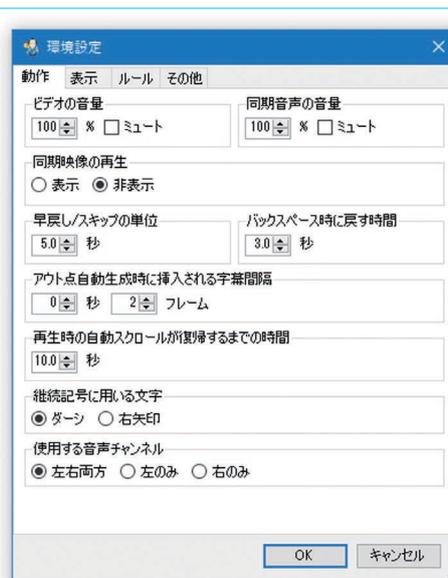
メディアの再生中に編集・調整エリアで字幕セル群を手動でスクロールさせたとき、操作後どのぐらいの時間で再生位置の追従状態に復帰するかを設定します。

#### 継続記号に用いる文字

継続記号の挿入機能で、1.5 倍角傍線と矢印記号のどちらを使用するか選択します。

#### 使用する音声チャンネル

再生音声チャンネルを指定します。「左のみ」「右のみ」では、割り振られず片チャンネルだけの出力となります。



## 表示（おこ助上での各種表示の設定を行えます。）

### 書き起こし

書き起こしウインドウ内での表示に関する設定です。  
フォントの種類およびサイズの設定を行えます。また、入力文字列がウインドウ幅を超えた場合の右端折り返し表示を選択できます。

### グリッドテキスト

編集・調整エリア内のセル群の表示に関する設定です。  
フォントの種類およびサイズの設定を行えます。また字幕テキストセルの内容がセル幅を超えた場合の、右端折り返し表示を選択できます。

### 字幕の表示

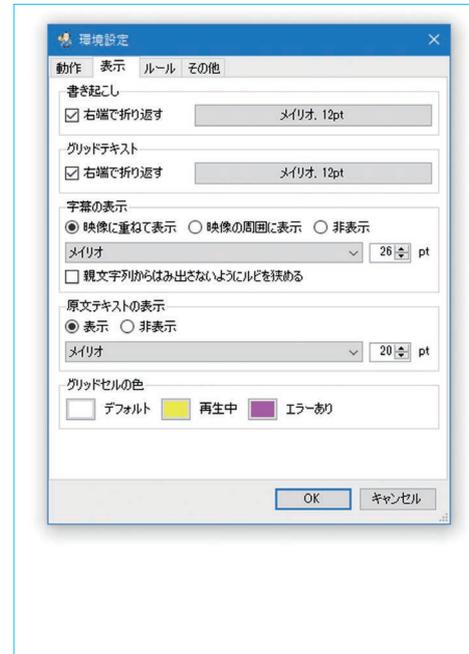
作成している字幕のプレビュー表示の方法を設定します。  
「映像に重ねて表示」では再生されるメディア映像の上に表示されます。  
「周囲に表示」では、映像の外周に黒い表示エリアをつくり、そこに表示されます。  
「非表示」では、字幕のプレビューはオフになります。  
プレビュー字幕のフォントの種類や大きさの設定もここで行えます。  
字幕プレビュー上と字幕テキスト編集エリア内の表示は連動しており、合わせて、ここでの設定が反映されます。  
「親文字列からはみ出さないようにルビを狭める」にチェックを入れることで、ルビをつけた文字の幅をルビ内容が超えないように文字幅が調整されます。

### 原文テキストの表示

比較原文表示エリアの表示、非表示を選択します。  
また、エリア内に表示されるフォントの種類および大きさの設定が行えます。

### グリッドセルの色

編集・調整エリアで、条件により各セルが着色される場合の色を設定します。  
デフォルトでは右上図のような配色になっています。



## ルール（制作基準に関する設定です。ここでの設定内容から逸脱した場合にエラー色を表示できます）

### 最短字幕間隔

字幕と字幕の間隔に必要な最短値を設定します。オープンキャプションの場合は2～3フレーム（0.066ms程度）が一般的です。

最短間隔値設定が必要でありながら、アウト点と次のイン点が同タイムとなる場合は正常として作成するテレビ放送のクロズドキャプション制作などでは、「間隔なしの場合は例外的に警告を通知しない」にチェックを入れます。

### 1字幕の最短デュレーション

1つの字幕の表示時間が、これ以上短くなってはいけないという値を設定します。

### 1字幕の最長デュレーション

1つの字幕の表示時間がこれ以上長くなってはいけないという値を設定します。「有効」にチェックを入れることで機能します。

### 1秒あたりの最大文字数

1秒間に何文字以内なら内容を読み取れるかという基準値を設定できます。多くの字幕制作では、こうした基準値を、その字幕が読み切れるかどうかの判断材料とし、微調整しています。

### 文字数の数え方

おこ助はデフォルトでは全角は1文字、半角は0.5文字として文字をカウントしていますが、例外としてカウントさせたい文字がある場合に、「詳細設定」をクリックして表示されるダイアログ（右）に追記、あるいは編集することで調整できます。

### 横書き行の最大文字数

横書き表示字幕の場合に、1行に最大何文字までの表示を許すかを設定します。

### 縦書き行の最大文字数

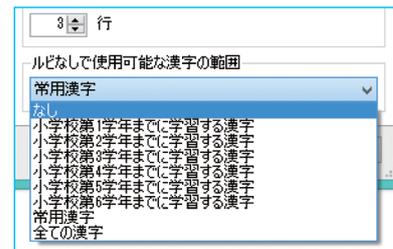
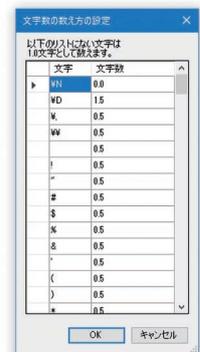
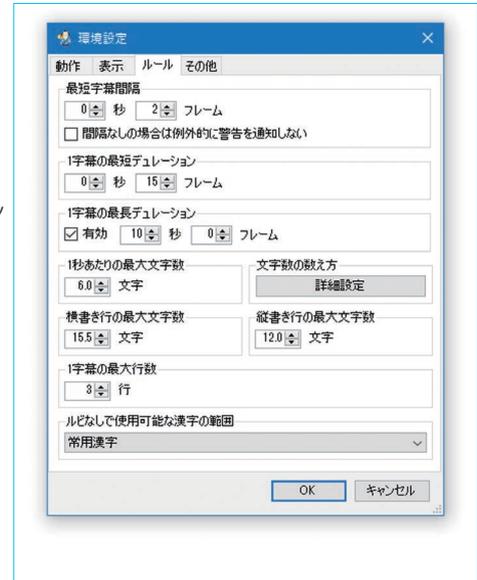
縦書き表示字幕の場合に、1行に最大何文字までの表示を許すかを設定します。

### 1字幕の最大行数

1つの字幕に何行まで入れることを許すかを設定します。書き起こし編集から字幕編集に選択テキストを送る際の1字幕の送り行数制限と連動しています。

### ルビなしで使用可能な漢字の範囲

漢字表記の基準を設定します。使用できる漢字の難易度が定められている場合に便利です。設定範囲外の漢字を使用した場合、検知してテキストセルがエラー色に変わります。下の項目に行くに従って使用可能な漢字が多くなります。



## その他

### 自動バックアップ

万が一のための安全機能として自動的にバックアップを取るよう設定できます。有効にしてご利用いただくことを推奨しています。

数字の変更でバックアップを取る時間間隔を変えることができます。

バックアップされた内容はPC内に保存されており、メニューの「ファイル」>「開く」>「バックアップファイルを開く」で復元できます。

### 設定ファイルの入出力

「環境設定」の内容を保存、復元するためのものです。

よく使うルールを含む設定を保存しておく、異なる作業を行う場合やトラブルのあとなどに読み込むことで、簡単に設定が完了します。

### 最新版の確認

チェックを入れておくと、新たにアップデートが配信されたときに、インストールをうながすお知らせが表示されます。

何らかの理由でアップデートさせたくない場合はチェックを外しておくと、お知らせは表示されません。

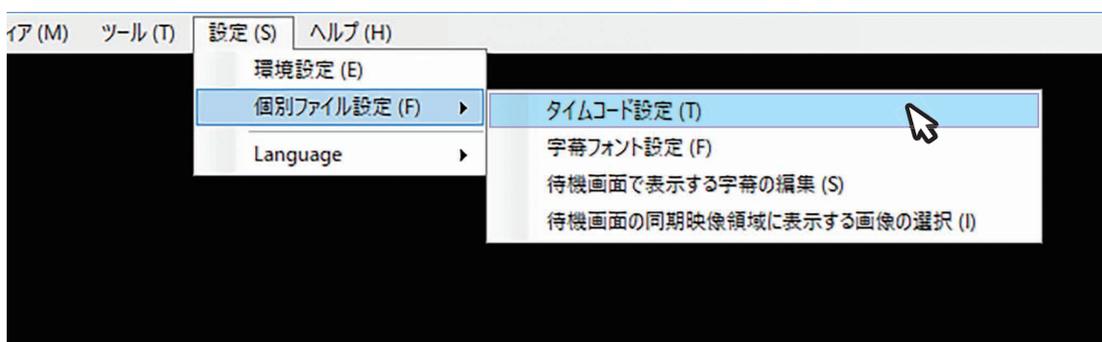


## 2. 個別ファイル設定

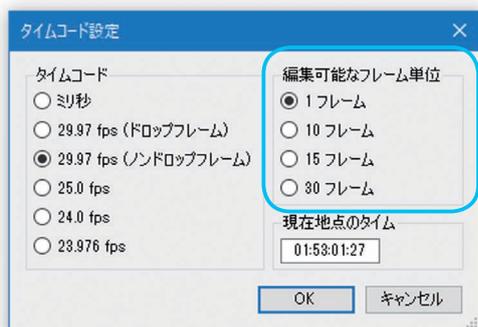
### 2-1 タイムコードと再生フレームレートの設定

おこ助 Pro 3 は、29.97 フレーム（ドロップ／ノンドロップ）、25 フレーム、24 フレーム、23.976 フレームのフレームレートを持つ動画でのタイミング作成に対応しています。映像上のタイムコードキャラクターやマスターテープのタイムコードに対応させてメディアとタイムデータを扱う必要がある字幕作成では、作業開始時に、ここでタイムコード関連の設定を行ってください。

これら以外やフレームレートが不明の動画、音声データ、DVD Video や CD Audio のディスクを使用する場合には、ms（ミリ秒）を選択します。



- ①メディアを読み込み、一旦、再生し、メディアが読み込まれていることを確認します。
- ②シークバーやコマ送り／コマ戻しボタンを利用しながら、メディアをタイムコード設定の基準にしたい位置まで移動させます。
- ③タイムコード設定したい位置ぴったりでメディアを一時停止させたら、「ツール」>「個別ファイル設定」>「タイムコード設定」を選択し、下図のダイアログを開きます。
- ④作成の仕様に合わせて、該当する「タイムコード」や「編集可能なフレーム単位」にチェックを入れ、「現在地点のタイム」に、動画上と同じタイムコード値を入力し【OK】ボタンを選択します。
- ⑤映像上のタイムコード値とおこ助 Pro3 のタイマー動作が同期し、タイム関連の入力も映像上のタイムコード値と一致します。



「編集可能なフレーム単位」は通常、1フレームに設定します。用途によっては、単位を変更したほうが作成が楽な場合があります。

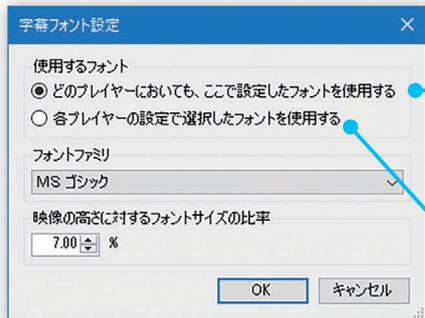
「編集可能なフレーム単位」

- ・10 フレームは 1/3 秒単位
- ・15 フレームは 1/2 秒単位
- ・30 フレームは 1 秒単位

※「タイムコード」を 25fps、24fps 23.976fps に設定した場合、表示される数値が変わります。

## 2-2 字幕フォント設定

プレビューした際に表示される字幕のフォント種やサイズを、おこ助ファイルごとに独自設定できます。映像に対しての文字サイズやフォントの雰囲気、違った環境での再生で維持したいときに便利です。



ほかの環境で動作しているおこ助やおとみプレイヤーなどで、作成時と同様のフォント設定を再現したい場合に、こちらを選択します。選択すると下の「フォントファミリー」と「比率」を指定できます。

※同じフォントがインストールされている環境での使用が条件となります。

フォントの種類や大きさはファイルを開いたおこ助の設定に任せたい場合に選択します（通常はこちらが選択されています）。

字幕フォント設定で「どのプレイヤーにおいても、ここで設定したフォントを使用する」を選択している場合は、こちらでの設定が優先となり、環境設定 > 「表示」内の「字幕の表示」で、プレビュー字幕のフォント種と大きさを変更できません。

## 2-3 その他の設定

特定用途での制作で使用する設定項目です。

### 【待機画面で表示する字幕の編集】

MASC の開発したいいくつかの情報保障字幕配信サービスで、プログラム開始の待ち受け画面に表示する字幕内容を指定するための設定です。

### 【待機画面の同期映像領域に表示する画像の選択】

MASC の開発したいいくつかの情報保障字幕配信サービスで、プログラム開始の待ち受け画面に表示する画像を指定するための設定です。

# 第6章 インポートとエクスポート

## 1. インポート

### ■インポートの流れ

まず、「ファイル」>「新規作成」を選択してください（作業中ファイルがある場合は閉じてしまいますので、保存しておいてください）。

「ファイル」>「開く」>「インポート」>各形式を選択してください。その際「保存しますか」のダイアログが表示されますが、ここでは「いいえ」を選択してください。

続いて開いたファイル選択ダイアログでインポートしたいファイルを選びます。形式によっては続けて出る設定ダイアログで詳細入力を行ったあと【OK】ボタンを押します。

インポートが完了して、字幕編集モード上にデータが表示されたら、「名前を付けておこ助ファイルを保存」で、新規のおこ助字幕データとして保存してください。

※おこ助 Pro 3 のタイムコード設定によって、インポートを行いたい形式が選択できない場合があります。

「設定」>「個別設定」>「タイムコード設定」で形式に適したタイムコード設定に変更すると、選択が可能になります。  
(⇒タイムコード設定について 73 ページ)

### 【おこ助 Community 形式】

簡易字幕作成ソフト「おこ助 Community」で作成した字幕ファイルを、そのままインポートできます。

- ◆タイムコード設定がミリ秒になっている必要があります。
- ◆書き起こしモード状態のファイルをインポートすると、おこ助 Pro 3 でも書き起こしモード状態となります。

### ※重要：Community 形式をインポートした場合の注意事項※

- ① Community 形式をインポートした場合、おこ助 Pro 3 の基本動作（コマ送り、タイムの入力や微調整）が、おこ助 Community と同じ 1/10 秒ステップとなります。また、タイムコード設定の変更及び、エクスポートできるファイル形式が制限されます。
- ② 上記の制限は、インポートしたファイルを保存して閉じたあと、「ファイル」→「新規作成」を指定して新たな作成を開始するまでは変更できません。
- ③ おこ助 Community で作成した字幕データは、おこ助 Pro 3 の .oxk ファイルに変換・保存後も、上記制限は解除できません。プロ用の字幕形式でのエクスポートや厳密な仕様での作成が必要な場合は、最初からおこ助 Pro 3 で作成を行う必要があります。

### 【SRT 形式】

### 【UD トーク CSV 形式】

- ◆インポート時におこ助 Pro 3 のタイムコード設定がミリ秒になっている必要があります。
- ◆設定項目はありません。
- ◆UD トーク CSV 形式では、アウト点は次の字幕のイン点から自動計算で設定されます。

### 【Lambda 形式】

- ◆インポート時におこ助 Pro 3 のタイムコード設定がミリ秒以外の、インポートするファイルと同じものになっている必要があります。
- ◆拡張子 (.cap) のファイルだけがインポート対象になります。
- ◆専用のファイル選択ダイアログとなっています。

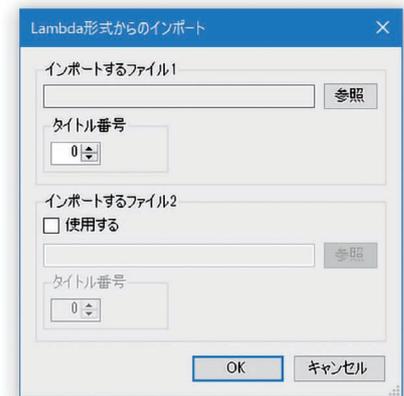
「インポートするファイル 1」に「参照」から指定のファイルを選択し、【OK】ボタンを押します。

字幕が同タイム上に 2 枚あるなどで、2 ライン目のファイルがある場合は「インポートするファイル 2」で、もう 1 つのファイルを指定します。

※タイトル番号は「0」に設定してください。

※文字コードが UTF-8 の cap もインポート可能です（自動認識）。

※ファイル内のタイムコード設定とおこ助のタイムコード設定が一致していない場合でもインポートできますが、タイミングにズレが生じてしまいます。



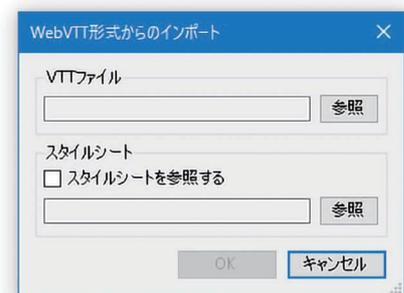
### 【WebVTT】

- ◆インポート時におこ助 Pro 3 のタイムコード設定がミリ秒になっている必要があります。
- ◆専用のファイル選択ダイアログとなっています。

「VTT ファイル」の「参照」からインポートしたいファイルを選択します。VTT ファイルの内容に対応したスタイルシート（デザインファイル）がある場合は、「スタイルシート」の項目の「スタイルシートを参照する」にチェック入れ、参照を押して css ファイルを指定します。

※スタイルシートが有効な場合、文字色と一部位置情報に反映されません。

※文字コードは UTF 8 に対応しています。



## 【NAB 形式】

- ◆インポート時におこ助 Pro 3 のタイムコード設定が 29.97fps（ドロップフレーム）になっている必要があります。

ファイル選択後、データ内に外字が含まれていると左の変換表が表示されます。必要に応じて置き換え候補を設定し【OK】ボタンを押します。

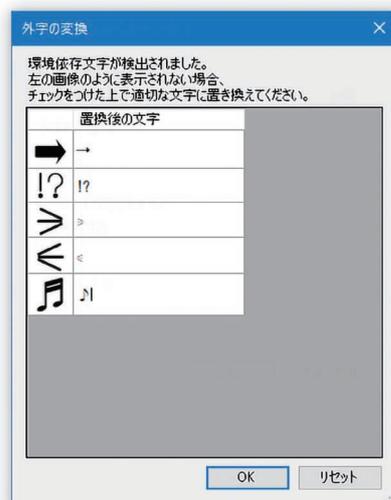
※置換後の文字・記号が機種依存文字だった場合、読み込み後やエクスポートした際に文字化けすることがありますのでご注意ください。

※話者位置振り、階段改行、高さといった放送用字幕独特の文字位置情報のほとんどは破棄されます。内容が複数行になる場合は中頭合わせが基本となり、元の意図どおりの表示にならないことがあります。

※文字色はそのまま反映されますが、背景色の設定は失われます。

※ルビとして使われていた小型文字は、参考としてメモ欄に入ります。

※ 29.97fps ドロップフレーム以外でタイミング作成された NAB データには対応していません。



## 【Excel 形式】

### 【OpenDocument 形式】

- ◆インポート時に、おこ助 Pro 3 のタイムコード設定がインポートするファイルと同じになっている必要があります。

どちらの形式も右のようなダイアログが開きますので、まず「インポートするファイル」の「参照」から使用ファイルを選択します。

「シートのインデックス」では、ファイル内のどのシートを使用するかを使用するシートタブの順序を参考に入力します。

「入力項目の選択」で読み込みたい項目をチェックし、さらに元データ上の該当する列番号を指定して【OK】ボタンを押します。

※タイミングデータと字幕テキストをインポートできます。

Excel 形式からの場合は斜体・ルビ・文字色は反映されませんが、

OpenDocument の場合はルビ内容も反映されます。

※タイトル番号は、通常は「0」に設定してください。

※読み込むファイルが別のソフトウェアで開かれている場合は必ず閉じてから実行してください。



## 【書き起こしテキスト】

通常のテキストデータであれば、そのままの内容で書き起こし編集ウインドウ内にインポートできます。

## 2. エクスポート

### ■ エクスポートの流れ

エクスポートする字幕ファイルを開いた状態で、「ファイル」>「保存」>「エクスポート」>各形式 を選択してください。続いて開いたダイアログで出力したい場所を選びます。形式によっては設定ダイアログ内で保存先と詳細設定の入力を合わせて行うようになっています。

設定や出力場所の指定が完了したら【OK】 ボタンを押します。

※おこ助 Pro 3のタイムコード設定によって、エクスポートしたい形式が選択できない場合があります。

「設定」>「個別設定」>「タイムコード設定」で形式に適したタイムコード設定に変更すると、選択が可能になります。  
(⇒タイムコード設定について 73 ページ)

### 【おこ助 Community 形式】

簡易字幕作成ソフト「おこ助 Community」に、そのまま読み込めるファイルに変換できます。

◆作成されたおこ助ファイルのタイムコード設定がミリ秒になっている必要があります。

◆字幕の文字内容や装飾、位置情報が、すべてそのままインポートされます。

※書き起こし編集モード内にテキストがある状態でエクスポートすると、おこ助 Community では書き起こしモード状態で開くファイルとなります。完成字幕をエクスポートする際は書き起こし編集内を全て削除するか、おこ助 Community で開いた際に、書き起こしモード上のデータを全て消去して書き起こしモードを終了してください。

※おこ助 Community の動作と同じ 1/10 秒ステップのタイミングデータになります。

### 【おとみ、おきく形式】

#### 【OXZ 形式】

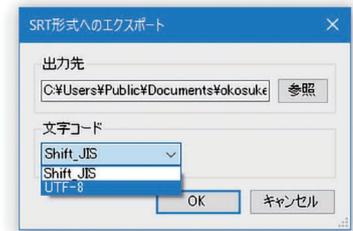
メディア・アクセス・サポートセンターが開発・配布しているプレーヤーソフトで使用するためのファイル形式です。字幕編集モード、映像同期モード、音声同期モードで作成した内容をそのままプレーヤー上で再現し、DVD Video や動画に字幕や手話映像、音声ガイドなどを合わせて表示・再生させることができます。OXZ 形式では、同期させる副映像や副音声データを内包したファイルとなります。



### 【SRT 形式】

### 【SAMI 形式】

- ◆形式に合わせ、字幕本文とタイミング情報のみが出力されます。
- ◆時間軸上で重なりを持つ字幕は出力できません。



選択すると右のようなダイアログが開きます。出力先と出力文字コードを選び、【OK】 ボタンを押します。出力が終わると「エクスポートが完了しました」のダイアログが表示されますので、再度【OK】 ボタンを押します。

### 【CAST 形式】

- ◆字幕本文とタイミング情報のみが出力されます。
- ◆作成されたおこ助ファイルのタイムコード設定がミリ秒の場合は出力できません。
- ◆時間軸上で重なりを持つ字幕は出力できません。

開いたファイル選択ダイアログで出力先を選び、【保存】 ボタンを押します。

出力が終わると「エクスポートが完了しました」のダイアログが表示されますので【OK】 ボタンを押します。

### 【Xsubtitle 形式】

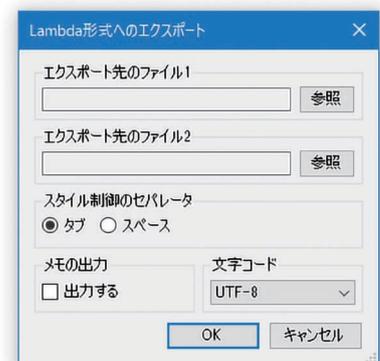
- ◆字幕本文・装飾・位置とタイミング情報が出力されます。縦字幕の中の組文字は再現できません。

開いたファイル選択ダイアログで出力先を選び、【保存】 ボタンを押します。

出力が終わると「エクスポートが完了しました」のダイアログが表示されますので、【OK】 ボタンを押します。

### 【Lambda 形式】

- ◆作成されたおこ助ファイルのタイムコード設定がミリ秒の場合は出力できません。
- ◆文字色情報以外のおこ助で設定できるすべての装飾・位置情報・タイミングを出力できます。



選択すると、右のダイアログが開きます。

「エクスポート先のファイル1」の【参照】 を押して開いたダイアログで出力先を選択し、ファイル名を付けて【保存】 ボタンを押します。

同じタイミングに2つ字幕が存在している場合にはファイルを2つに分けて出力します。この場合は「エクスポート先のファイル2」も、同様に【参照】から出力先とファイル名を設定します。

(現状、重なり部分で継続記号制御を使用した1ファイルでの出力には対応していません)

「文字コード」で出力文字コードを選択します。S-JIS と UTF8 での出力が可能です。

読み込み側の仕様に合わせて、ファイル内のスタイル制御記述セパレーターを変更できます。通常は「タブ」を選択しておいて問題ありません。

データ内にメモ欄の内容を出力する場合は「メモの出力」の「出力する」にチェックを入れます。

【OK】 ボタンを押すと出力されます。出力が終わると「エクスポートが完了しました」のダイアログが表示されますので、再度【OK】 ボタンを押します。

※ 「00:XX:##:00(タイム)で3つ以上の字幕行が重なっています。エクスポートを中止します。」とメッセージが出る場合は、そのタイム近辺で同時に3つ以上の字幕が表示される状態になっています。そのままでは出力することができませんので、2字幕までの重なりになるよう調整してから再度エクスポートを行ってください。

## 【WebVTT 形式】

◆本文・装飾・位置情報・タイミングを出力できます。

◆時間軸上で重なりを持つ字幕は出力できません。

「エクスポート先のファイル名」の「参照」を押し出力先を指定するとともに保存ファイル名を入力します。

「時間の表記」で、出力タイムデータ上に時間の単位を入れるかどうかを選択します。

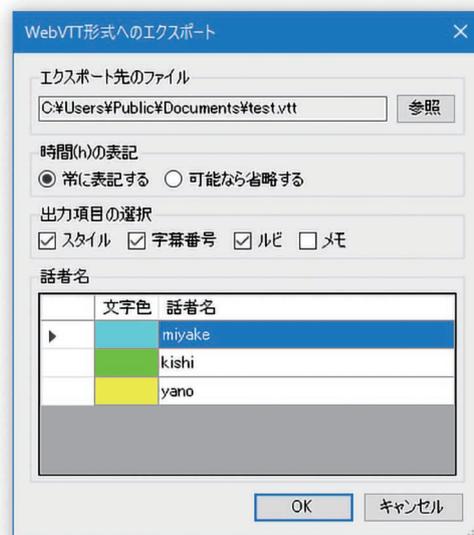
「出力項目の選択」では、ファイル内にデータとして出力する内容を設定できます。「スタイル」をチェックすると位置に関する記述がデータ内に追加されます。「メモ」をチェックすると、メモ欄に記載した内容が、そのまま「NOTE」としてデータ内に出力されます。

作成された字幕の一部に色がついている場合、色指定のために「話者名」欄が表示されます。

それぞれの色に対して半角英数字で話者名を設定することで、字幕 CUE データごとに ID が追加されるとともに、ID に対応した色指定の CSS 記述が設定されます。

【OK】 ボタンを押すと出力されます。出力が終わると「エクスポートが完了しました」のダイアログが表示されますので、再度【OK】 ボタンを押します。

※データを読み込むブラウザやデータの設置状態によって、意図どおりに表示されない場合があります。

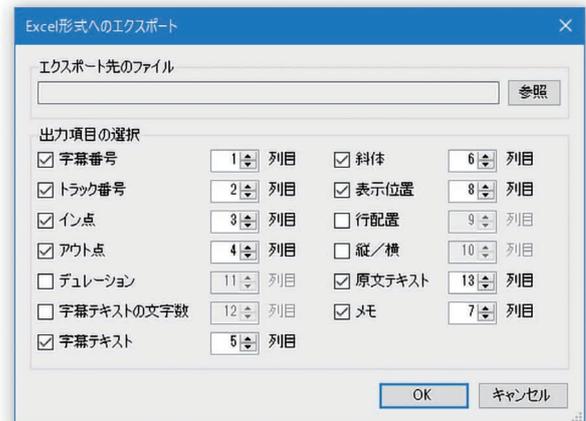


## 【Excel 形式】

## 【OpenDocument 形式】

どちらの形式も、右のようなダイアログが開きますので、まず「エクスポート先のファイル」の「参照」から、保存先の選択とファイル名の指定を行います。

「出力先の選択」で、字幕内容の各要素を、どの列に出力するか、あるいはしないかを指定します。選択後に【OK】ボタンを押します。



※斜体・ルビは字幕テキストのセル内に反映されます。文字色は反映されません。

※ルビ情報は、エクスポートされたデータを Excel か OpenOffice ソフトで開き、字幕テキスト列を選択した状態で、「ふりがなの表示」を選ぶことで表示されます。

※出力ファイルは、セル幅などは設定されていません。用途に応じて適宜整形してください。

## 【書き起こしテキスト】

書き起こし編集内にあるテキストデータ内容を、そのままテキストデータとして出力します。



# 第7章 PCへのインストール

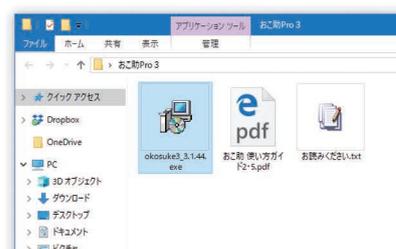
※インストールの際には認証用USB DongleキーをPCに挿さないでください。

※ウイルス検出ソフトの中には、インストーラーの動作を感知した際に注意喚起を發するものや、インストーラーの動作自体を強制的に阻害しエラーを誘発するものがございます。インストールの際には、必ず一旦ウイルス検出ソフトウェアの動作を一時停止するようお願いいたします。また、インストール後には忘れずにウイルス検出ソフトウェアを再設定してください。

## 1. インストールを開始しましょう

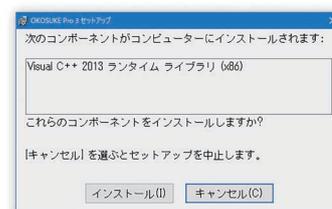
PCのDVDディスクドライブにインストールディスクを読み込ませ、自動的に立ち上がってくるダイアログから「setupを実行する」を選択します。

何も起きない場合は、PCのエクスプローラーから「OKOSUKE3\_Install」ディスクを開き、図のように中にある「Okosuke3\_3.x.x.exe」ファイルをダブルクリックします。(お使いの環境によっては、アイコンではなくリストで表示されることもあります。)



## 2. 事前インストール

WindowsOSの状態によって、まず、右のようなダイアログが立ち上がり、おこ助の動作に必要な追加コンポーネントのインストールを求めてくる場合があります。「インストール」ボタンを押してください。



続けて表示されるダイアログで「I agree ~」にチェックを入れ「Install」ボタンを押すと、必要なコンポーネントが自動インストールされます(コンポーネントのインストールで「キャンセル」や「Close」ボタンを押すと、おこ助自体のインストールが中止されます)。完了すると、続いておこ助本体のインストーラーが立ち上がります。

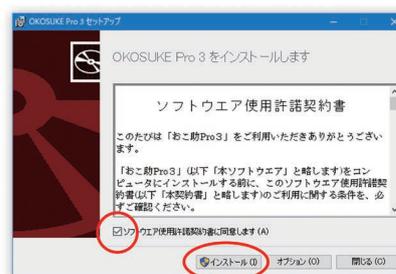


## 3. セットアップ開始

立ち上がったセットアップ・ウィザードでインストールを行なっています。

表示されているソフトウェア使用許諾契約書には確認事項やお願いが記載されています。よくお読みいただき、その内容への「同意」にチェックを入れることで「インストール」ボタンがアクティブになります。

「インストール」ボタンを押すとインストールが始まります。



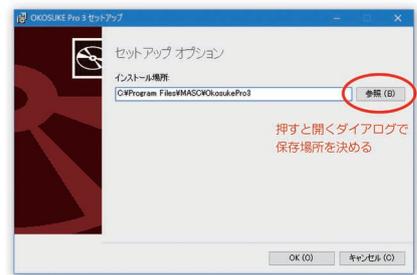
#### 4. オプション選択について

3のインストール開始画面で「オプション」ボタンを押すと、インストール場所を指定することができます。

「参照」を押してPC内の指定したいフォルダを選択してください。

※リムーバブルディスクやネットドライブへのインストールは、動作に支障が出る可能性がありますので避けてください。

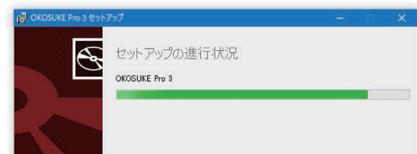
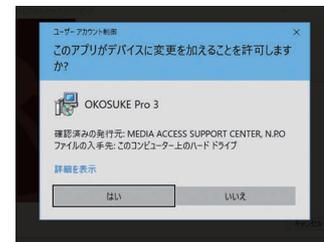
通常は Windows (C) ドライブの Program (x86) フォルダ内に「MASC」フォルダがつくれ、その中にインストールされます。指定後「OK」ボタンを押すと最初のセットアップ画面に戻ります。



#### 5. セットアップの実行

「インストール」ボタンを押すと、右図のように許可を求めるダイアログが表示されます (OS によって表示が異なります)。「OK」を押すと、セットアップ画面に戻ってインストールが開始されます。

実行中は、プログレスバーが表示されます。もし途中で止まっても、しばらく待つと再開します。慌ててキャンセルしないでください。通常は1分以内に終了します。

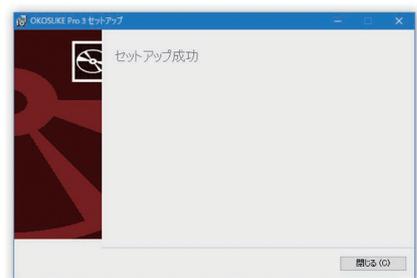


#### 6. インストールが完了しました

右のようなセットアップ成功の画面になれば、無事おこ助のインストールは終了しています。

「閉じる」ボタンを押すと、セットアップ画面は消えます。インストールディスクをPCから取り出してください。

PCを再起動させる必要はありません。

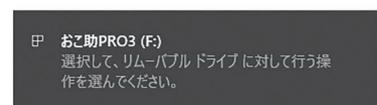


#### 7. おこ助 Pro 3 の起動

ライセンス認証用USB DongleをPCに挿します。

PCがライセンス認証用Dongleを認識すると、右のようなダイアログが出ます (OS やPCの設定によって位置や形式は異なります)。操作方法を選択せず、そのままにするかダイアログを閉じてください。

デスクトップ上に出来ている「おこ助 Pro 3」のショートカットアイコンをダブルクリックすると本体が起動します。おこ助 Pro 3の起動中はライセンス認証用USB DongleをPCから外さないでください。



## 付録 ～知っておくと便利 その①～ 字幕制作に登場する用語

- ◆**イン点・アウト点** 映像や音声の世界では録音の開始点と終了点のこと。字幕制作においては、ひとつの字幕表示が始まる時間のポイントと終わる時間のポイントを指す。
- ◆**画角** フィルムや撮像素子などのサイズに合わせるため、レンズを通して撮影範囲をどのように切り取るかを表す言葉だが、転じて、撮影されている映像のアスペクト比率や映像上での構図のことを指すことがある。
- ◆**組文字** 縦表示字幕の場合に、横向きのままの半角数字や記号を90度回転させ、縦表示でも見やすい状態にすること。ワープロソフトの縦中横と同じ考え方。
- ◆**スポッティング** 字幕を表示するタイミングを映像上で決定していく作業のこと。  
最近では、字幕内容の編集（ハコ割り、又はハコ切り）と同時に行われることも多い。  
これにより字幕ごとのイン点とアウト点が設定される。
- ◆**ダーシ** 棒状の記号。ダッシュと呼ぶこともある。字幕の世界では1.5倍角のものを使用することが多い。  
主に次の字幕への継続を表す場合に使用される。仕様によって使い方が変わることもある。
- ◆**タイムコード** 映像を電子編集で行う場合、映像内容をコマ単位で正確に制御するために必要な時間位置情報。その映像のすべてのコマにユニークな数字を割り振ることが目的。  
扱う映像によって積算方法が異なる。TC（ティーシー）と略されることも多い。
- ◆**デュレーション** 1つの編集単位の長さのこと。あるいは映像効果の時間。  
字幕制作では1つの字幕の長さのことをいう。
- ◆**フレーム** 撮影用語では、映像を額縁の中に入った1つの画として捉えることから、映像として画面構図を切り取るための前提となる形とサイズ（フレームに収める）、あるいは映像を表示する枠のことをいい、被写体が画面外から中に入ってくることをフレームイン、出て行くことをフレームアウトと呼ぶ。  
またビデオの世界では、動画として何枚もの「画」が入れ替わることで動いてみえるところから、最小の1コマのことを1フレームと呼ぶ。一般的には1秒30フレーム（コマ）。
  - ・**安全フレーム**  
映像を家庭用テレビモニターに表示した際、製品個体差にかかわらず確実に映る範囲のこと。  
アナログ時代は全面積の80%、デジタルになった現在では86%が主流。  
「テレフレ」ということもある。字幕はこの中に納まるように制作される。

## 付録 ～知っておくと便利その②～ 映像の世界で使われる用語

- ◆ MPEG エムペグと呼ぶ。動画圧縮形式の1つ。Moving Picture Expert Group の略称。  
規格として MPEG1、MPEG2、MPEG4、MPEG7 などが標準化され、規格ごとに用途が分かれている。  
近年では MPEG4 が wmv (WindowsMediaVideo) に代わり映像ファイル形式として主流になっている。
- ◆ オフセット 映像に対しての時間的ズレのこと。一般的には映像に対しての音のズレ幅のことをいうが、字幕制作では映像・音声に対しての字幕のズレ幅のことを指す。
- ◆ 完パケ 完全パッケージプログラムのこと。映像作品としてすべての調整が終わり、完全に完成した状態のもの。または、それが記録されたマスターテープのこと。  
編集や音声を完成させ、文字情報のみを入れない状態の「白完パケ」を作ることもある。
- ◆ シナリオ ドラマなどの脚本。おおよそシーンごとに内容が分けられ、状況の説明やト書き、セリフが記載されている。
- ◆ 台本 脚本をもとに、制作作業を行うためのよりどころとしてつくられる冊子。準備台本、撮影台本、アフレコ（音響）台本、完成台本などが場合に応じて準備されるが、制作現場によって状況はさまざま。台本は基本設計図ではあるが、あくまで完成物は映像作品自体。
- ◆ ナレーション 画面上に顔出しせず、画面の外から声で映像についての解説や説明をすること。第三者として制作者の意図を表現する場合、ガイド役となる場合、あるいは心理描写や回想を補完する狙いで加えられることがほとんど。
- ◆ ノンモン 無音状態のこと。
- ◆ フェード 映像や音声のレベルを徐々に上げ下げすることをいう。徐々に大きくなることをフェードイン、逆をフェードアウトとし、フェードアウトしてしまうと、映像は黒や白、音声は無音になる。映像の場合はピントのぼかしを利用したものを指すこともあるが、通常それらはフォーカスイン、フォーカスアウトと呼ぶことで区別している。
- ◆ 吹き替え 本物ではなく、代わりに使う人や物を吹き替えと呼ぶ。転じて翻訳された内容で音声を入れ替えたものを指すようになっている。
- ◆ ワーク 仮編集や音響制作、あるいは字幕制作の作業用ガイドとして使用するために、マスター映像（完パケ）からコピーした映像。流出防止のため一般的に画質が悪く、多くの場合はタイムコードキャラクターやロゴの透かしなどがインポーズされている。

